

高浜市まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
アンケート報告書
【概要版】



平成28年6月

高 浜 市

目 次

I	「市民意識調査」「小・中学生アンケート」の実施概要について	1
1	調査の概要	1
2	調査結果の表示方法	1
＜ まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート ＞		
II	回答者の属性	2
III	アンケート結果概要	4
1	高浜市のまちの状況について	4
2	高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について	8
3	高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について	15
IV	高浜市のまちの状況について	16
V	高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について	38
VI	高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について	75
＜ 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート ＞		
VII	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート	79
1	回答者属性	79
2	児童・生徒の意識	80

I 「市民意識調査」「小・中学生アンケート」の実施概要について

1 調査の概要

◆調査目的	<p>本調査は、高浜版総合戦略に掲げる重要業績評価指標等の現状値や、第6次高浜市総合計画中期基本計画（平成26年度～平成29年度）におけるまちづくりの進み具合を測るために掲げる「みんなで目指すまちづくり指標」の実績値を測定するために実施した。</p> <p>調査結果（分析・とりまとめ結果）は、第6次高浜市総合計画中期基本計画の「施策評価」において活用する。</p>	
◆調査区分	まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート
◆調査対象	高浜市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人	高浜市内の小学3年生から中学3年生合計3,573人
◆調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 回答者の属性 ② 高浜市のまちの状況について ③ 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について ④ 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について ⑤ 高浜市のまちづくりについての自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> ① 回答者の属性 ② 児童・生徒の意識 ③ 高浜市のまちづくりについての自由意見
◆調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
◆調査期間	平成28年4月6日に配布 5月2日を回答期限として回収	平成28年4月14日に配布 4月26日までに回収
◆回収状況	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 2,500 票 ・有効回収数 922 票 ・有効回収率 36.9% <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画推進時調査（平成25年4月） 有効回収数 1,069 票 有効回収率 42.8% ・中期基本計画策定時調査（平成25年11月） 有効回収数 975 票 有効回収率 39.0% ・前回調査（平成27年4月） 有効回収数 875 票 有効回収率 35.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 3,573 票 ・有効回収数 3,490 票 ・有効回収率 97.7% <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画推進時調査（平成25年4月） 有効回収数 3,403 票 有効回収率 97.3% ・中期基本計画策定時調査（平成25年11月） 有効回収数 3,401 票 有効回収率 97.1% ・前回調査（平成27年4月） 有効回収数 3,466 票 有効回収率 98.2%

2 調査結果の表示方法

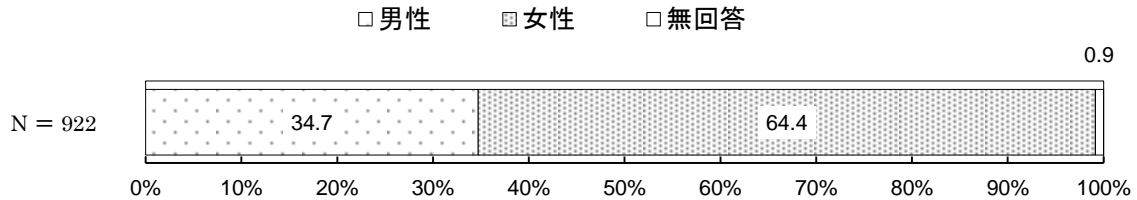
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・中期基本計画におけるまちづくりの進み具合の進捗がわかるように、中期基本計画策定時に測定した値（平成25年度調査値）、及び前回測定した値（平成27年度調査値）と比較しています。

<まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート>

II 回答者属性（設問 32）

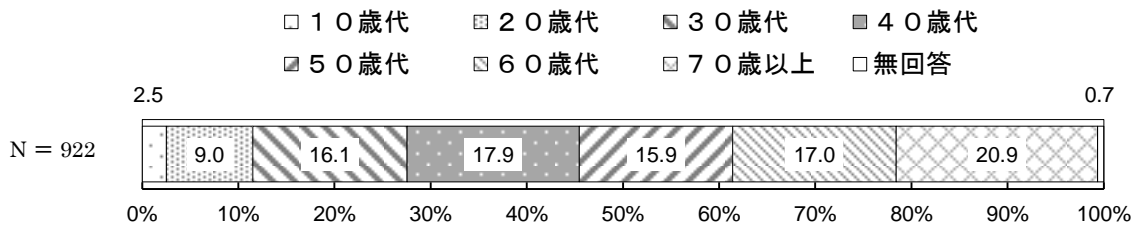
1 性別

「男性」の割合が 34.7%、「女性」の割合が 64.4%となっています。



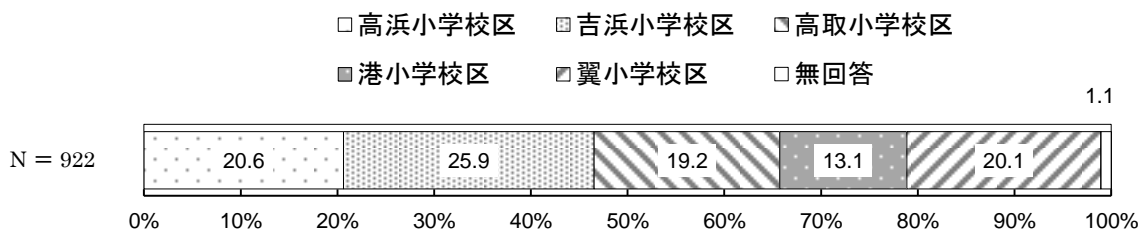
2 年齢

「70歳以上」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が 17.9%、「60歳代」の割合が 17.0%となっています。



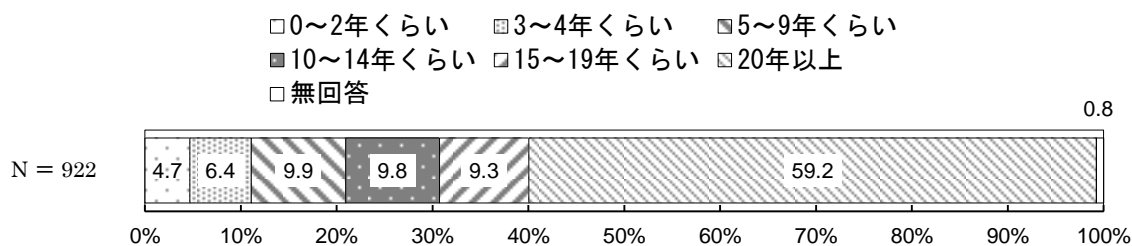
3 居住地区

「吉浜小学校区」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「高浜小学校区」の割合が 20.6%、「翼小学校区」の割合が 20.1%となっています。



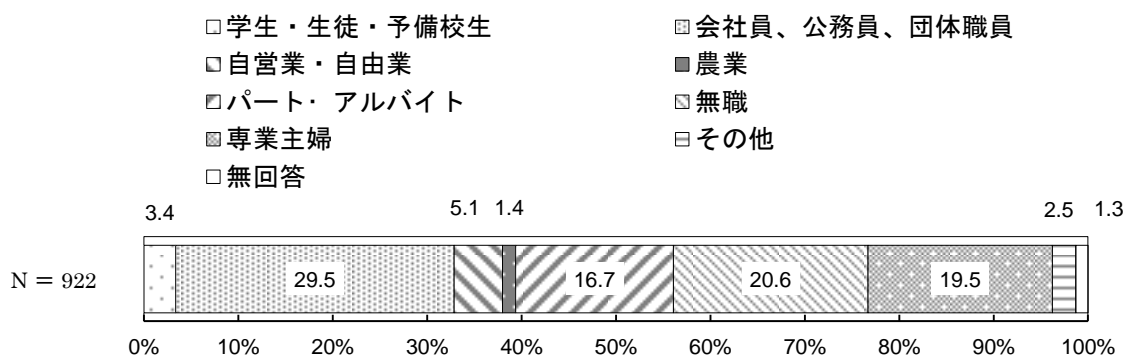
4 居住年数

「20年以上」の割合が59.2%と最も高くなっています。



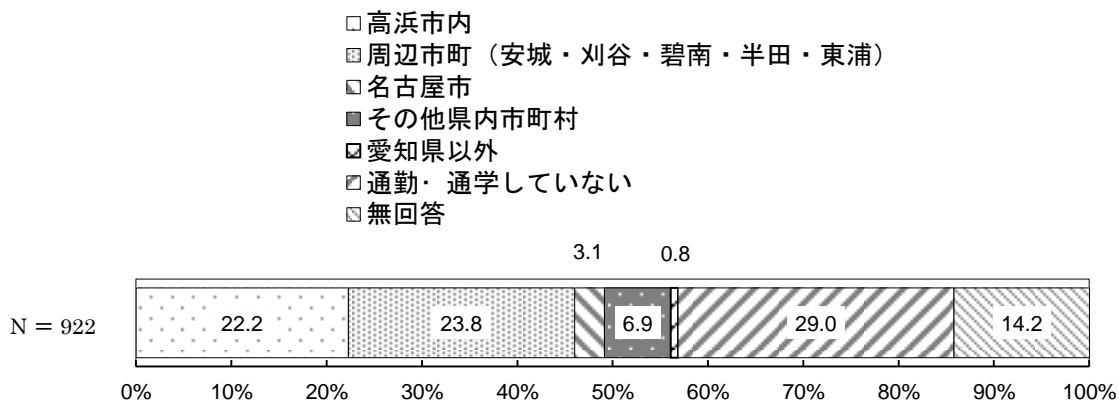
5 職業

「会社員・公務員・団体職員」の割合が29.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が20.6%、「専業主婦」の割合が19.5%となっています。



6 通勤・通学先

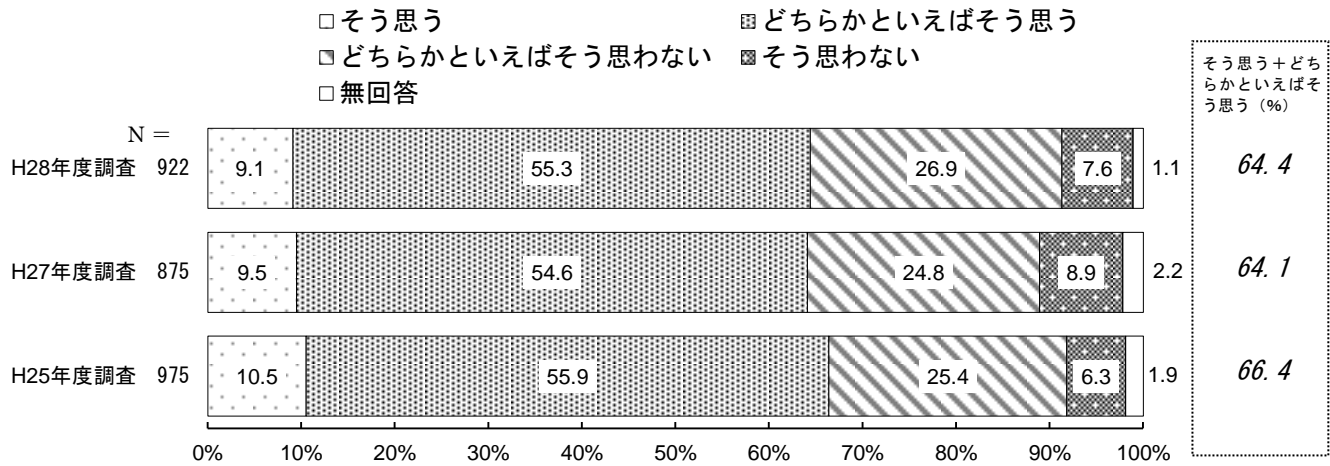
「通勤・通学していない」の割合が29.0%と最も高く、次いで「周辺市町（安城・刈谷・碧南・半田・東浦）」の割合が23.8%、「高浜市内」の割合が22.2%となっています。



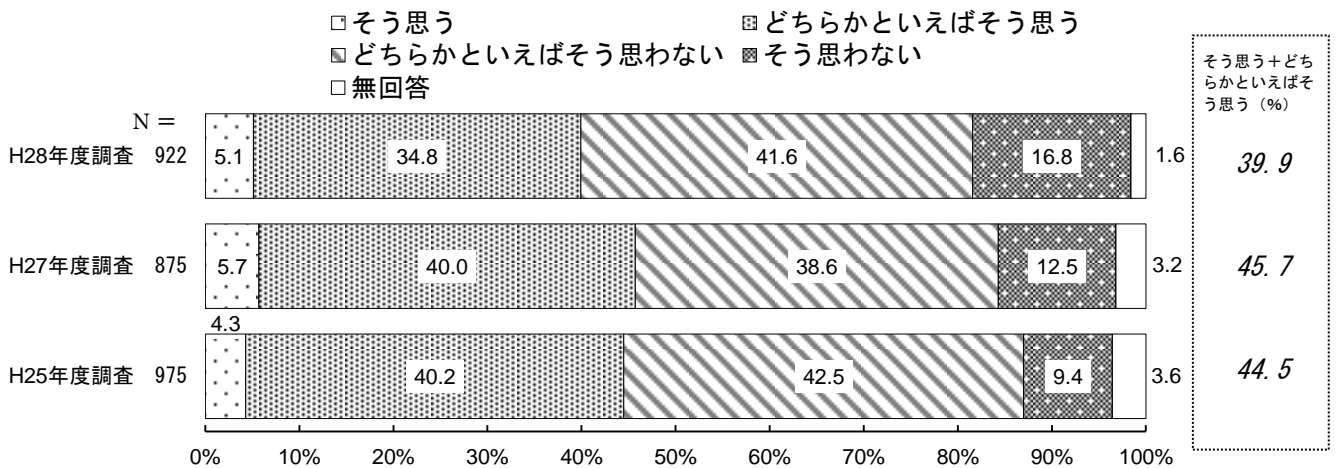
Ⅲ アンケート結果概要

1 高浜市のまちの状況について

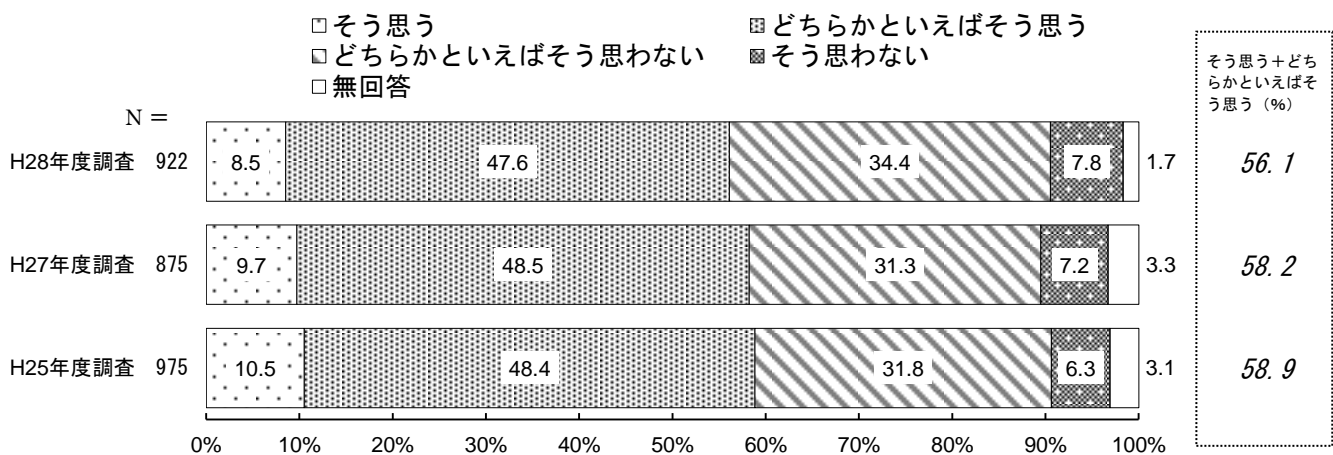
設問1 まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う。



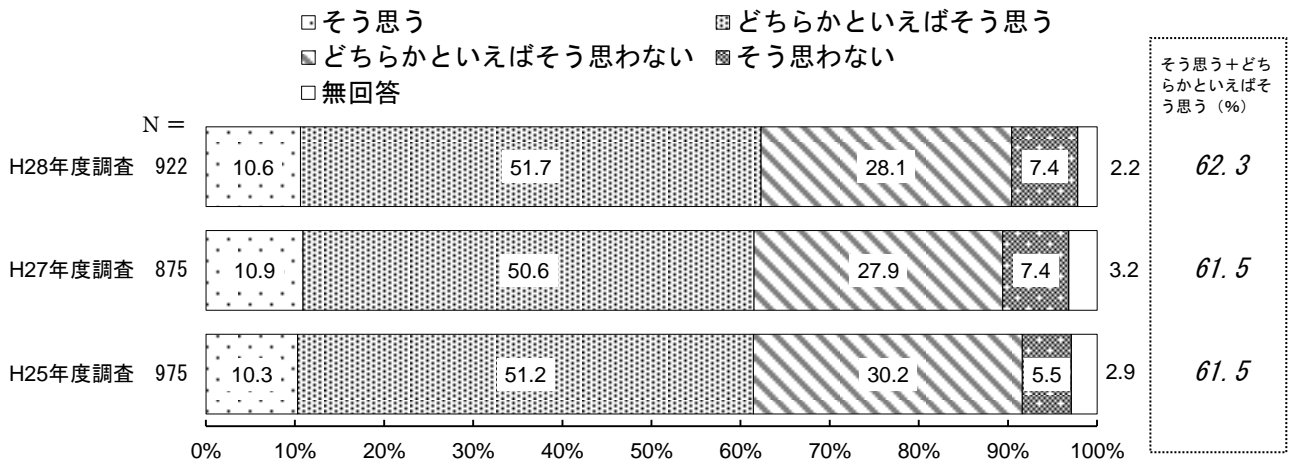
設問2 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思う。



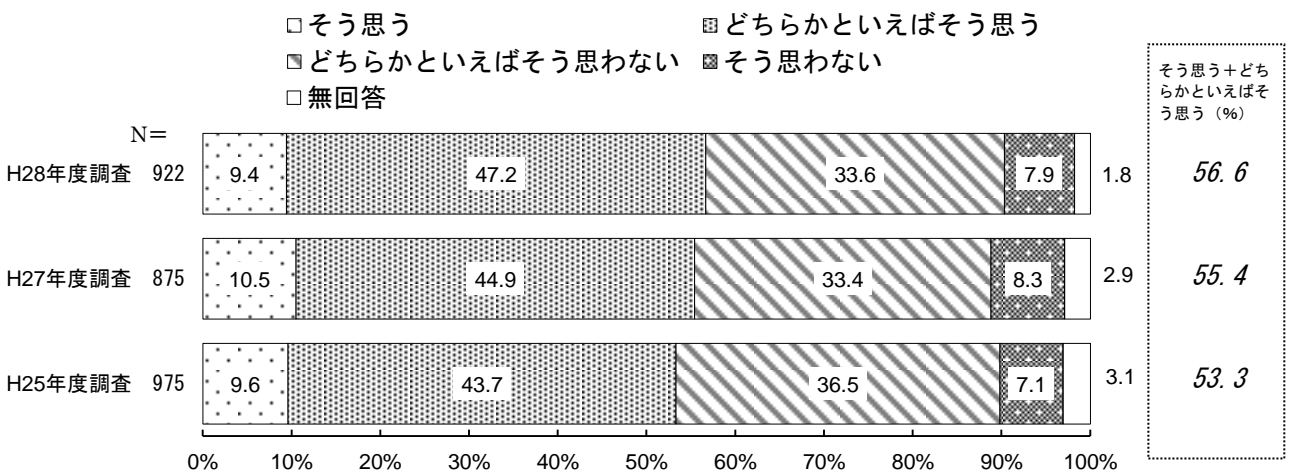
設問3 学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う。



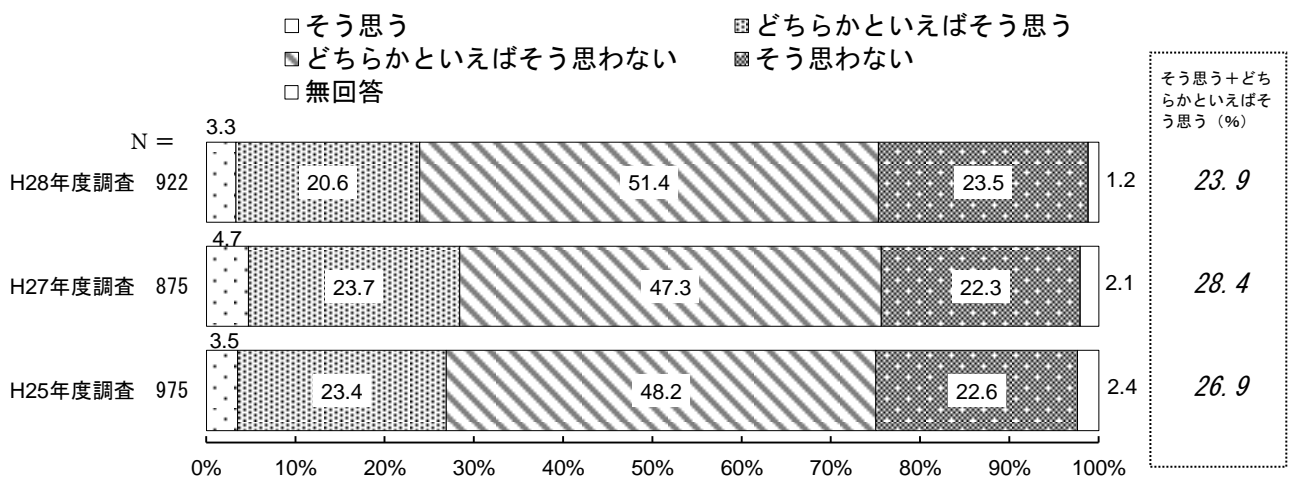
設問4 学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを
育む体制が整っているまちだと思う。



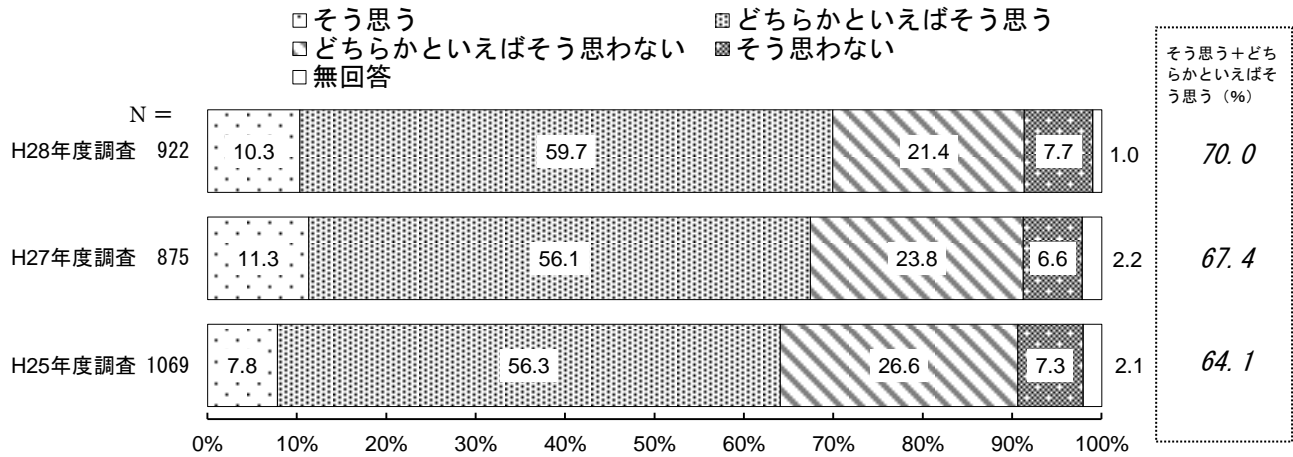
設問5 地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う。



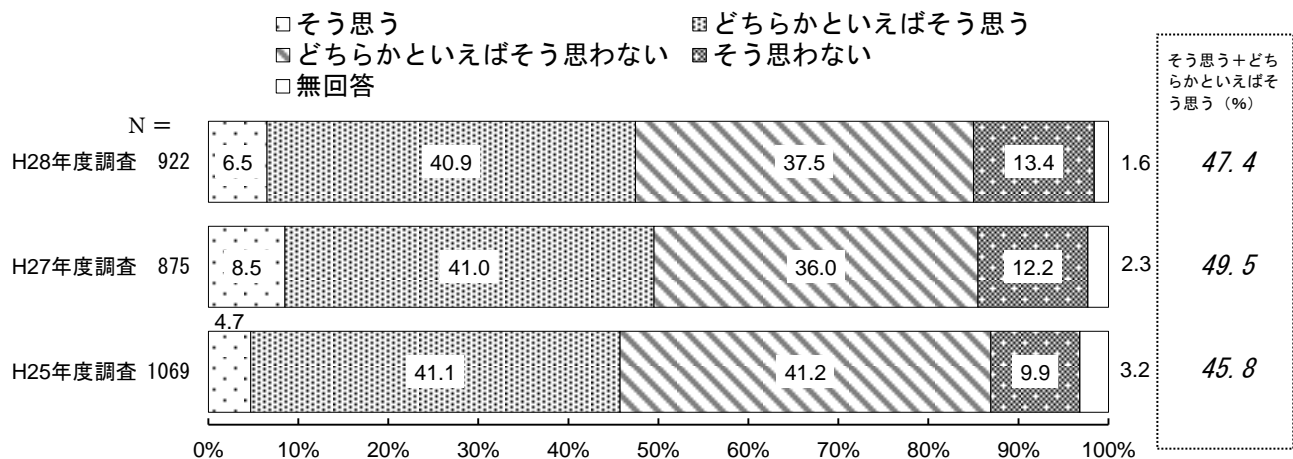
設問6 産業が活性化して、まちが元気になっていると思う。



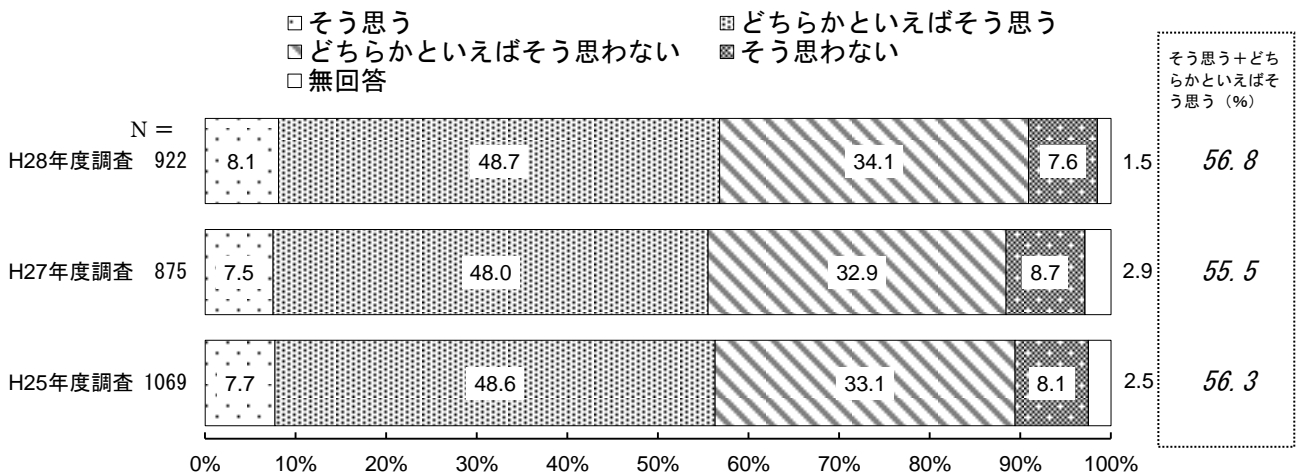
設問7 みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。



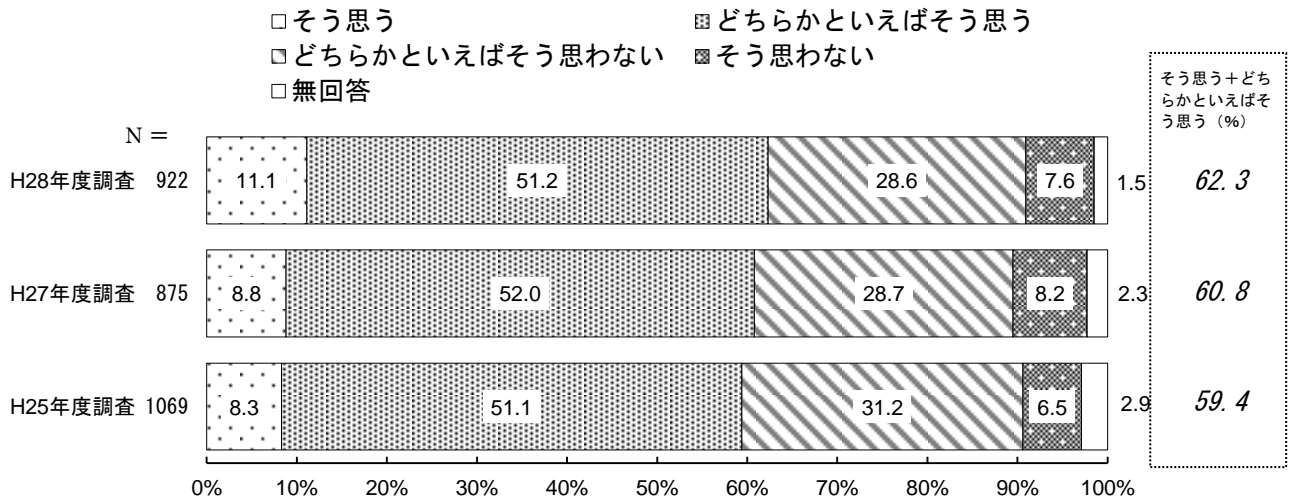
設問8 調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う。



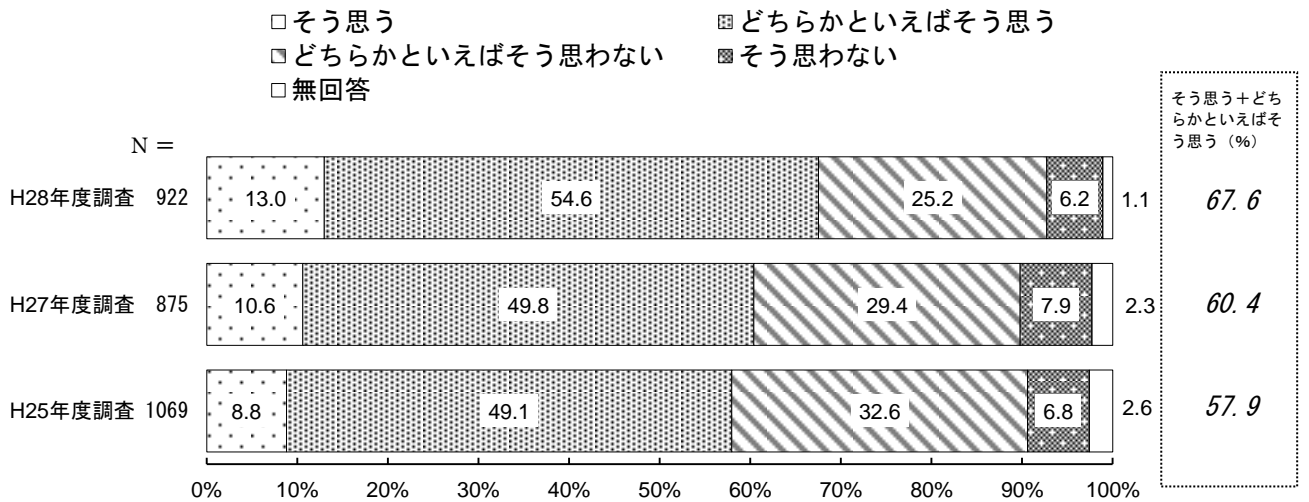
設問9 安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う。



設問 10 一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う。

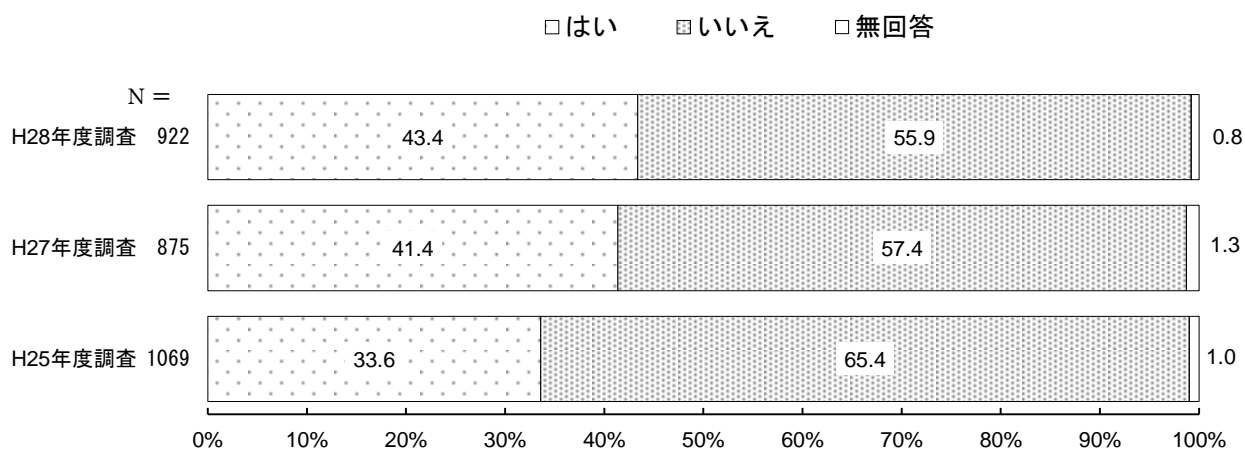


設問 11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う。

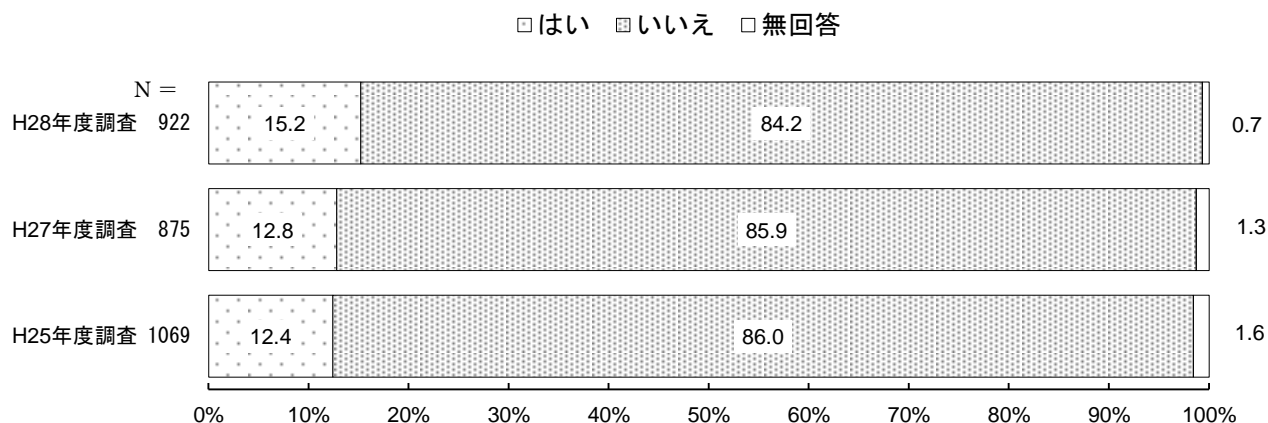


2 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について

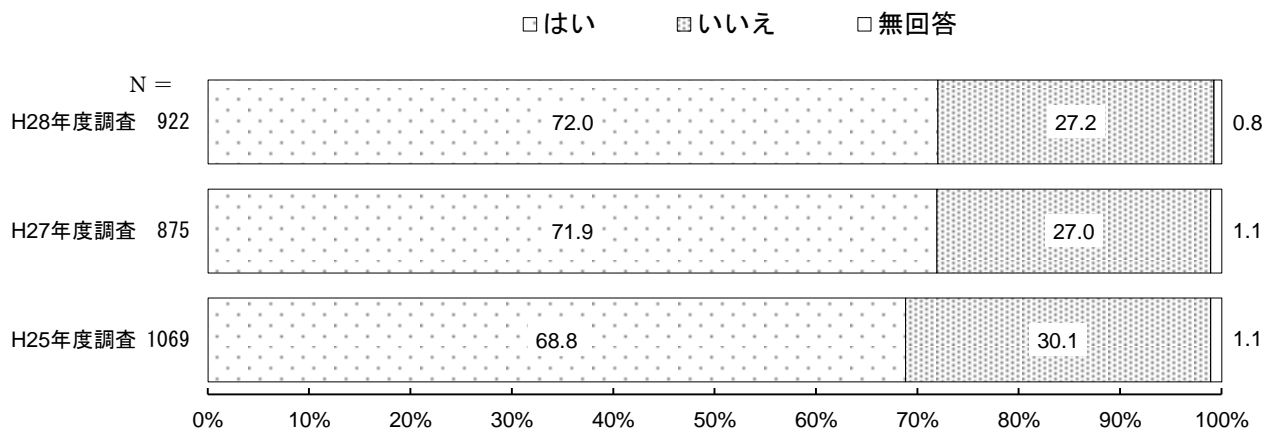
設問 12 あなたは、高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い
手と手をつなぐ 大家族たかはま」を知っていますか？



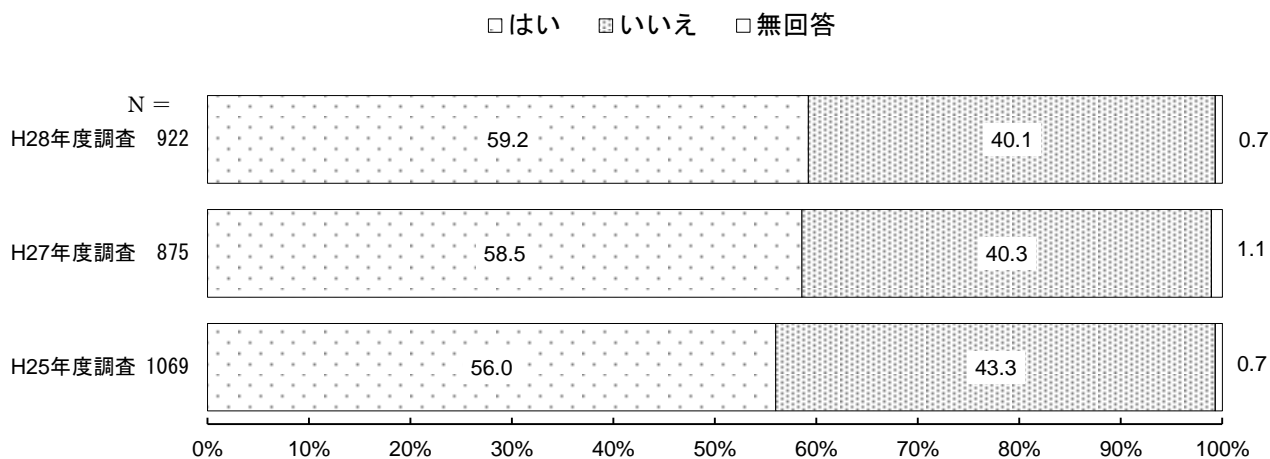
設問 13 あなたは、「私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために」を前文
とする「高浜市自治基本条例」を知っていますか？



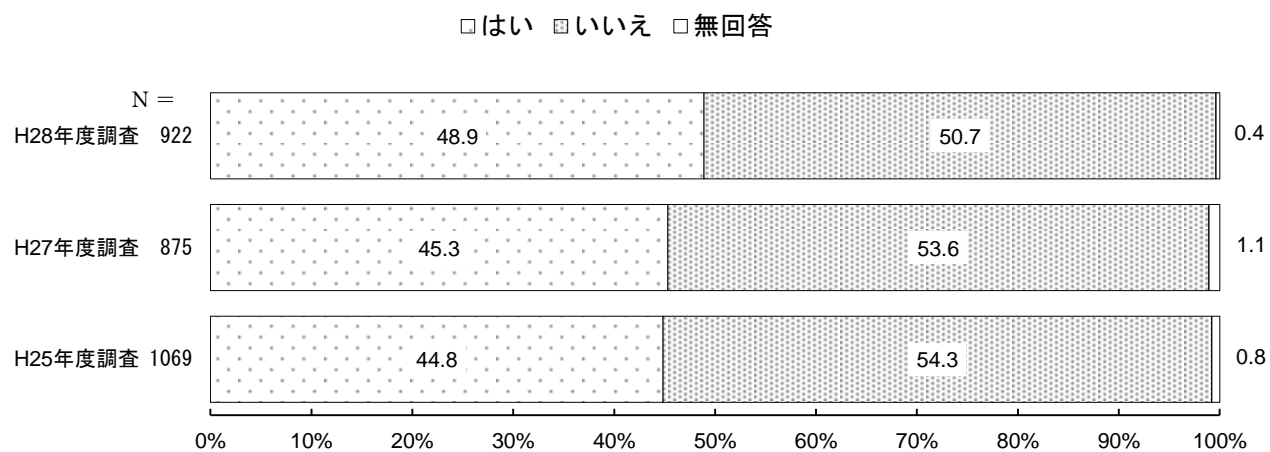
設問 14 あなたは、高浜市の財政状況に関心がありますか？



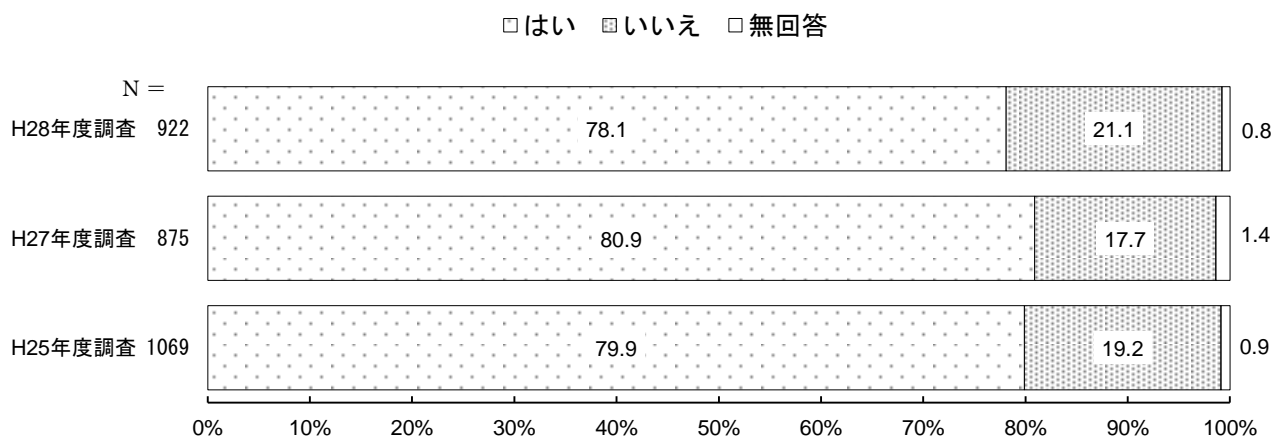
設問 15 あなたは、地域活動に参加したことがありますか？



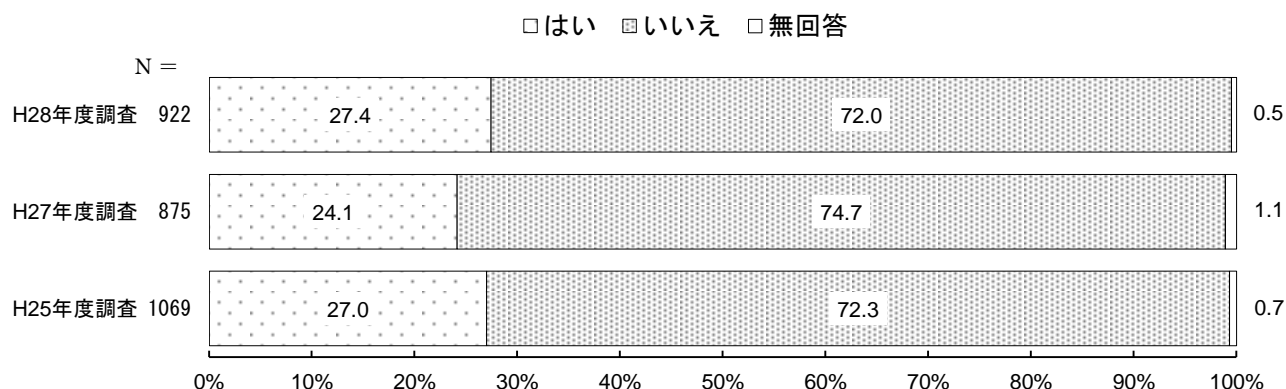
設問 16 あなたは、子どもとふれあう行事に参加したことがありますか？



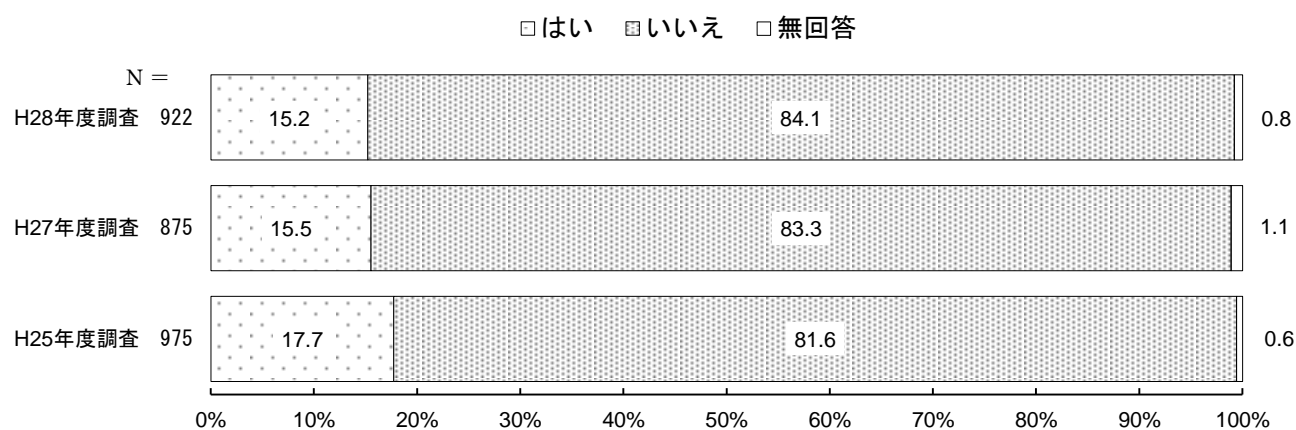
設問 17 あなたは、日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしていますか？



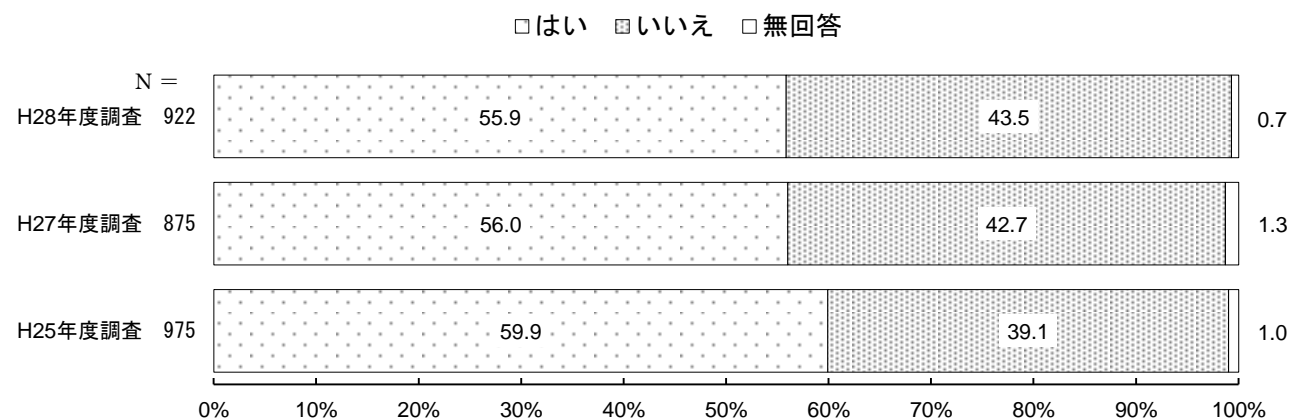
設問 18 あなたは、公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがありますか？



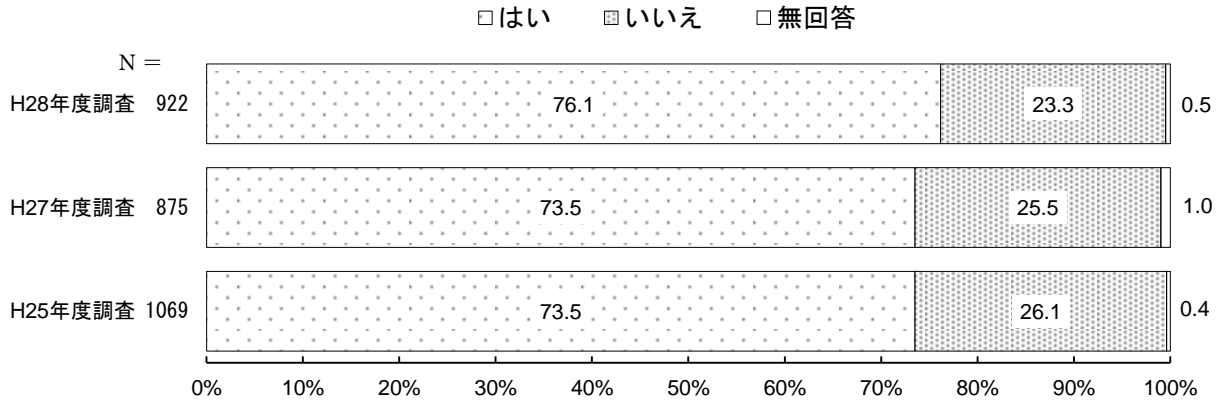
設問 19 あなたは、地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがありますか？



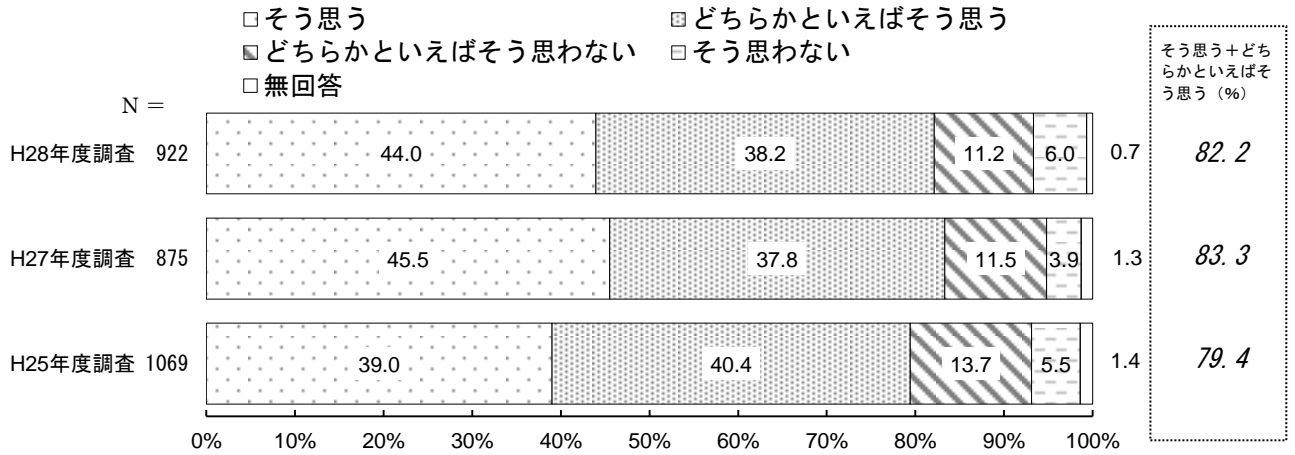
設問 20 あなたは、高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか？



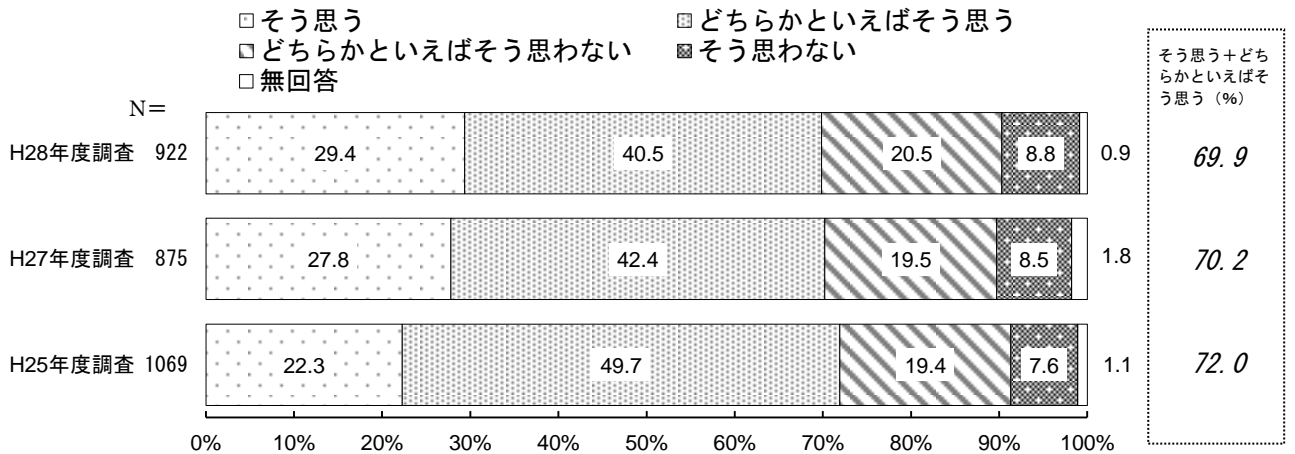
設問 21 あなたは、かかりつけ医を持っていますか？



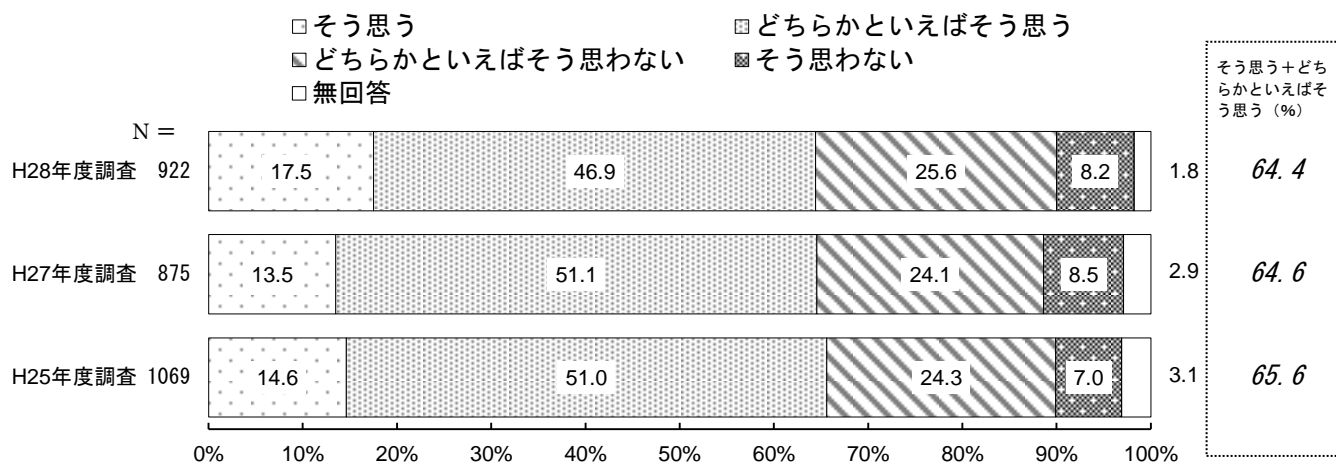
設問 22 今後も高浜市に長く住み続けたいと思う。



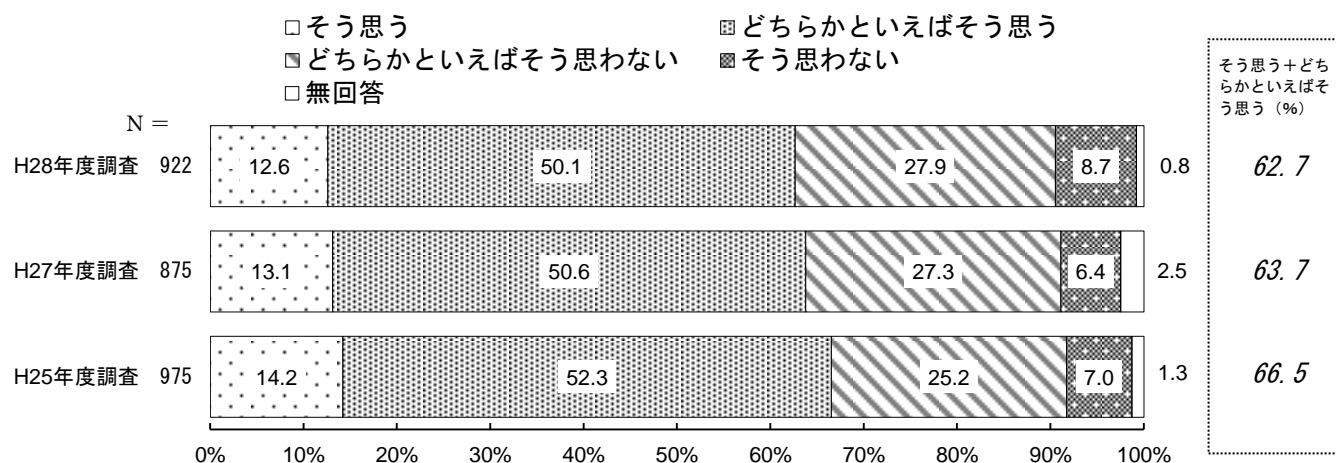
設問 23 高浜市に愛着や誇りを感じる。



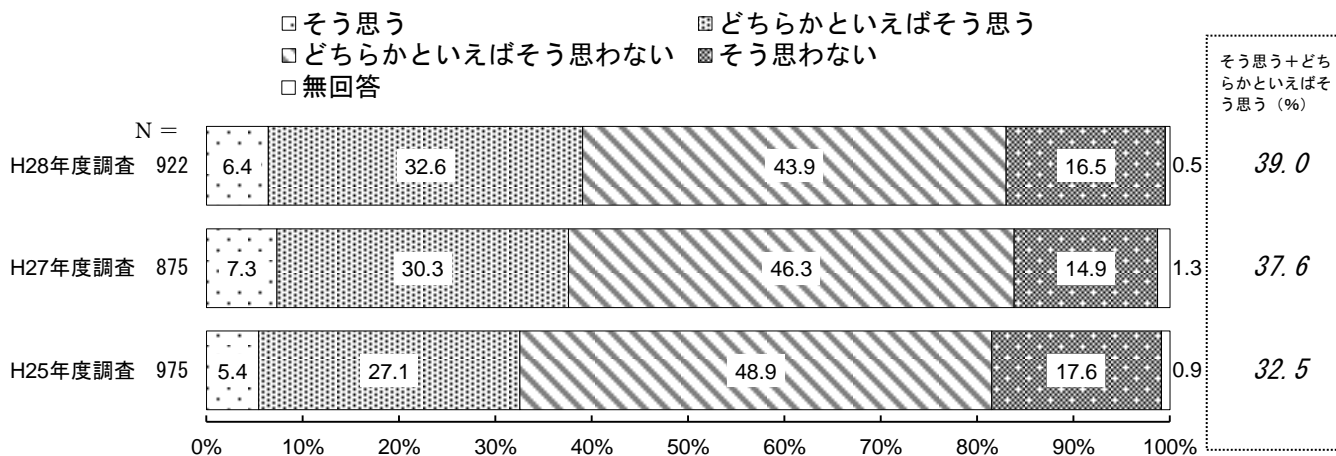
設問 24 高浜市は、子どもを産み、育てやすいまちだと思う。



設問 25 高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う。

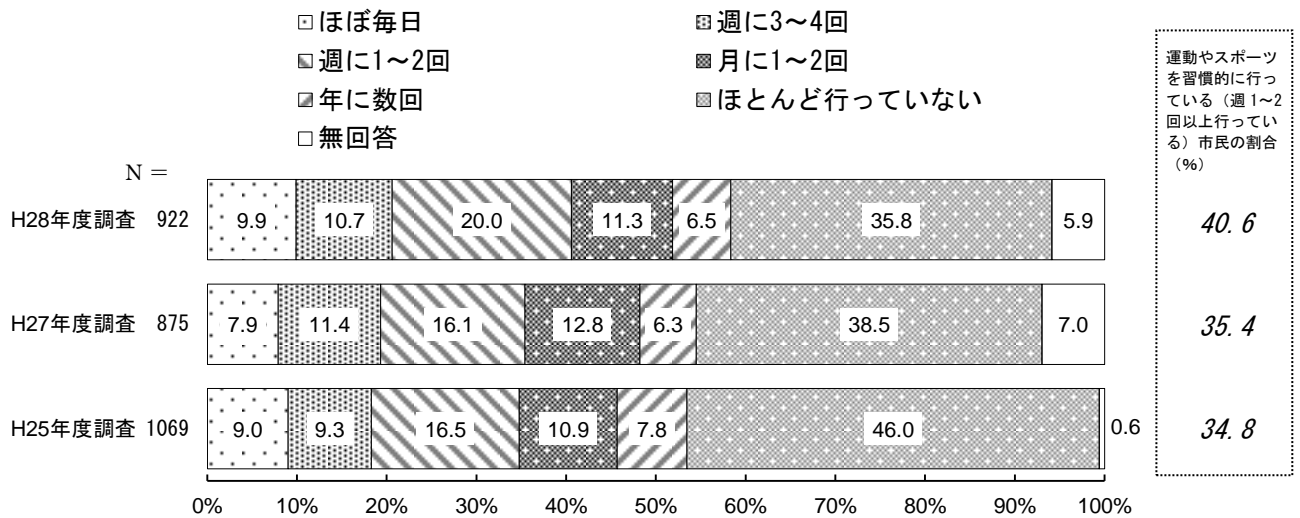


設問 26 あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う。

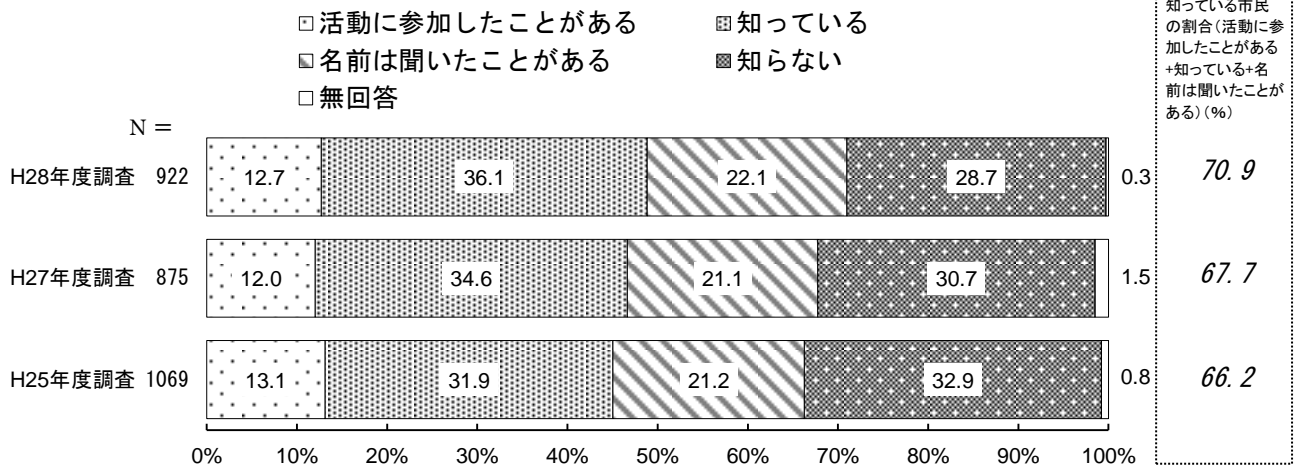


設問 27 あなたは、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか？

< 1 つに○印 >

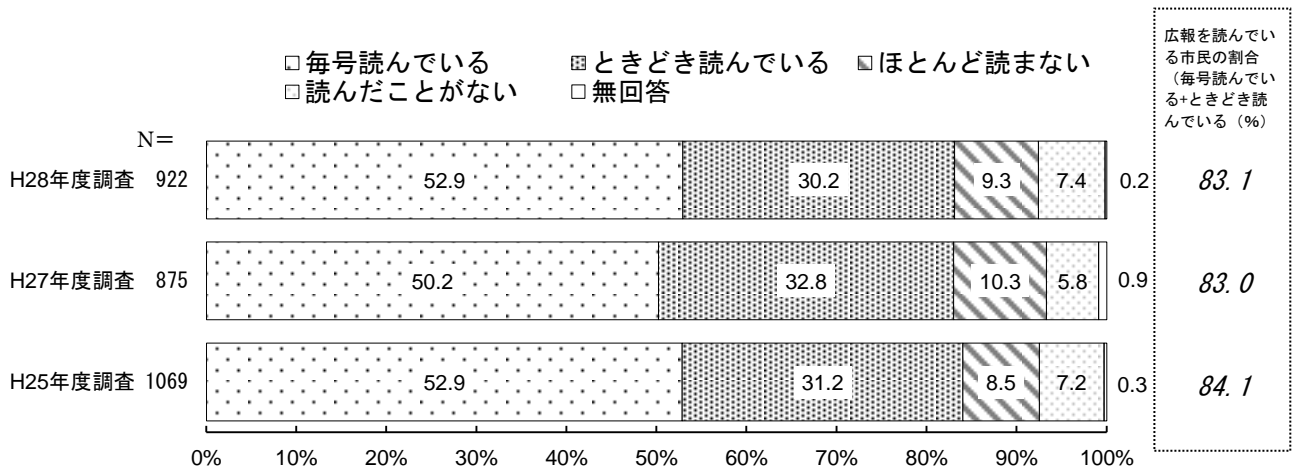


設問 28 あなたは、小学校区を単位としてまちづくり活動を行っている「まちづくり協議会」を知っていますか？ < 1 つに○印 >

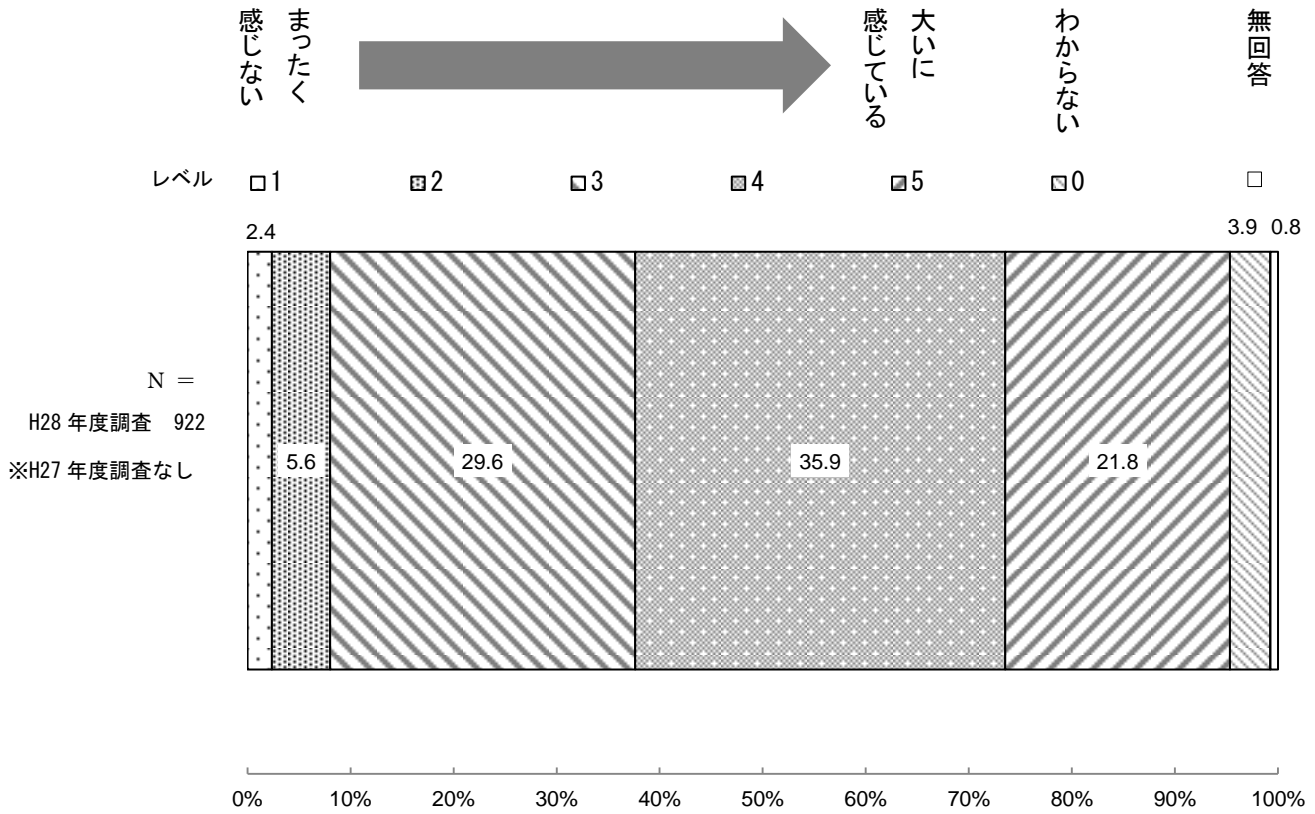


設問 29 あなたは、「広報たかはま」（毎月1日号・15日号発行）を読んでいますか？

< 1 つに○印 >



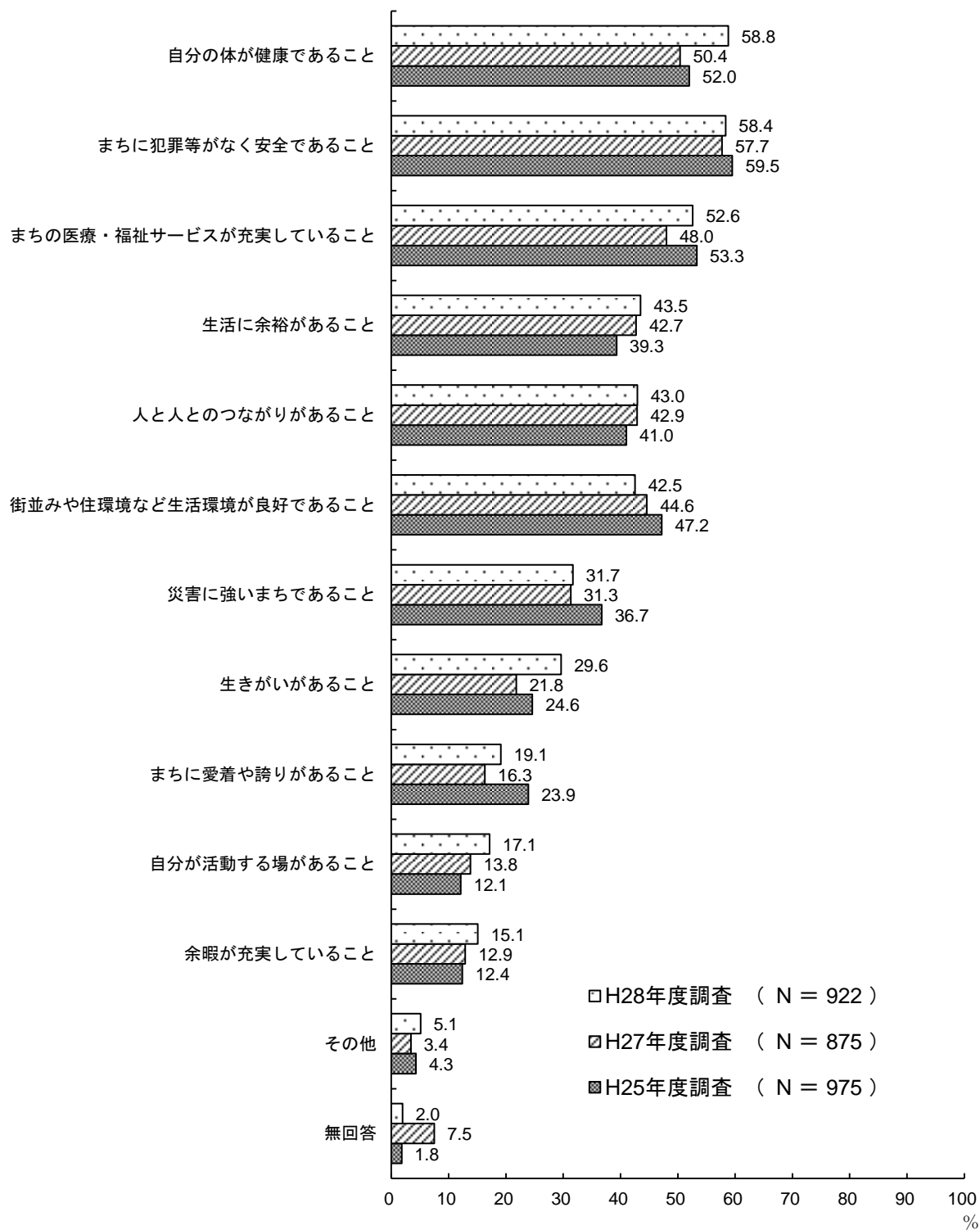
設問 30 あなたは、幸せだと感じていますか？ <あなたの実感に最も近いもの(数値) 1つに○印を付けてください>



3 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について

設問 31 あなたが、高浜市に暮らす日常の「心地よさ」を実感するために、重要視するものは何ですか？ <5つまで○印>

(これが充実すれば「心地よさ」を感じるというものを選んでください。)



IV 高浜市のまちの状況について（設問 1～11）

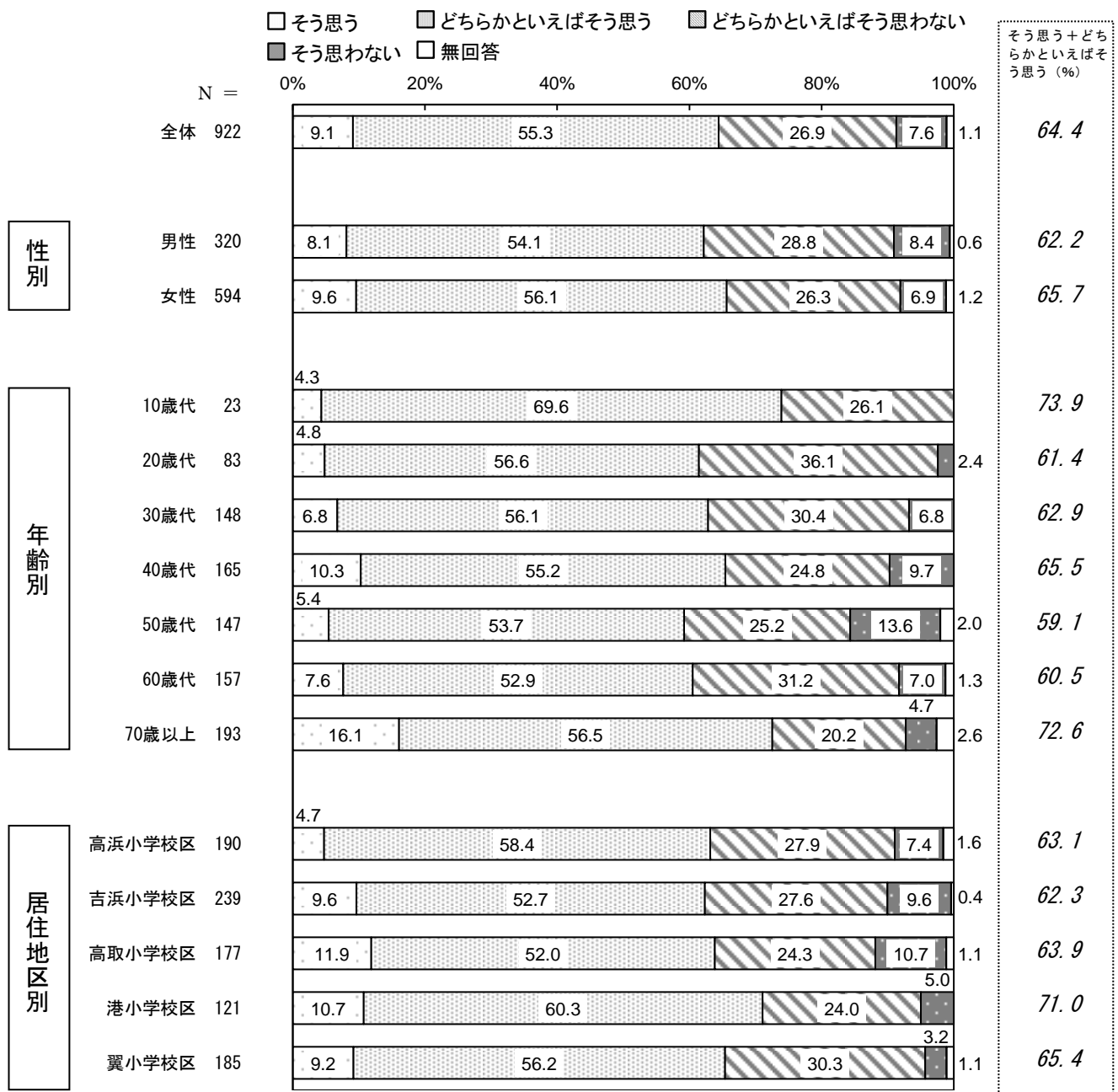
問 1 まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う。

「まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が 9.1%、「どちらかといえばそう思う」が 55.3%であり、合わせて 64.4%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（62.2%）で全体よりやや低く、女性（65.7%）で全体よりやや高くなっています。

年齢別では、「そう思う」の割合は、70歳以上（16.1%）で全体よりやや高くなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代（59.1%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（71.0%）で全体よりやや高くなっています。



【前回調査との比較】

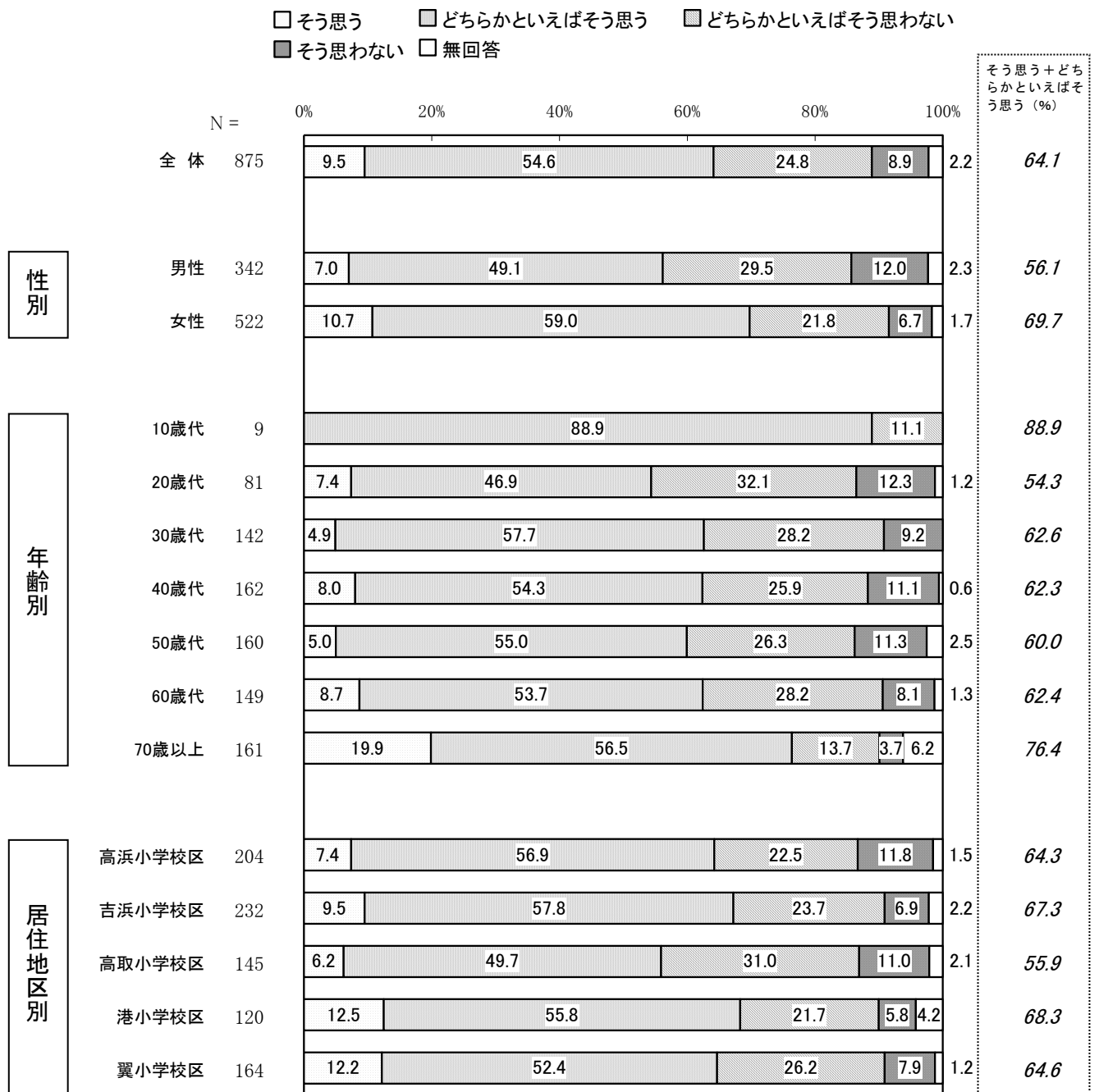
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（56.1%⇒62.2%）で6.1ポイント増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（54.3%⇒61.4%）で7.1ポイント増加する一方で、70歳以上（76.4%⇒72.6%）でやや減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（55.9%⇒63.9%）で8.0ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

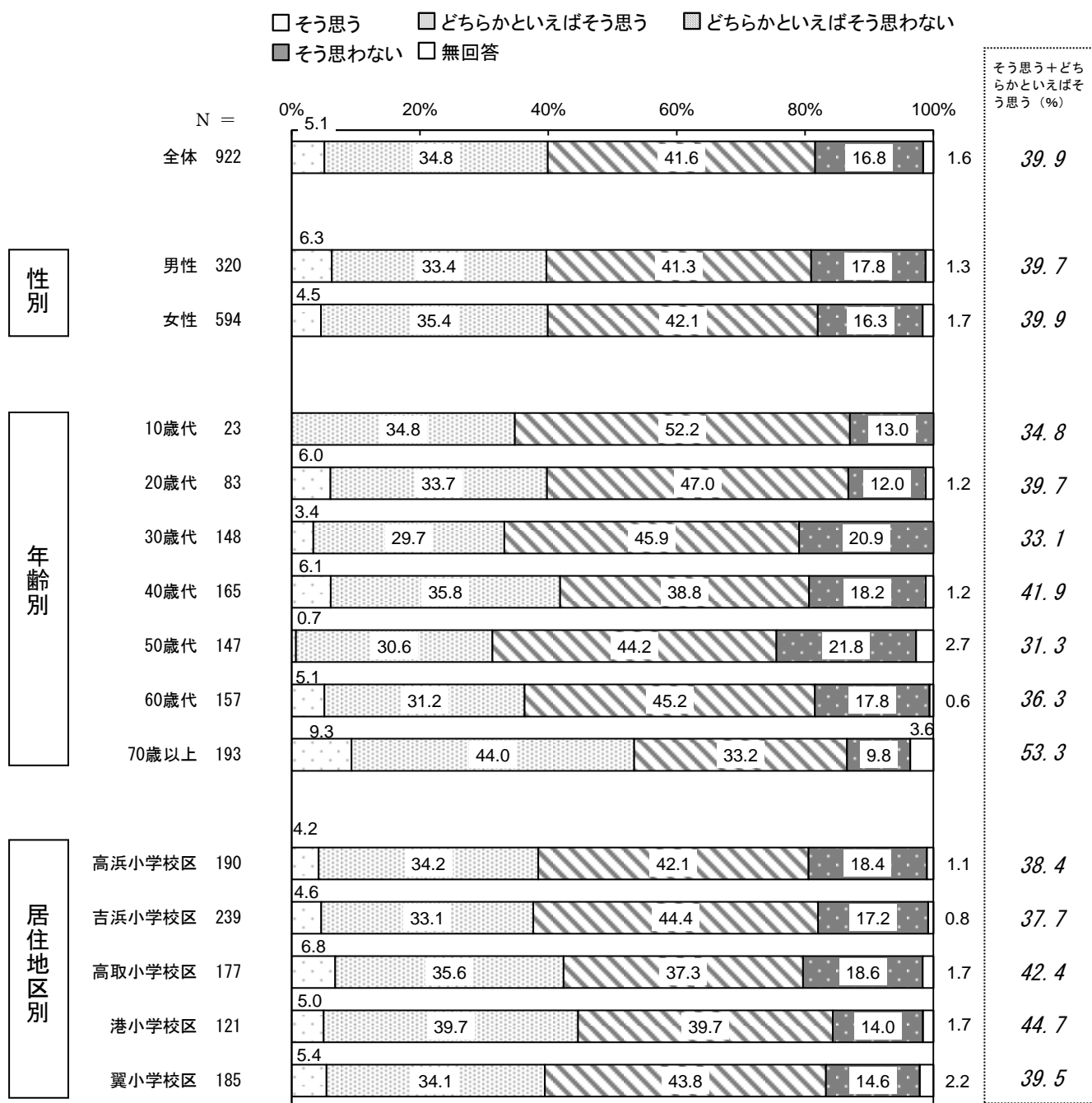


問2 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ。

「将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が5.1%、「どちらかといえばそう思ふ」が34.8%であり、合わせて39.9%となっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、70歳以上(53.3%)で全体より13.4ポイント高くなっている一方で、50歳代(31.3%)で8.6ポイント低く、30歳代(33.1%)で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、港小学校区(44.7%)で全体よりやや高くなっています。



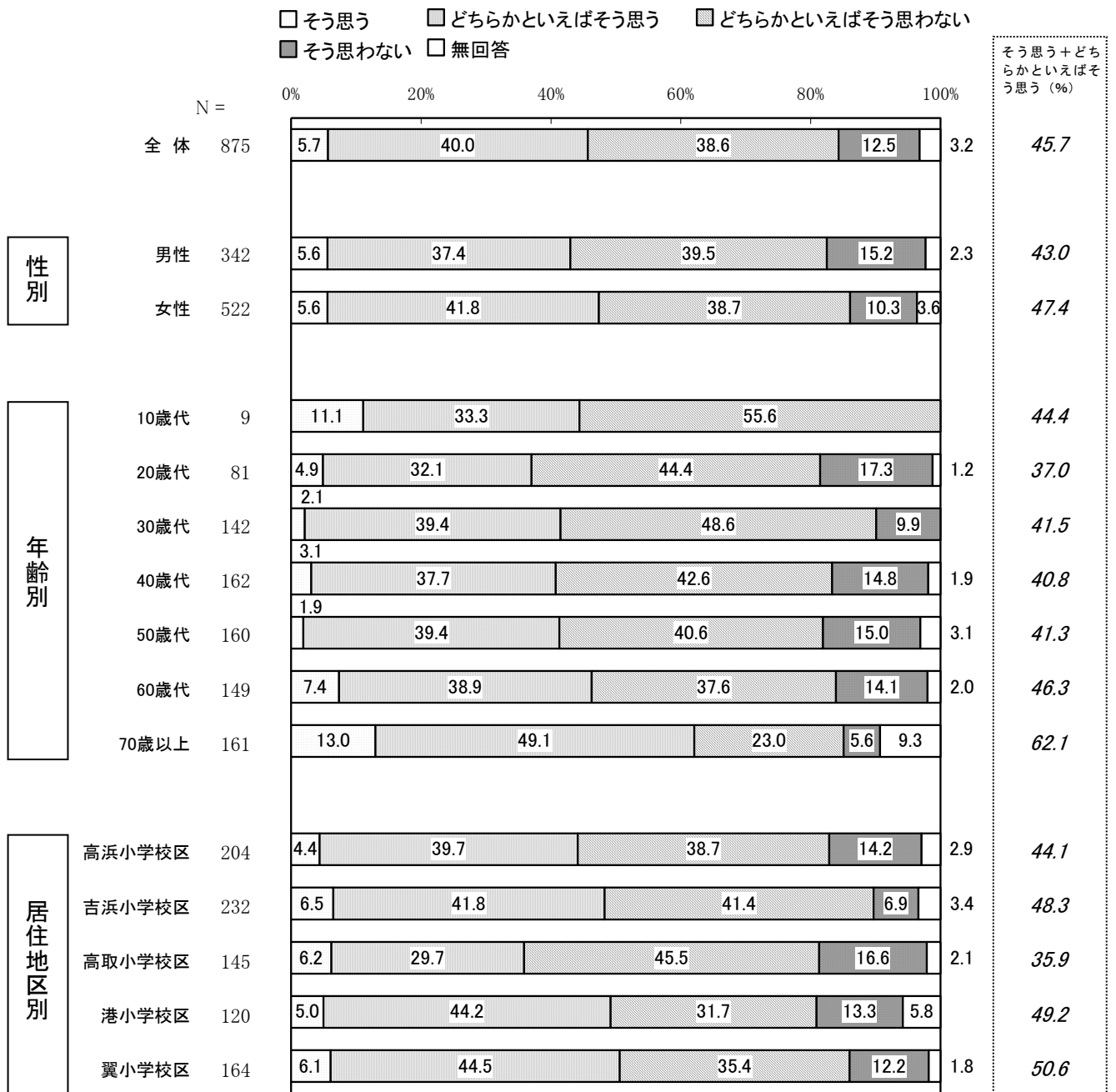
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体的にやや減少しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代（41.3%⇒31.3%）、60歳代（46.3%⇒36.3%）でそれぞれ10.0ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（35.9%⇒42.4%）で6.5ポイント増加し、翼小学校区（50.6%⇒39.5%）で11.1ポイント、吉浜小学校区（48.3%⇒37.7%）で10.6ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



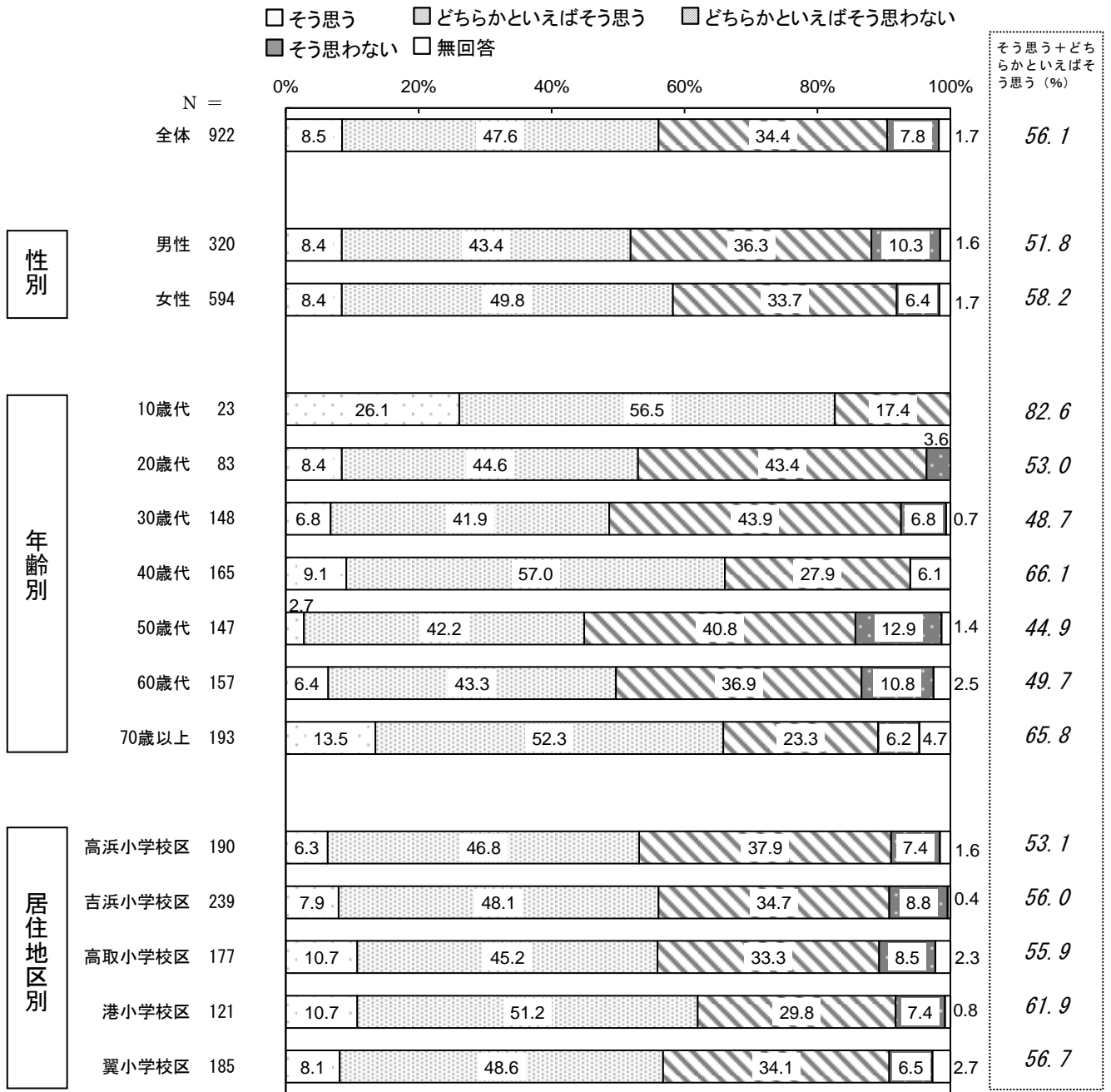
問3 学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う。

「学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が 8.5%、「どちらかといえばそう思う」が 47.6%であり、合わせて 56.1%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（51.8%）で全体よりやや低く、女性（58.2%）で全体よりやや高くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（66.1%）で全体より 10.0ポイント高くなっている一方で、50歳代（44.9%）で全体より 11.2ポイント低く、30歳代（48.7%）、60歳代（49.7%）も全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校校区（61.9%）で全体よりやや高く、高浜小学校校区（53.1%）で全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

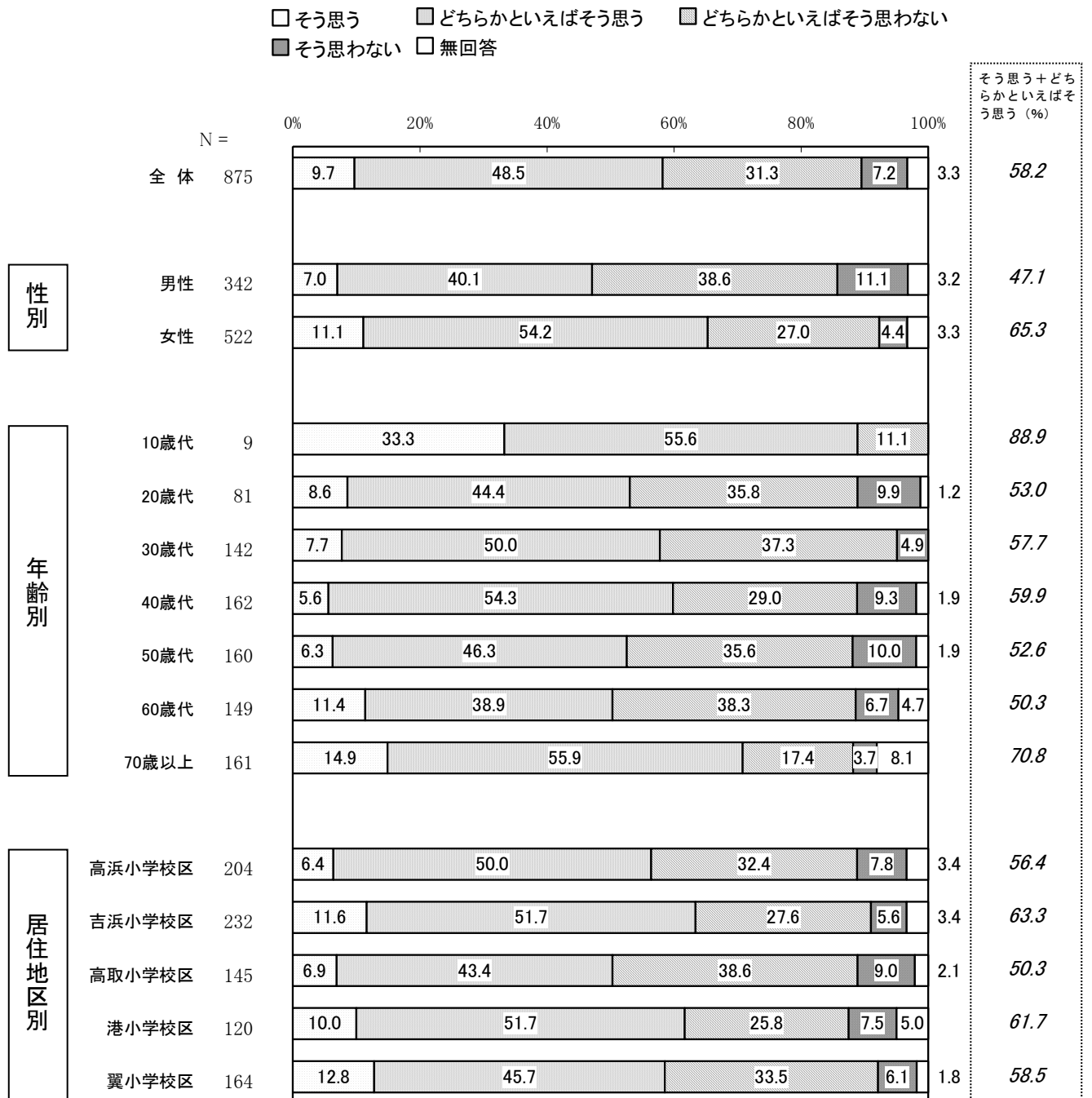
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（47.1%⇒51.8%）でやや増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（59.9%⇒66.1%）で6.2ポイント増加する一方で、30歳代（57.7%⇒48.7%）で9.0ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（63.3%⇒56.0%）で7.3ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



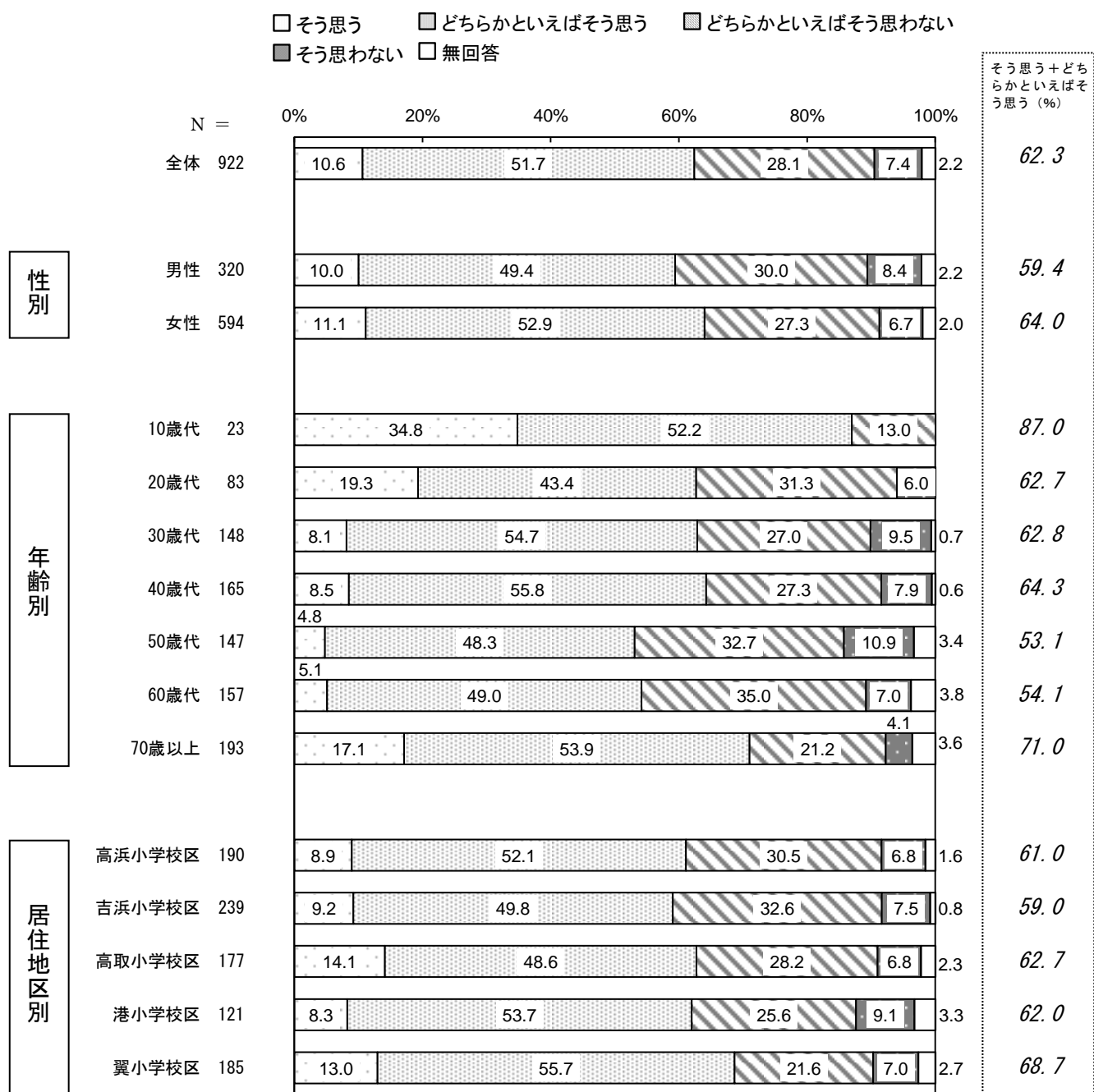
問4 学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う。

「学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.6%、「どちらかといえばそう思う」が51.7%であり、合わせて62.3%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（59.4%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上（71.0%）で全体より8.7ポイント高くなっている一方で、50歳代（53.1%）で9.2ポイント、60歳代（54.1%）で8.2ポイント、全体より低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（68.7%）で全体よりやや高くなっています。



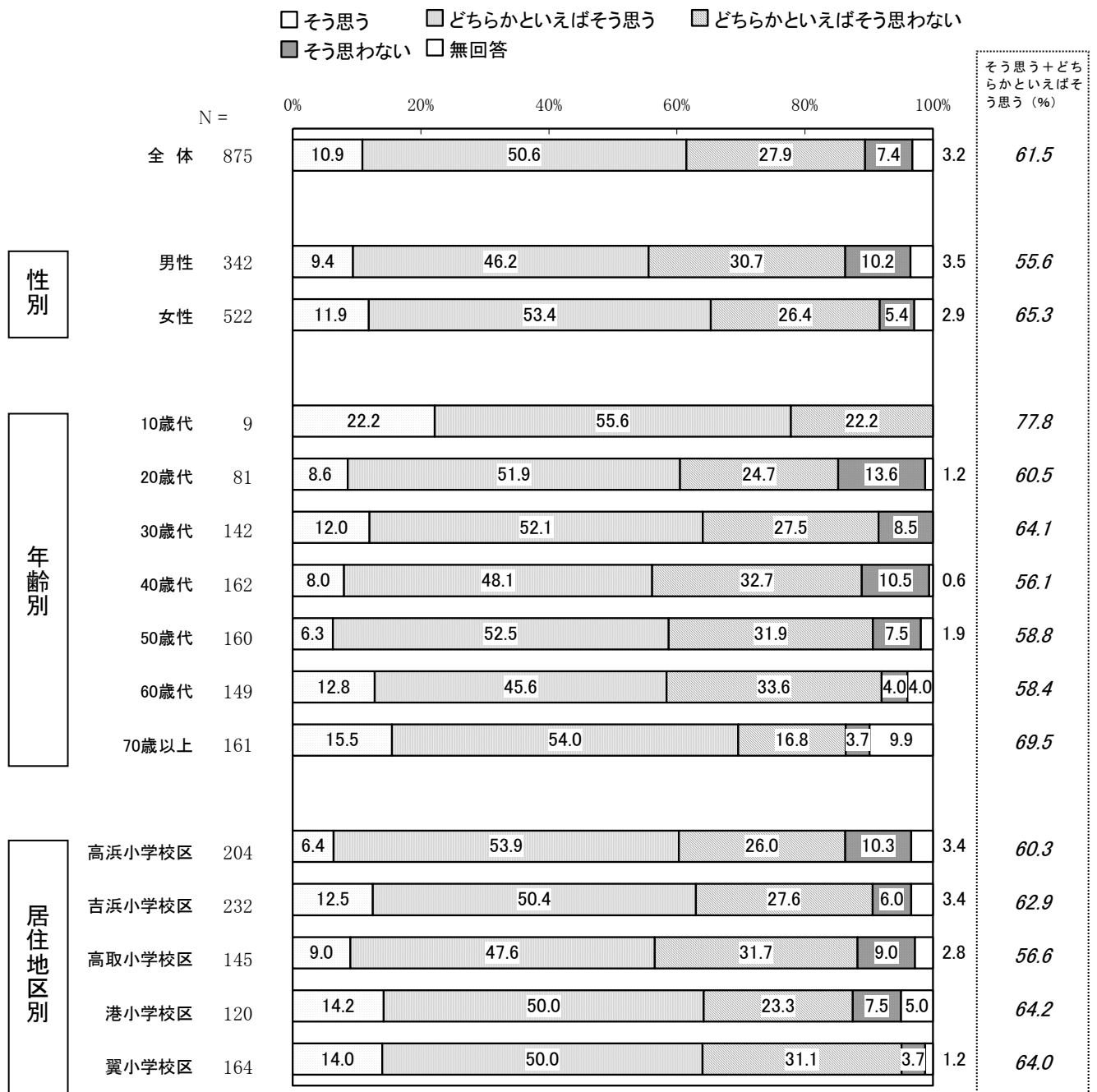
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（56.1%⇒64.3%）で8.2ポイント増加している一方で、50歳代（58.8%⇒53.1%）で5.7ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（56.6%⇒62.7%）で6.1ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



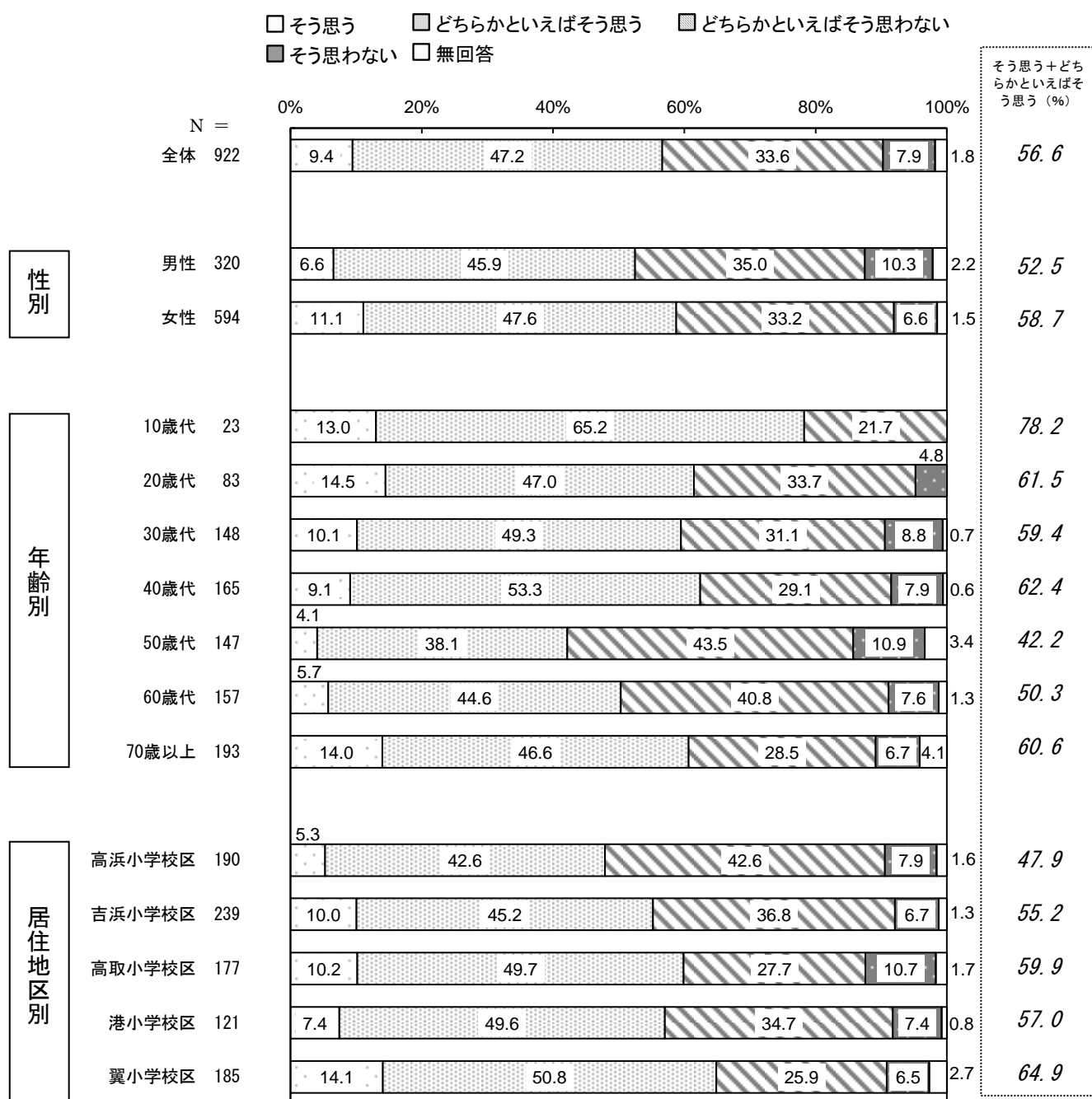
問5 地域ぐるみで、子育てを支えているまちだと思う。

「地域ぐるみで、子育てを支えているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.4%、「どちらかといえばそう思う」が47.2%であり、合わせて56.6%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（52.5%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（62.4%）で全体よりやや高くなっている一方で、50歳代（42.2%）で全体より14.4ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（64.9%）で全体より8.3ポイント高くなっている一方で、高浜小学校区（47.9%）で全体より8.7ポイント低くなっています。



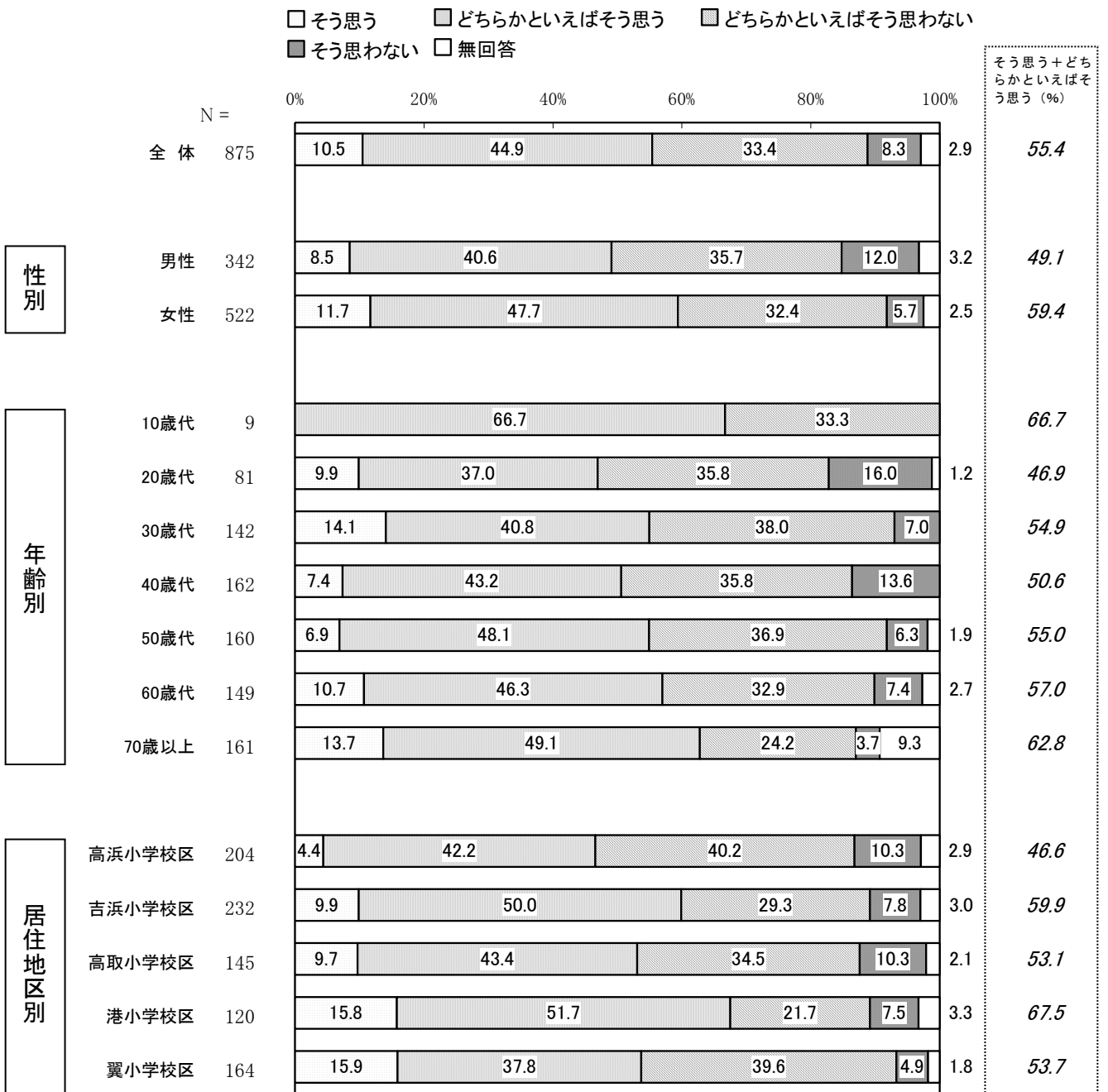
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（46.9%⇒61.5%）で14.6ポイント増加している一方で、50歳代（55.0%⇒42.2%）で12.8ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（53.7%⇒64.9%）で11.2ポイント増加している一方で、港小学校区（67.5%⇒57.0%）で10.5ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

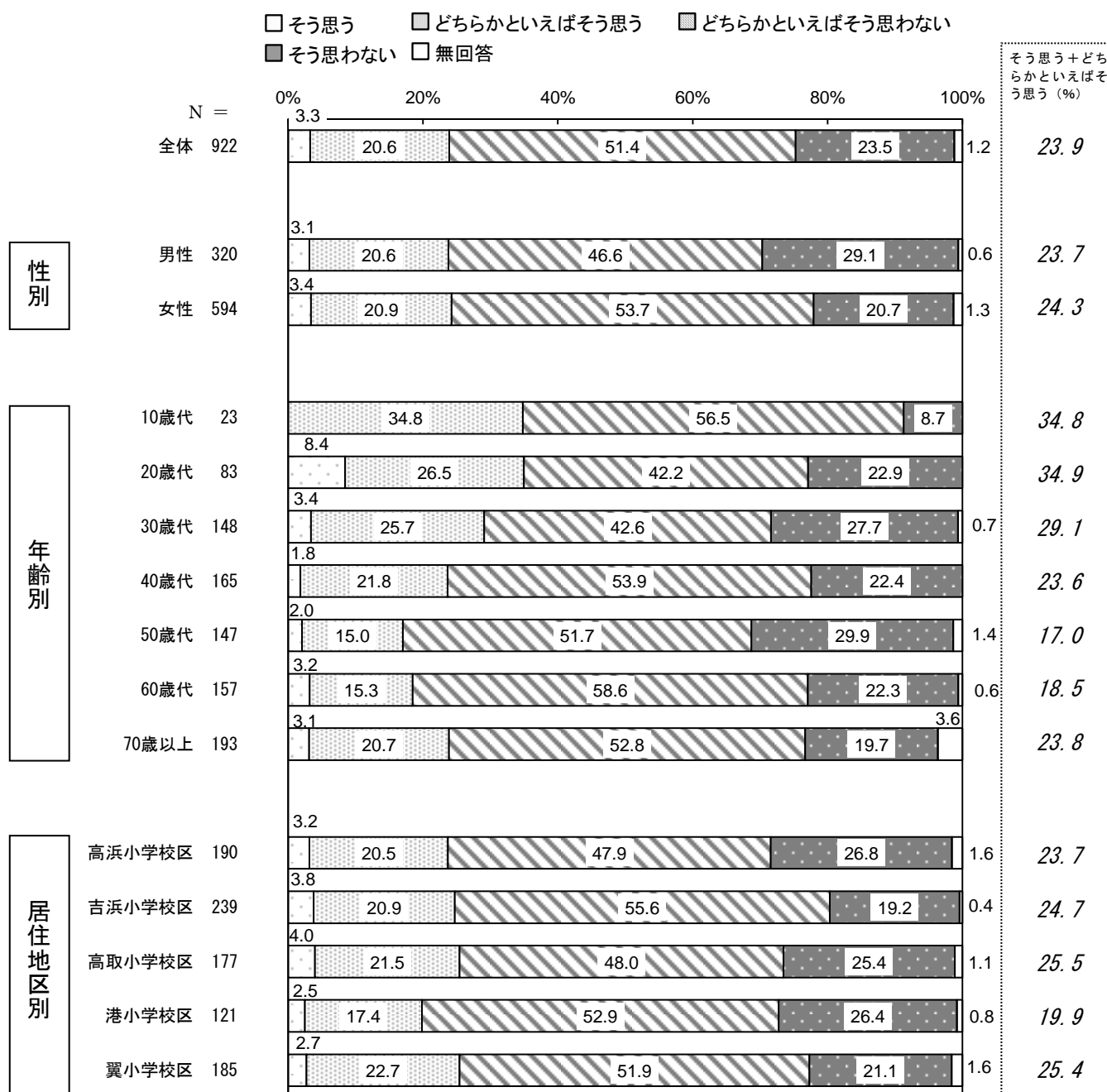


問6 産業が活性化して、まちが元気になっていると思う。

「産業が活性化して、まちが元気になっていると思う」市民の割合は、「そう思う」が3.3%、「どちらかといえばそう思う」が20.6%であり、合わせて23.9%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代(34.9%)で全体より11.0ポイント高くなっている一方で、50歳代(17.0%)、60歳代(18.5%)で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区(25.5%)で全体よりやや高くなっている一方で、港小学校区(19.9%)で全体よりやや低くなっています。

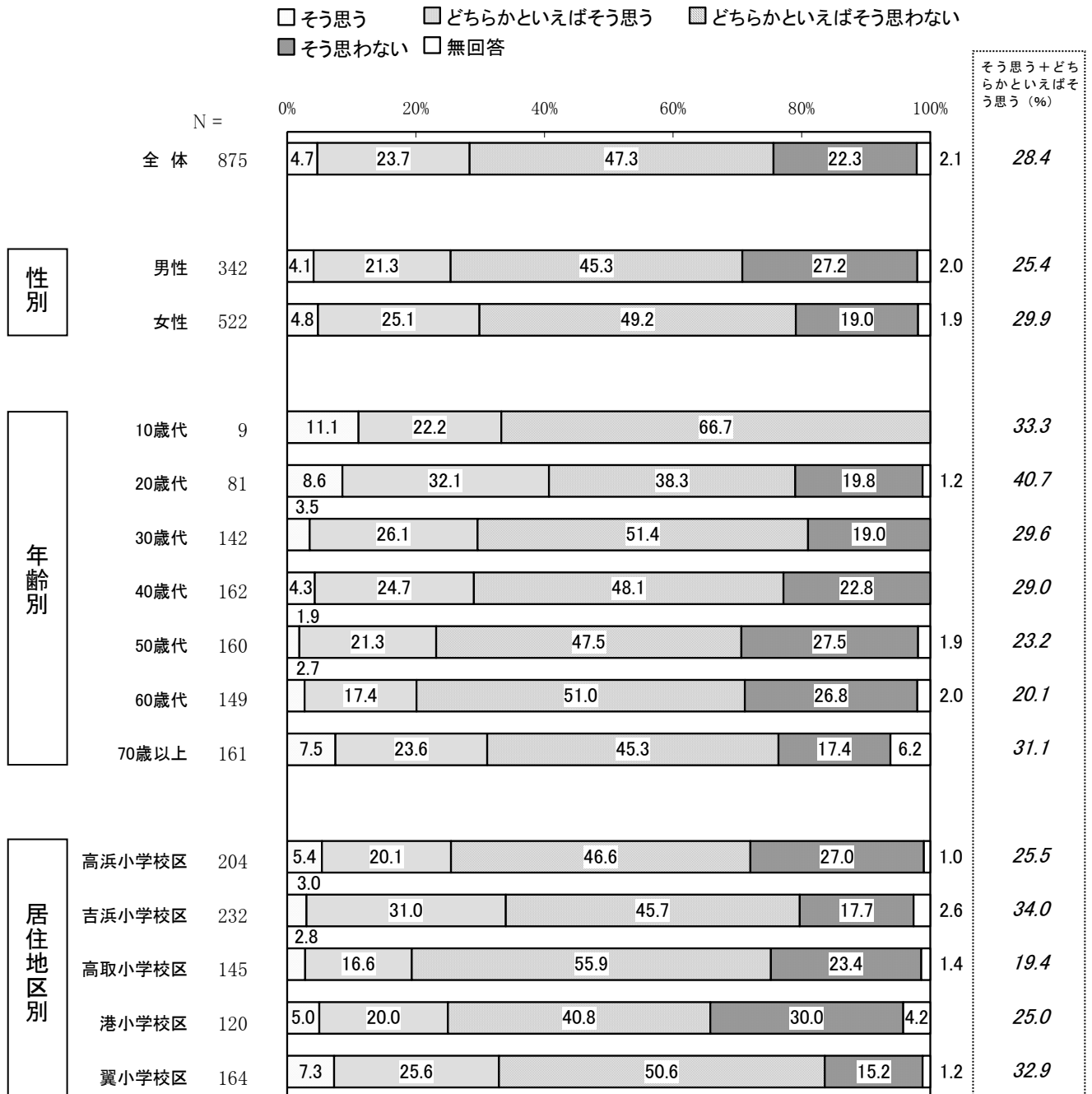


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（19.4%⇒25.5%）で6.1ポイント増加している一方で、吉浜小学校区（34.0%⇒24.7%）で9.3ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

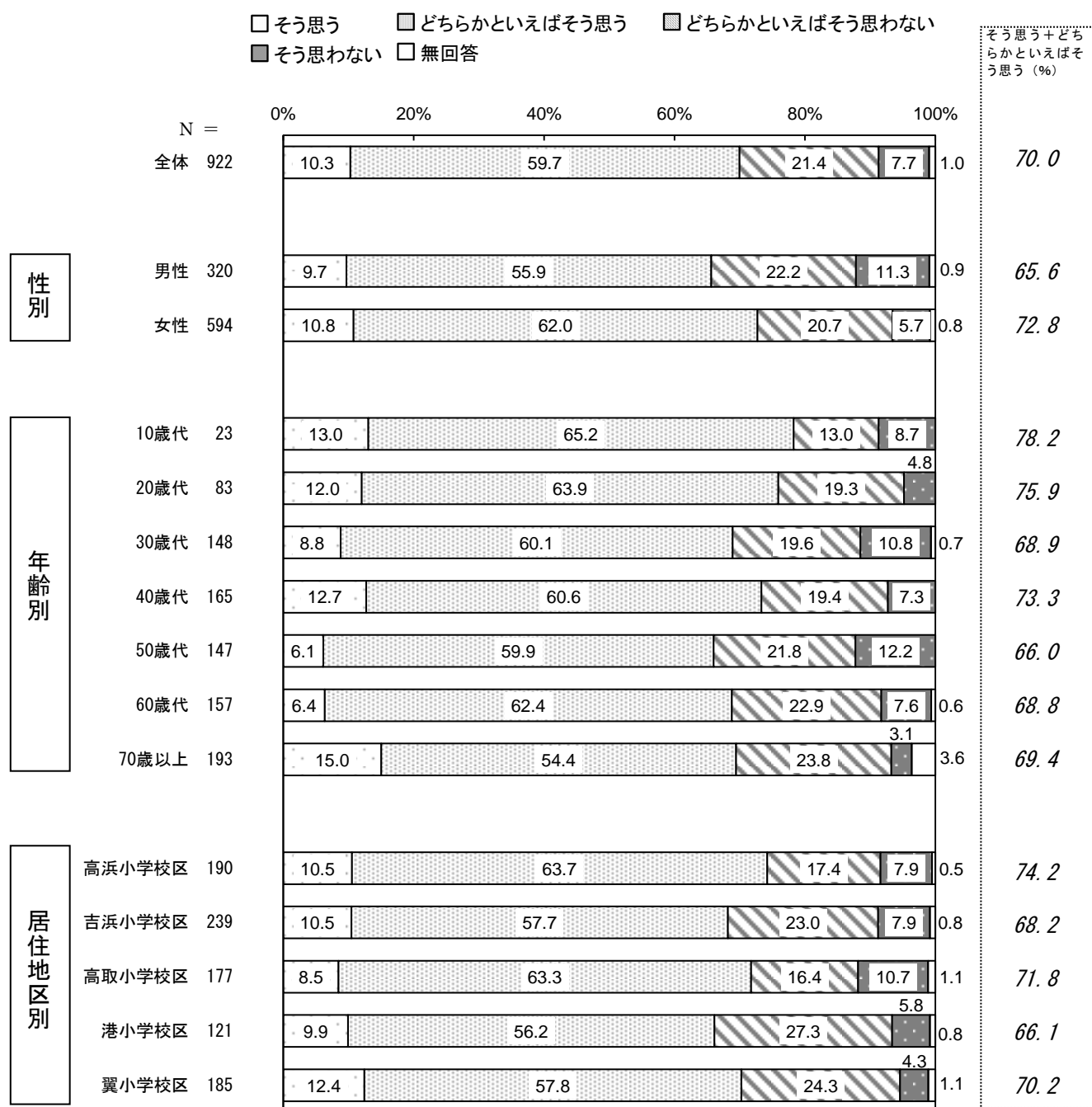


問7 みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。

「みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.3%、「どちらかといえばそう思う」が59.7%であり、合わせて70.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代(75.9%)で全体よりやや高くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、全体と比べて、大きな差異は見られません。



【前回調査との比較】

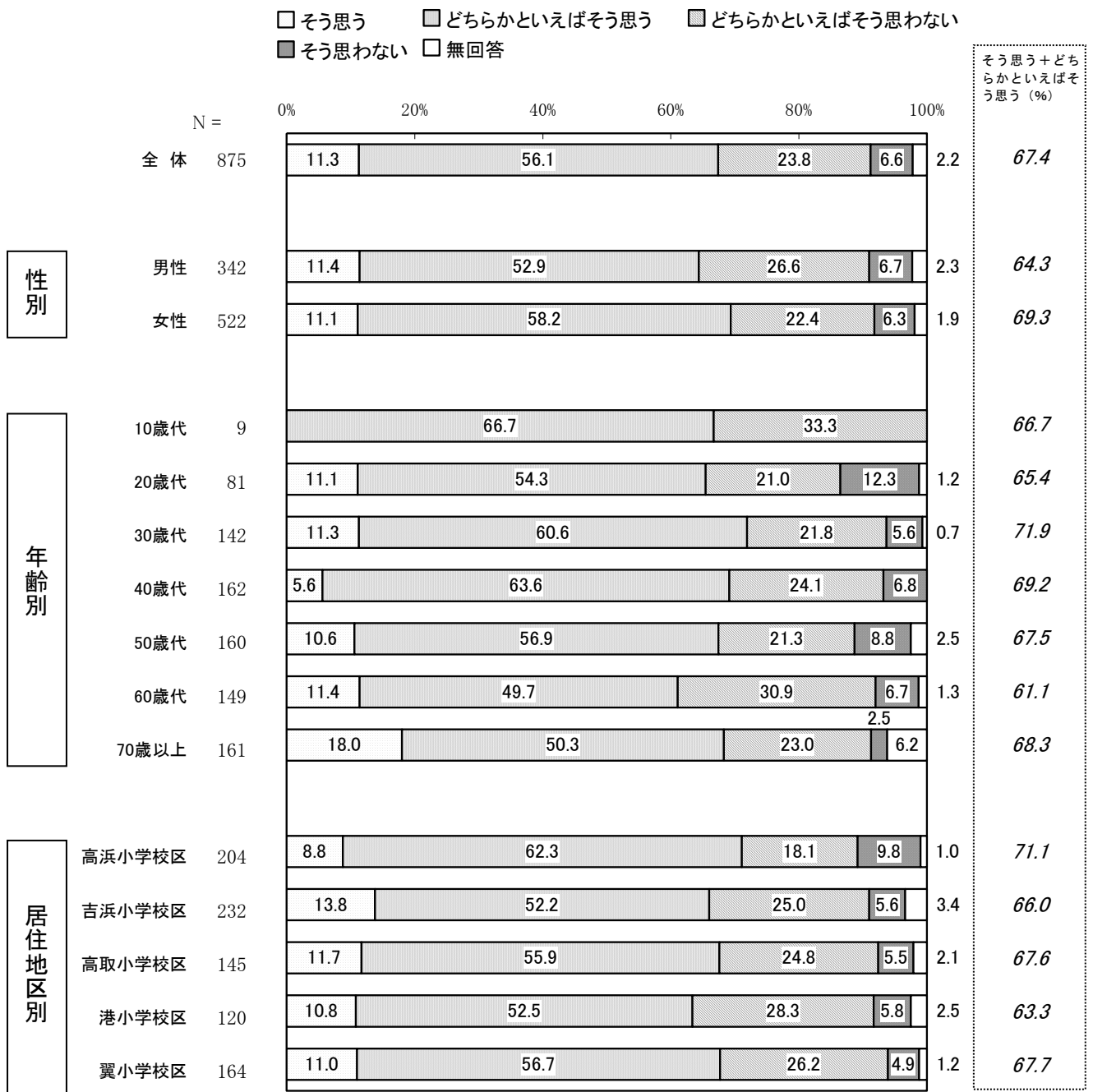
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性（69.3%⇒72.8%）でやや増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（65.4%⇒75.9%）で10.5ポイント増加しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、全体的にやや増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

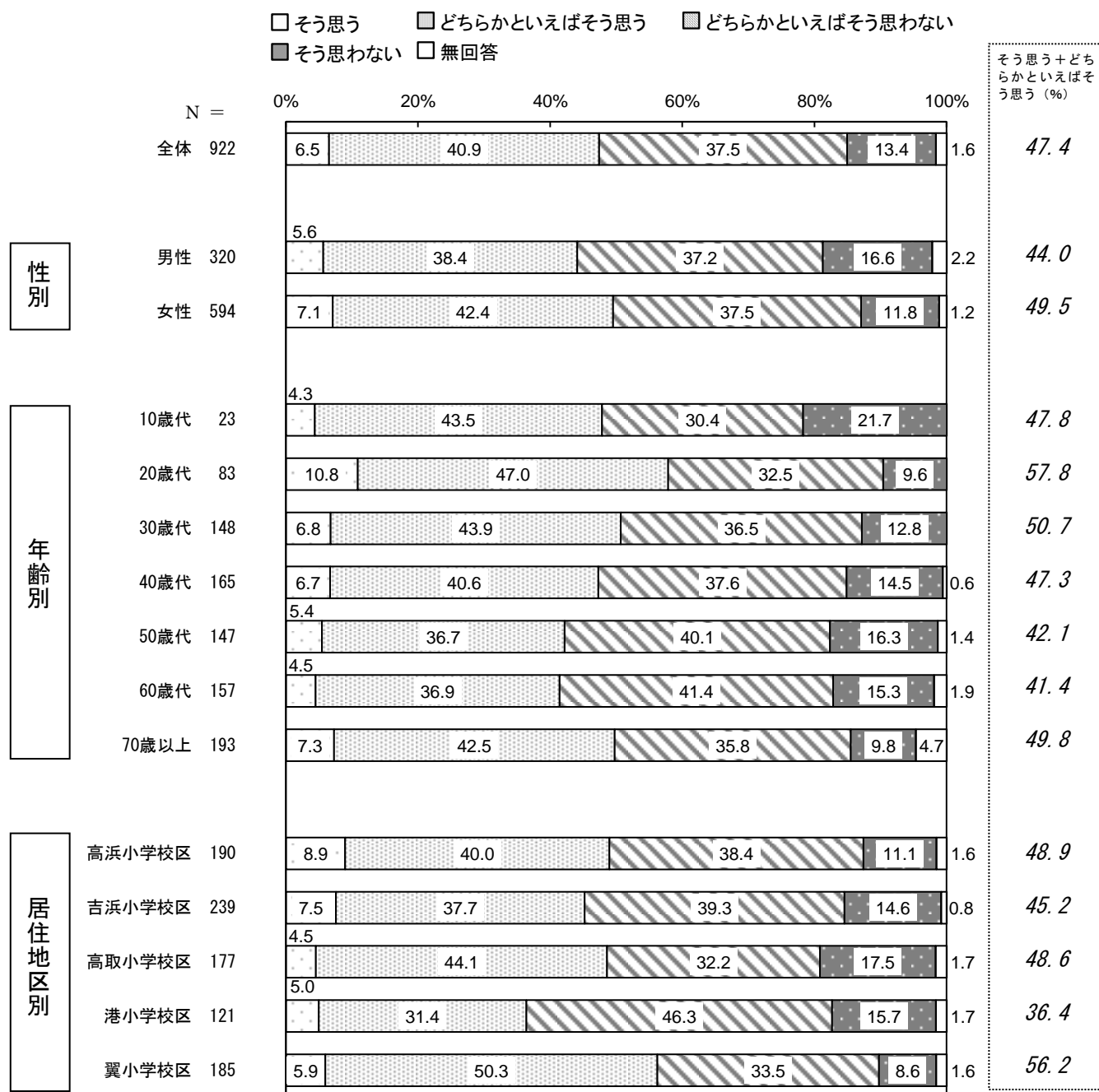


問 8 調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う。

「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が6.5%、「どちらかといえばそう思う」が40.9%であり、合わせて47.4%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、10歳代、70歳以上を除き、年齢層が上がるにつれて、「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う」市民の割合が概ね低くなる傾向が見られます。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（56.2%）で全体より8.8ポイント高くなっている一方で、港小学校区（36.4%）で全体より11.0ポイント低くなっています。



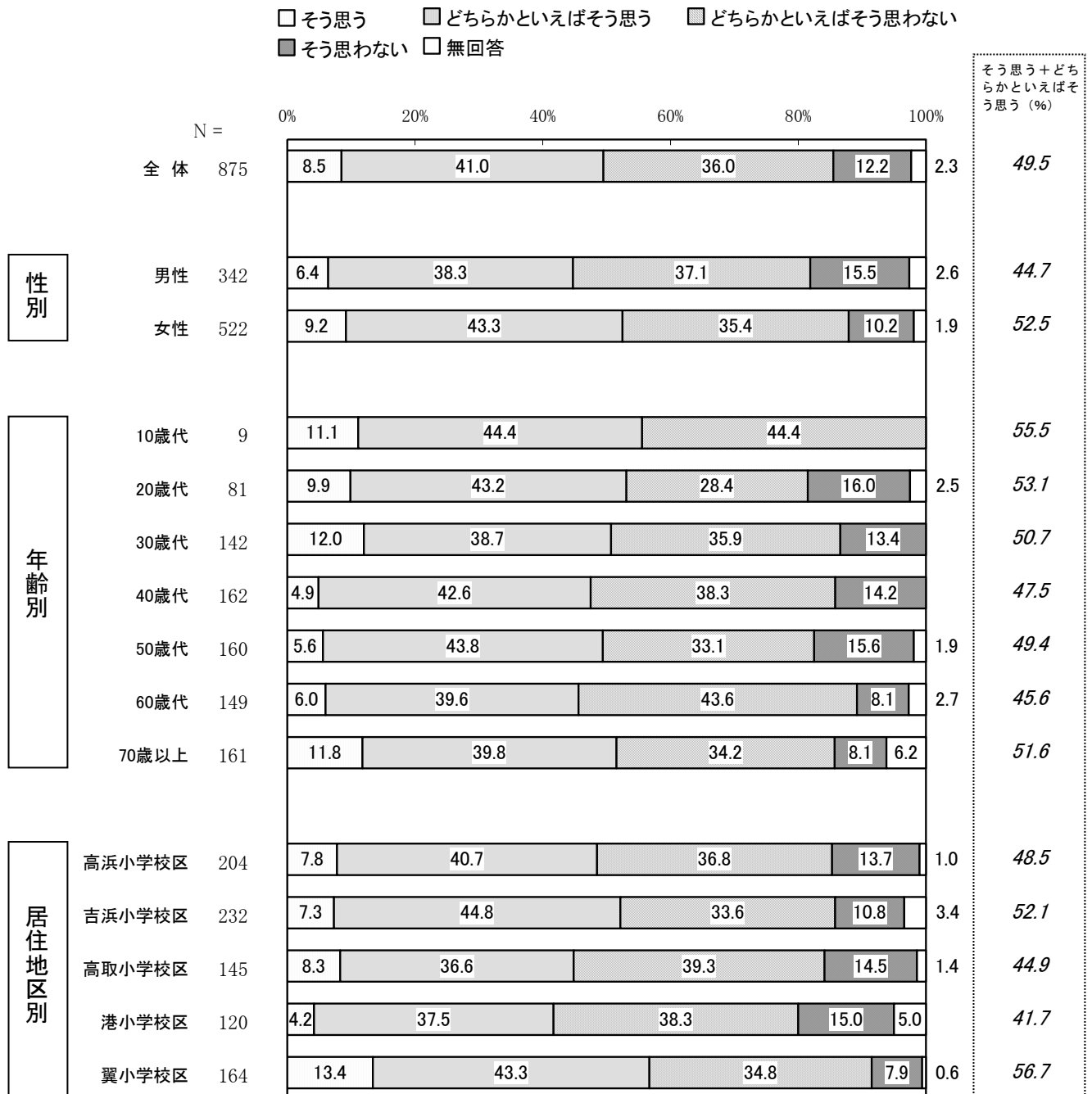
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（53.1%⇒57.8%）でやや増加している一方で、全体的には減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（52.1%⇒45.2%）で6.9ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

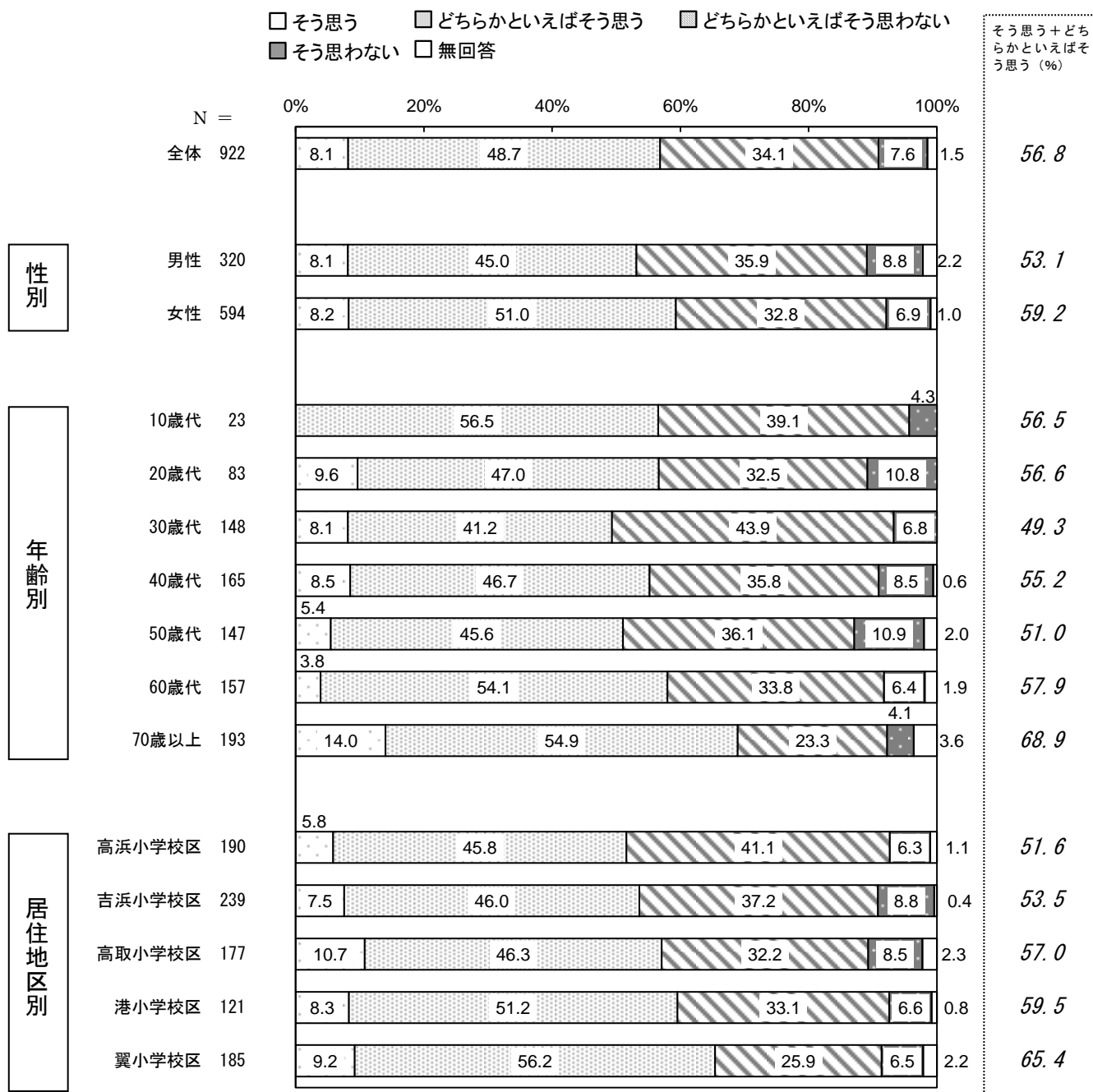


問9 安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う。

「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が8.1%、「どちらかといえばそう思う」が48.7%であり、合わせて56.8%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上(68.9%)で全体より12.1ポイント高くなっている一方で、30歳代(49.3%)、50歳代(51.0%)で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区(65.4%)で全体より8.6ポイント高くなっています。



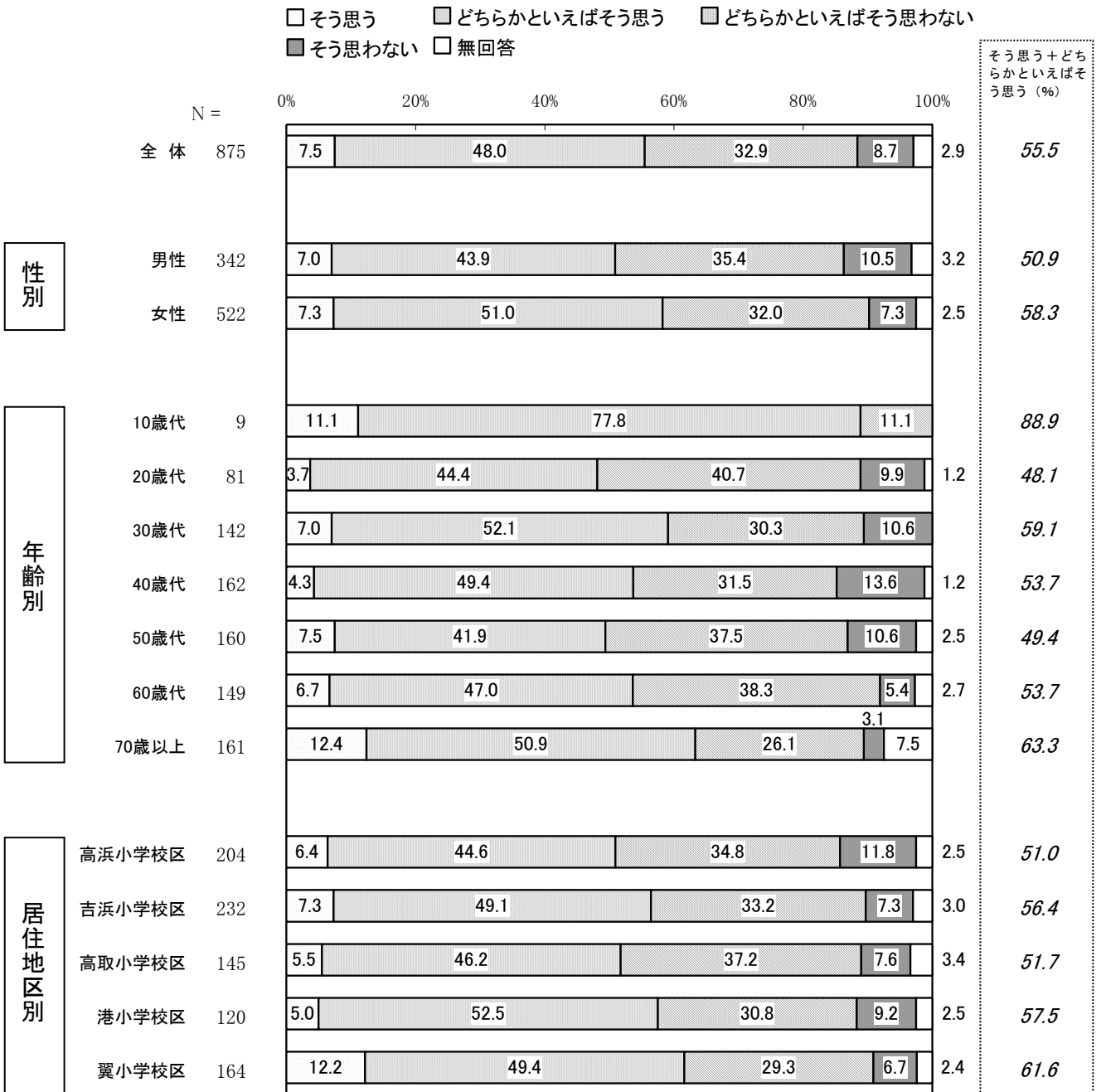
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（48.1%⇒56.6%）で8.5ポイント増加している一方で、30歳代（59.1%⇒49.3%）で9.8ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（51.7%⇒57.0%）で5.3ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



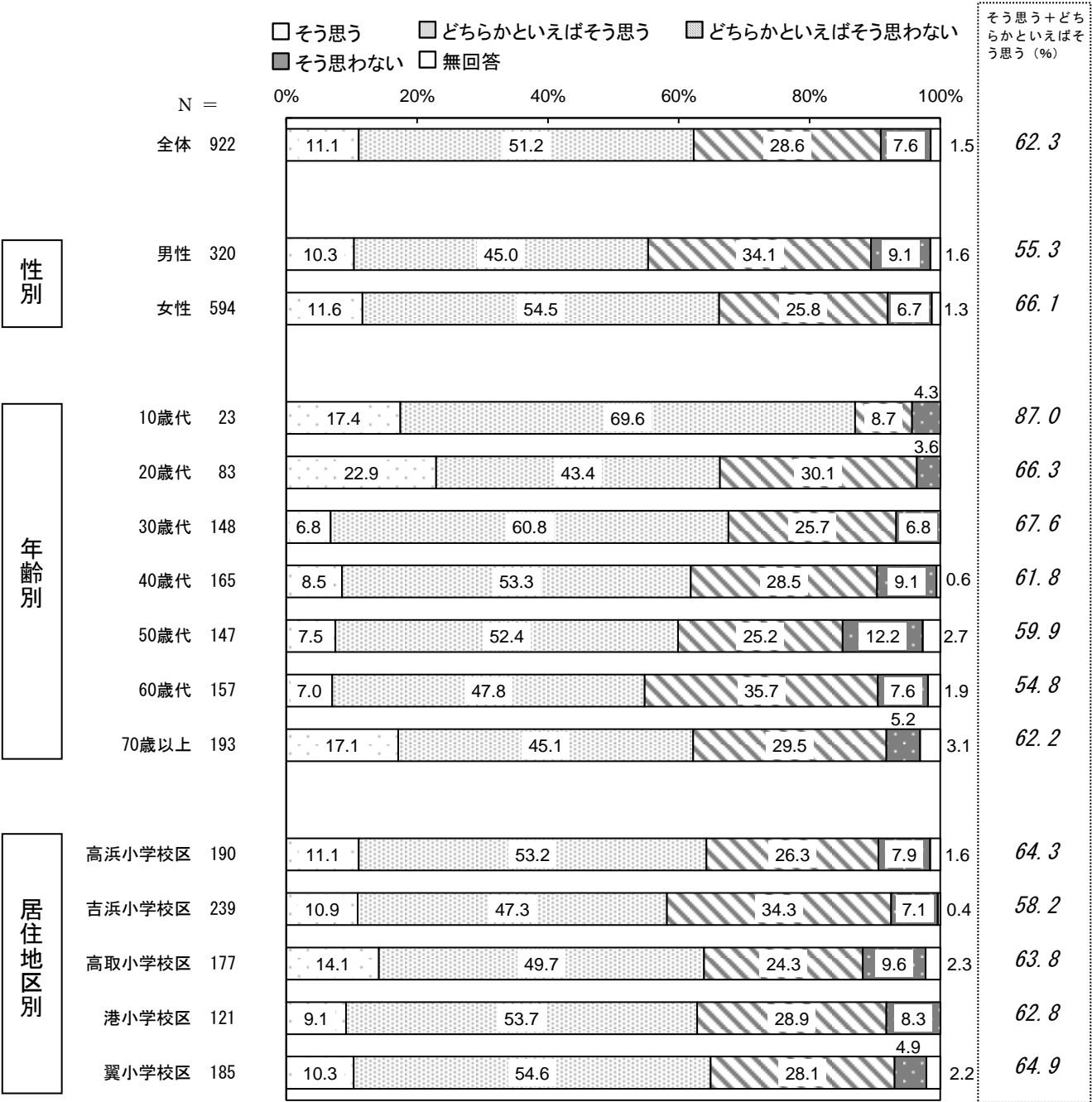
問 10 一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う。

「一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が 11.1%、「どちらかといえばそう思う」が 51.2%であり、合わせて 62.3%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（55.3%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（67.6%）で全体よりやや高くなっている一方で、60歳代（54.8%）、50歳代（59.9%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（58.2%）で全体よりやや低くなっています。



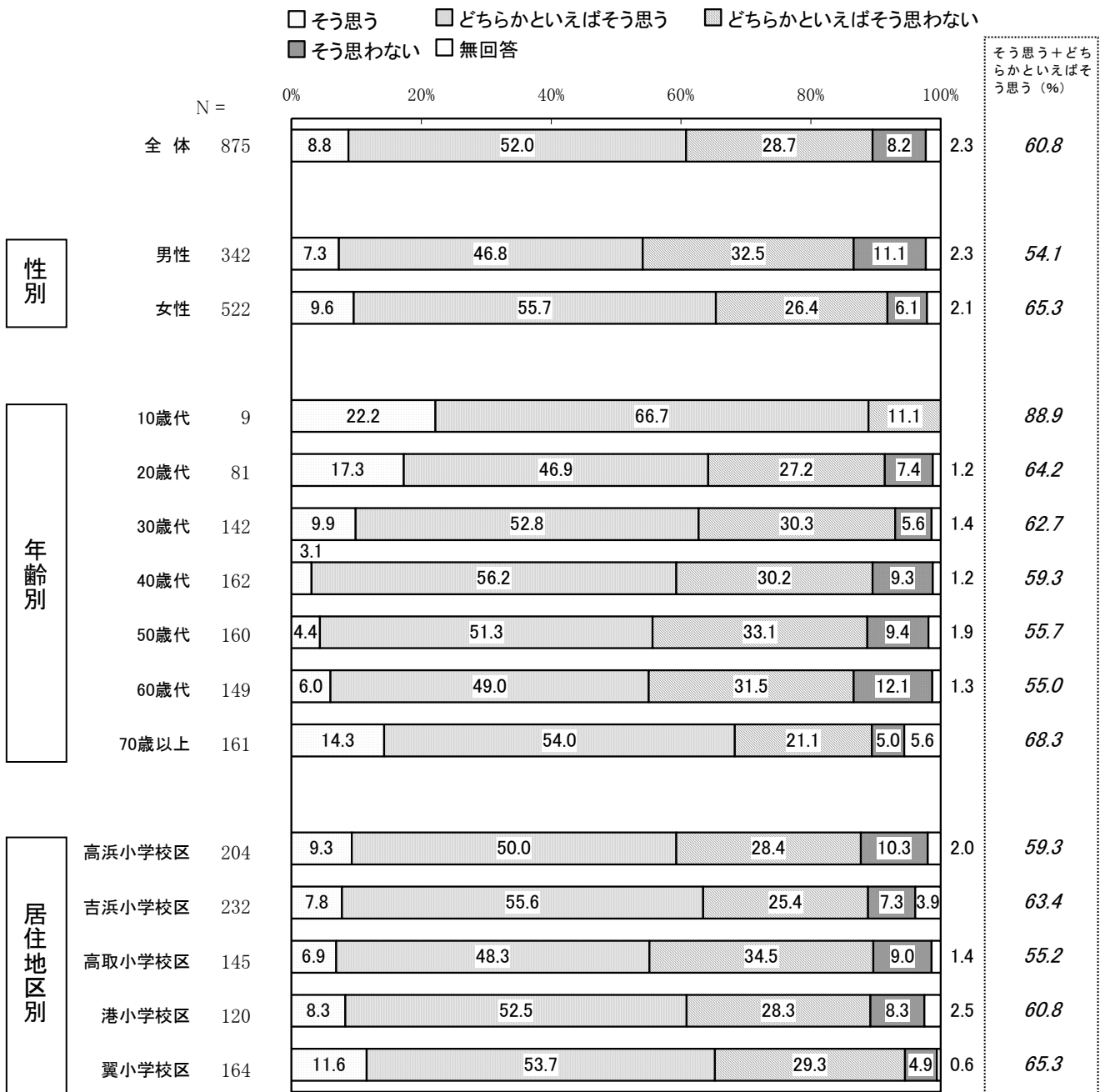
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（62.7%⇒67.6%）でやや増加している一方で、70歳以上（68.3%⇒62.2%）で6.1ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（55.2%⇒63.8%）で8.6ポイント増加している一方で、吉浜小学校区（63.4%⇒58.2%）で5.2ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



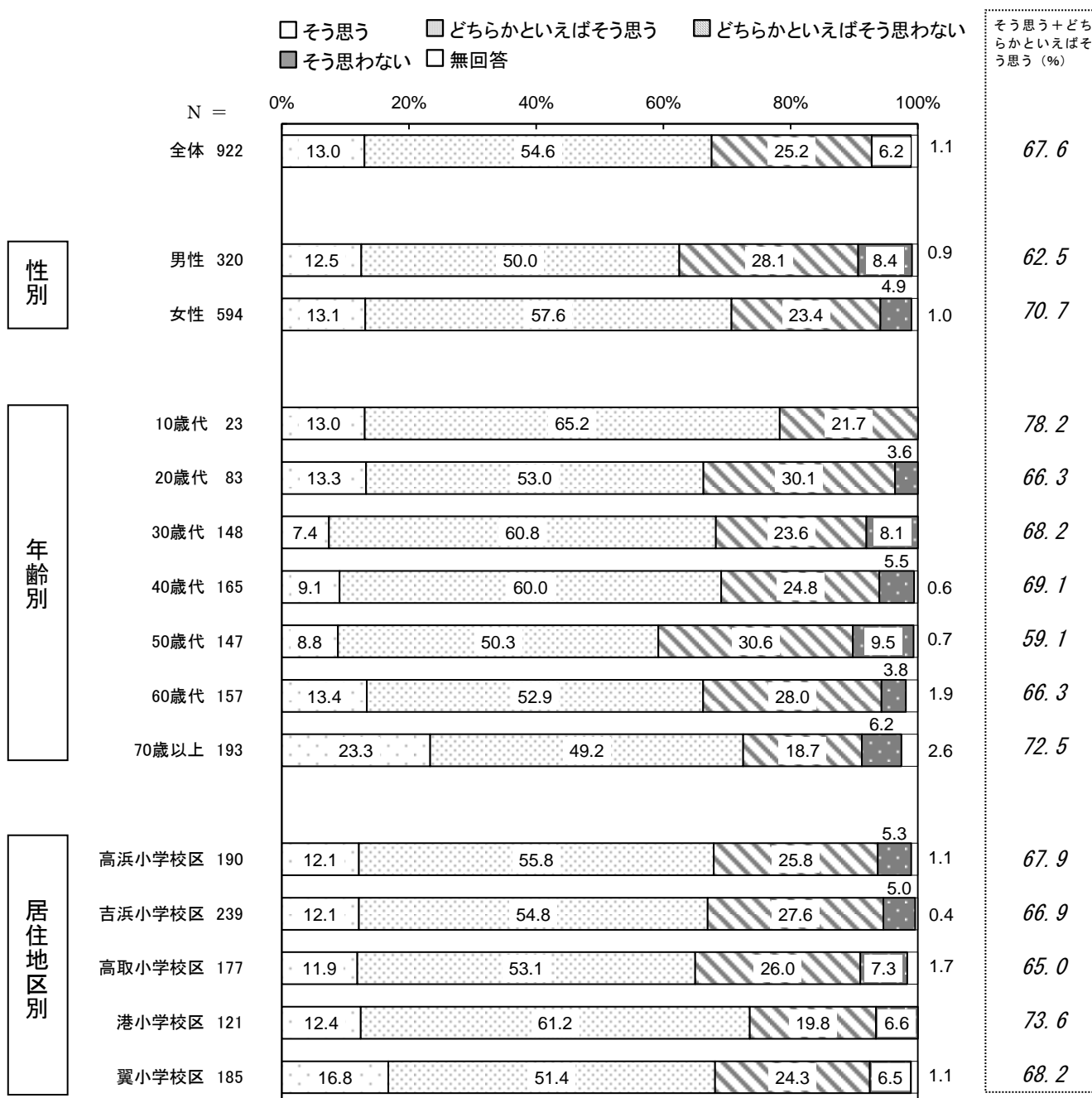
問11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思ふ。

「一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が13.0%、「どちらかといえばそう思ふ」が54.6%であり、合わせて67.6%となっています。

性別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、男性(62.5%)で全体よりやや低くなっている一方で、女性(70.7%)で全体よりやや高くなっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、70歳以上(72.5%)で全体よりやや高くなっている一方で、50歳代(59.1%)で全体より8.5ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、港小学校区(73.6%)で全体よりやや高くなっている一方で、高取小学校区(65.0%)で全体よりやや低くなっています。



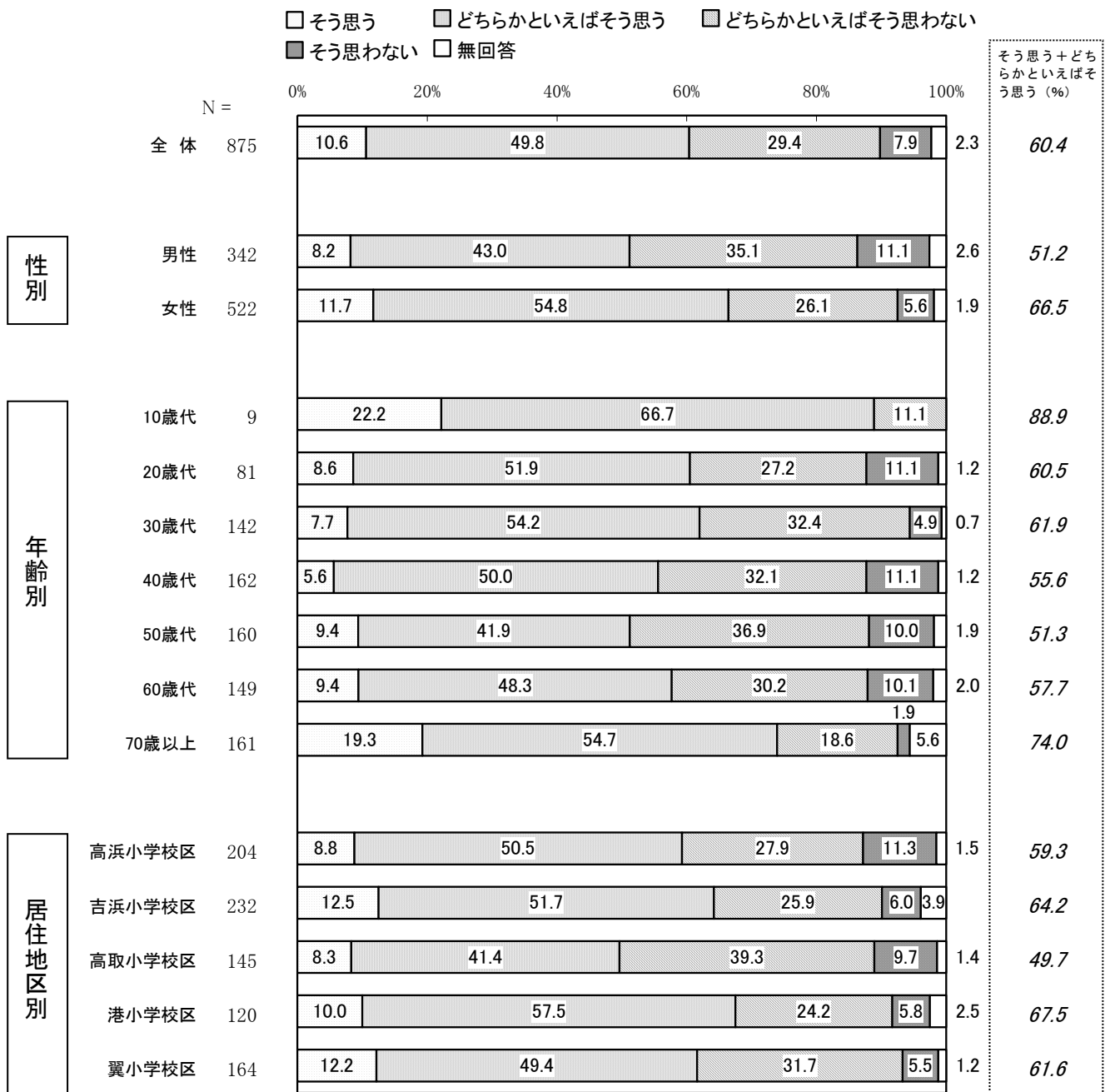
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると（60.4%⇒67.6%）で7.2ポイント増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（55.6%⇒69.1%）で13.5ポイント、60歳代（57.7%⇒66.3%）で8.6ポイント増加している一方で、70歳以上（74.0%⇒72.5%）でやや減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（49.7%⇒65.0%）で15.3ポイント増加を筆頭に全体的に増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



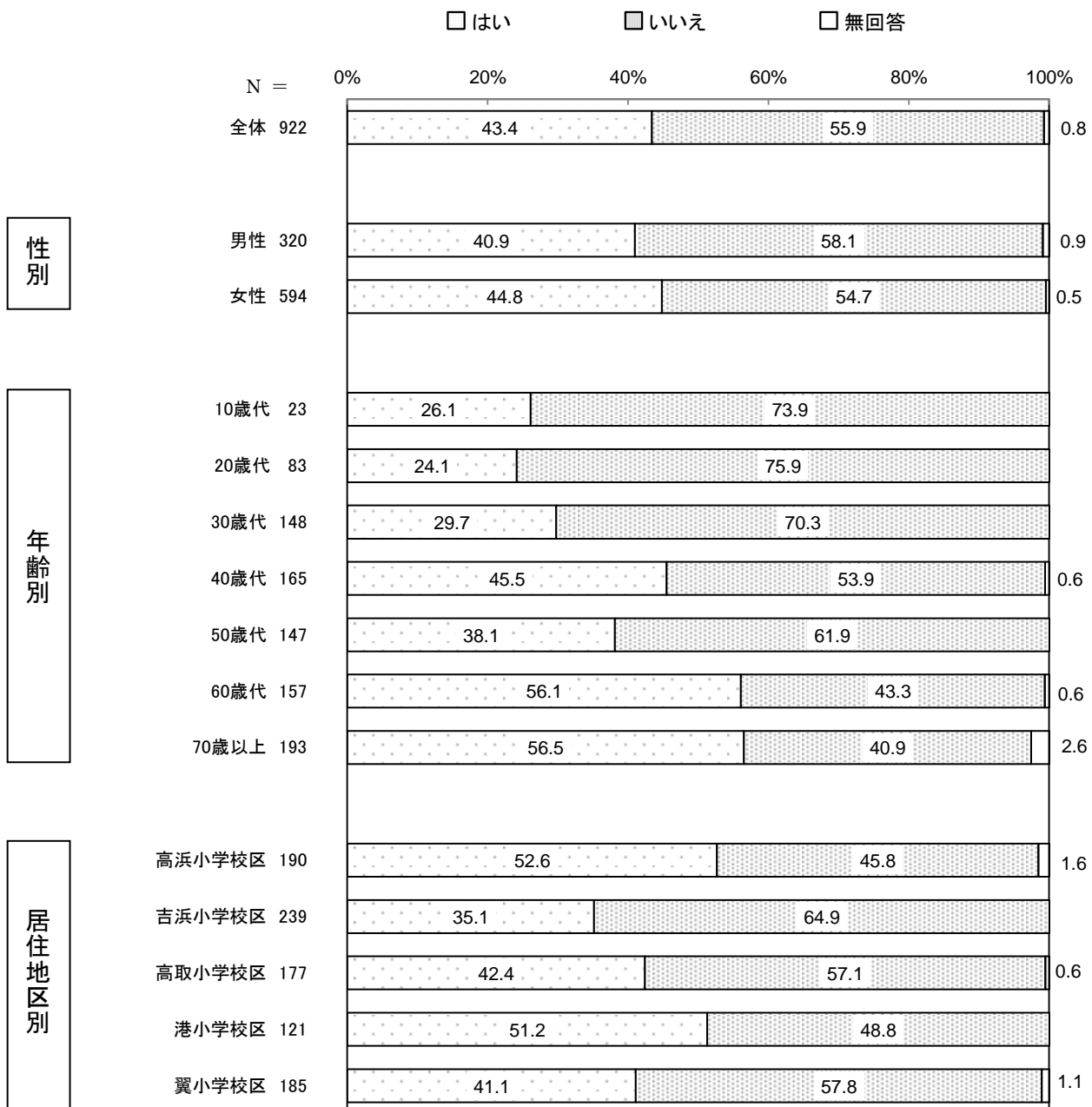
V 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について (設問 12~31)

問 12 あなたは、高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を知っていますか？

「高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ『思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま』を知っている」市民の割合は、43.4%となっています。

年齢別では、70歳以上(56.5%)が最も高く、全体と比べて13.1ポイント高くなっています。次いで60歳代(56.1%)となっており、全体より12.7ポイント高くなっています。一方、20歳代(24.1%)で、全体より19.3ポイント低くなっており、30歳代(29.7%)で13.7ポイント、全体より低くなっています。

居住地区別では、高浜小学校区(52.6%)で、9.2ポイント高くなっています。一方、吉浜小学校区(35.1%)で、全体より8.3ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

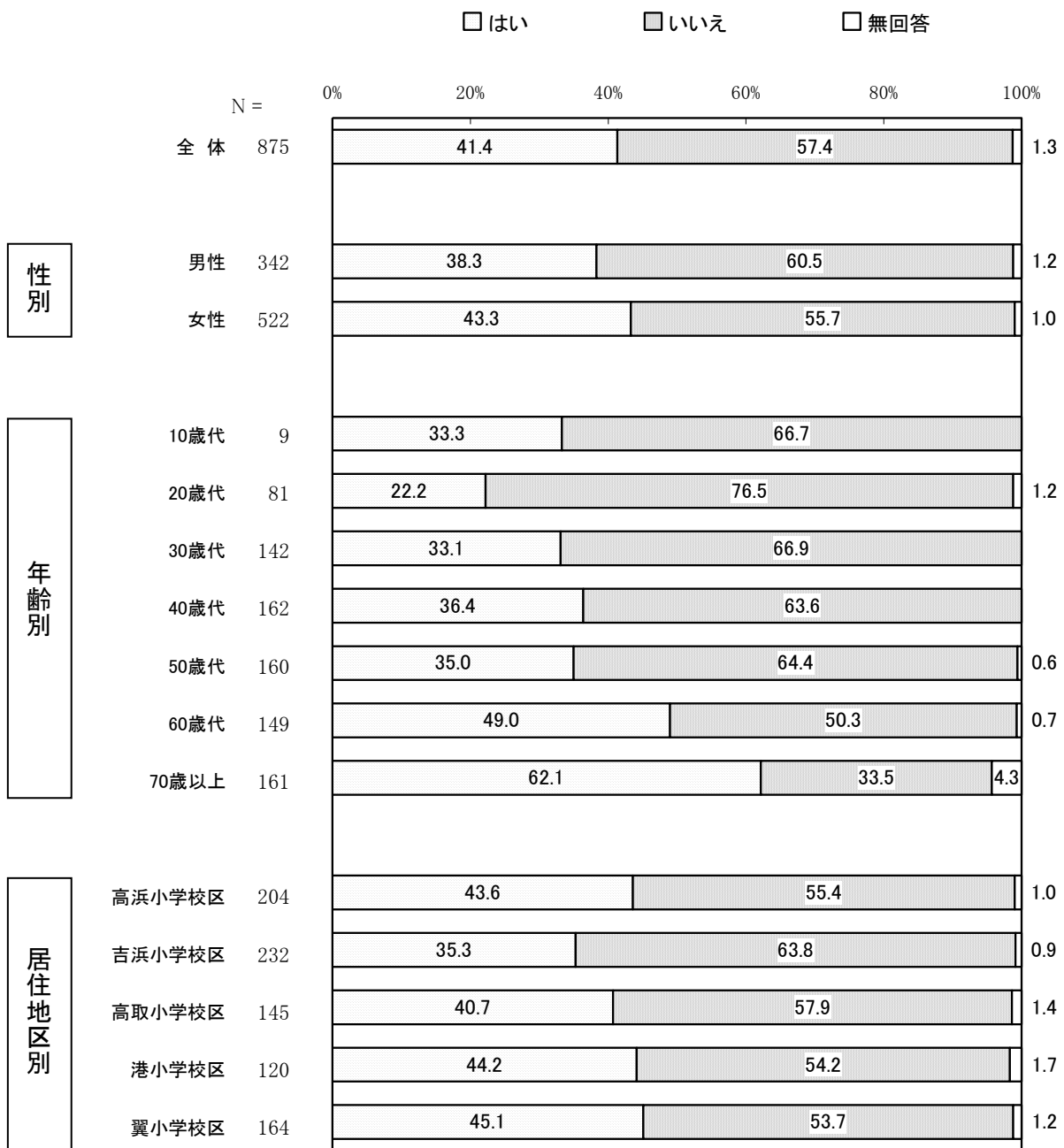
前回調査と比較すると、「高浜市のキャッチフレーズを知っている」市民の割合は（41.4%⇒43.4%）でやや増加しています。

「高浜市のキャッチフレーズを知っている」市民の割合は、男女ともに増加しています。

年齢別では、40歳代（36.4%⇒45.5%）で9.1ポイント増加しています。一方、70歳以上（62.1%⇒56.5%）で5.6ポイント減少しています。

居住地区別では、高浜小学校区（43.6%⇒52.6%）で9.0ポイント、港小学校区（44.2%⇒51.2%）、で7.0ポイント増加しています。

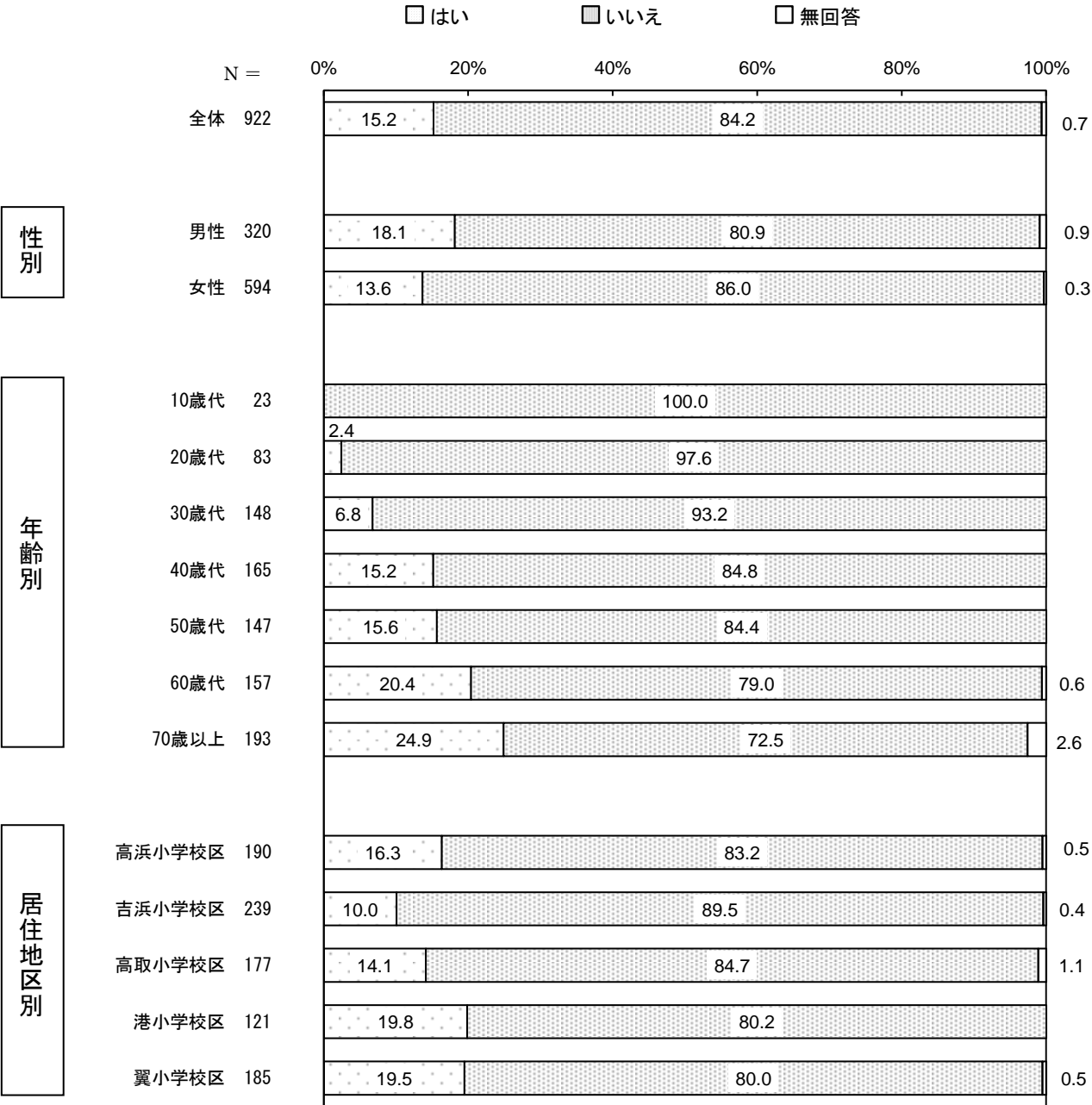
《参考：前回調査の結果（平成27年度）》



問 13 あなたは、「私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために」を前文とする「高浜市自治基本条例」を知っていますか？

『私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために』を前文とする『高浜市自治基本条例』を知っている」市民の割合は、15.2%となっています。

年齢別では、70歳以上（24.9%）が最も高く、全体と比べて9.7ポイント高くなっています。次いで60歳代（20.4%）となっており、全体と比べてやや高くなっています。一方、10歳代（0%）では、誰も「高浜市自治基本条例」を知らないという結果です。20歳代（2.4%）で全体より12.8ポイント低くなっています。また、年齢層が上がるにつれて、『高浜市自治基本条例』を知っている」市民の割合が概ね高くなる傾向が見られます。



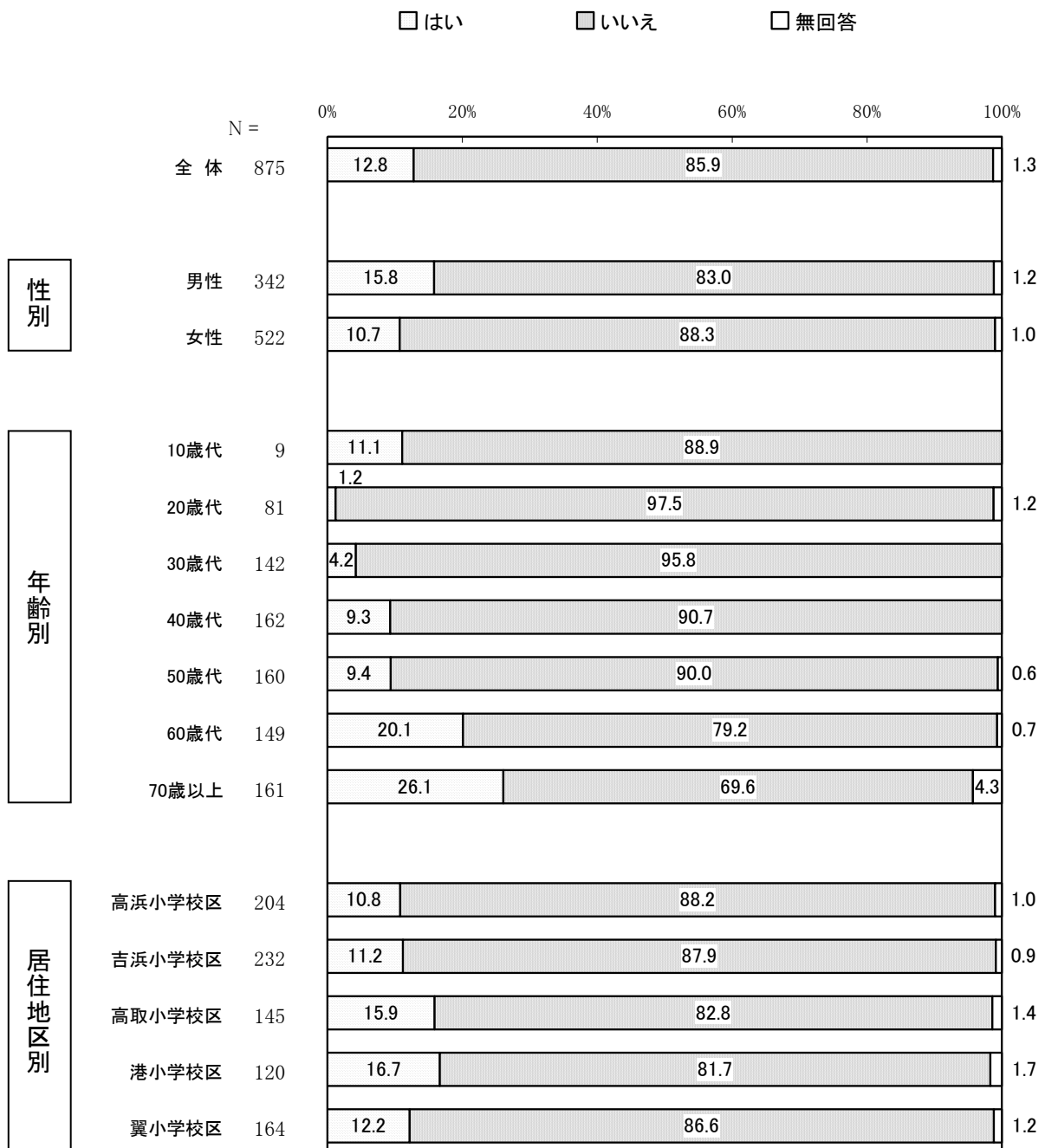
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、50歳代（9.4%⇒15.6%）で6.2ポイント、40歳代（9.3%⇒15.2%）で5.9ポイント増加しています。

居住地区別では、翼小学校区（12.2%⇒19.5%）で7.3ポイント、高浜小学校区（10.8%⇒16.3%）で5.5ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

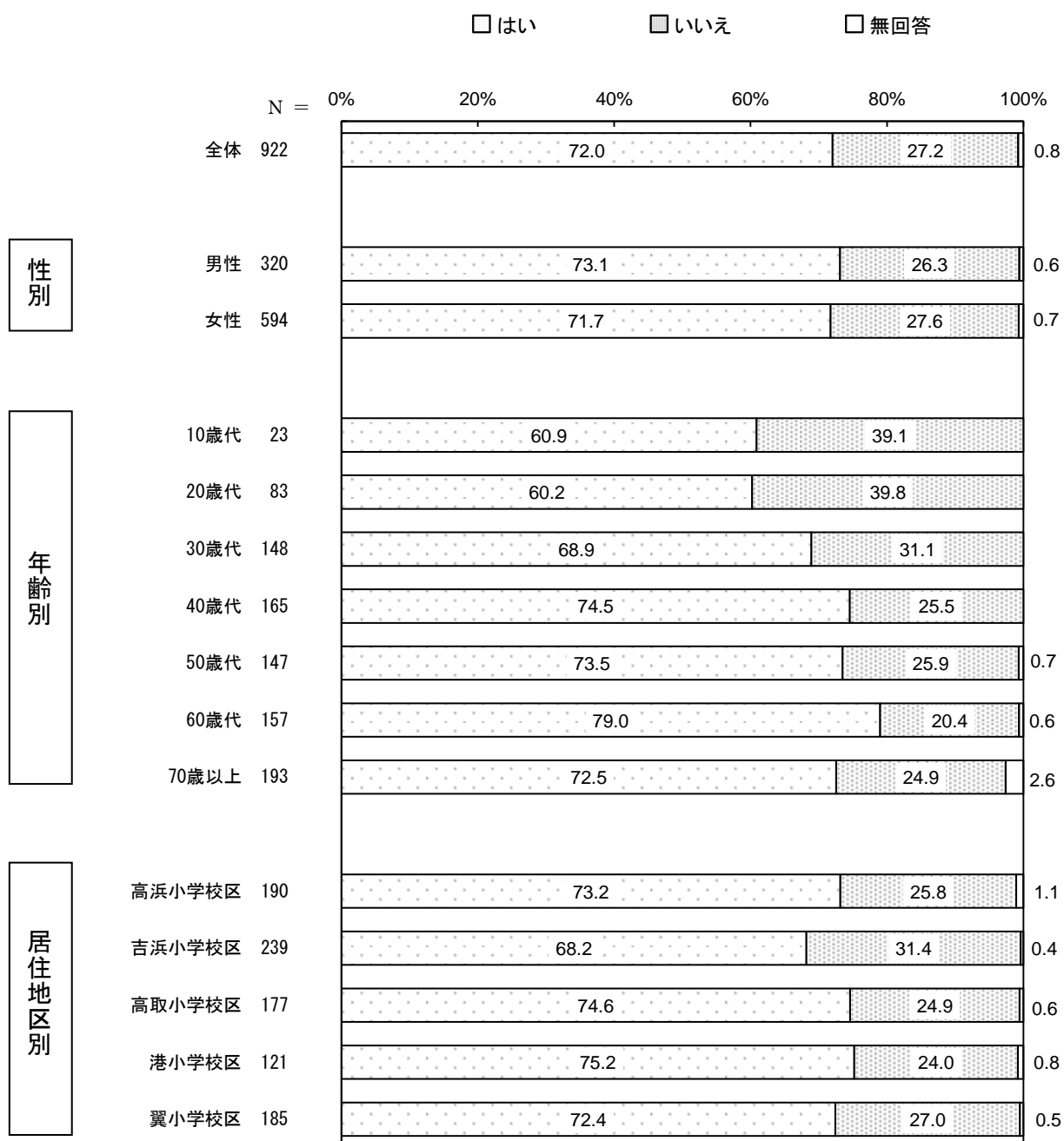


問 14 あなたは、高浜市の財政状況に関心がありますか？

「高浜市の財政状況に関心がある」市民の割合は、72.0%となっています。

年齢別では、60歳代（79.0%）が最も高く、全体と比べてやや高くなっています。一方、20歳代（60.2%）で全体より11.8ポイント低くなっています。

居住地区別では、吉浜小学校区（68.2%）で、全体よりやや低くなっています。



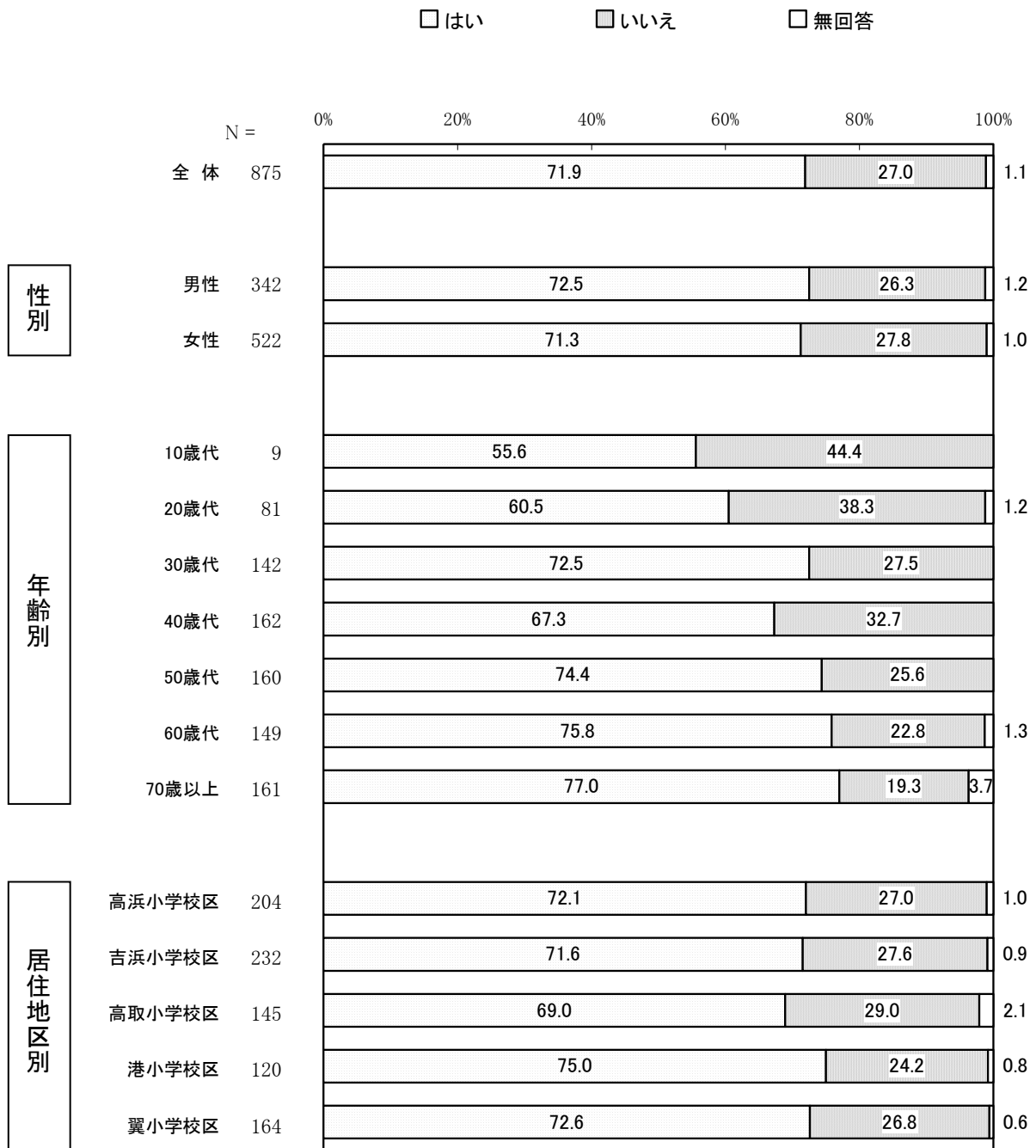
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「高浜市の財政状況に関心がある」市民の割合は、40歳代（67.3%⇒74.5%）で7.2ポイント増加しています。

居住地区別では、高取小学校区（69.0%⇒74.6%）で5.6ポイント増加している一方で、吉浜小学校区（71.6%⇒68.2%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

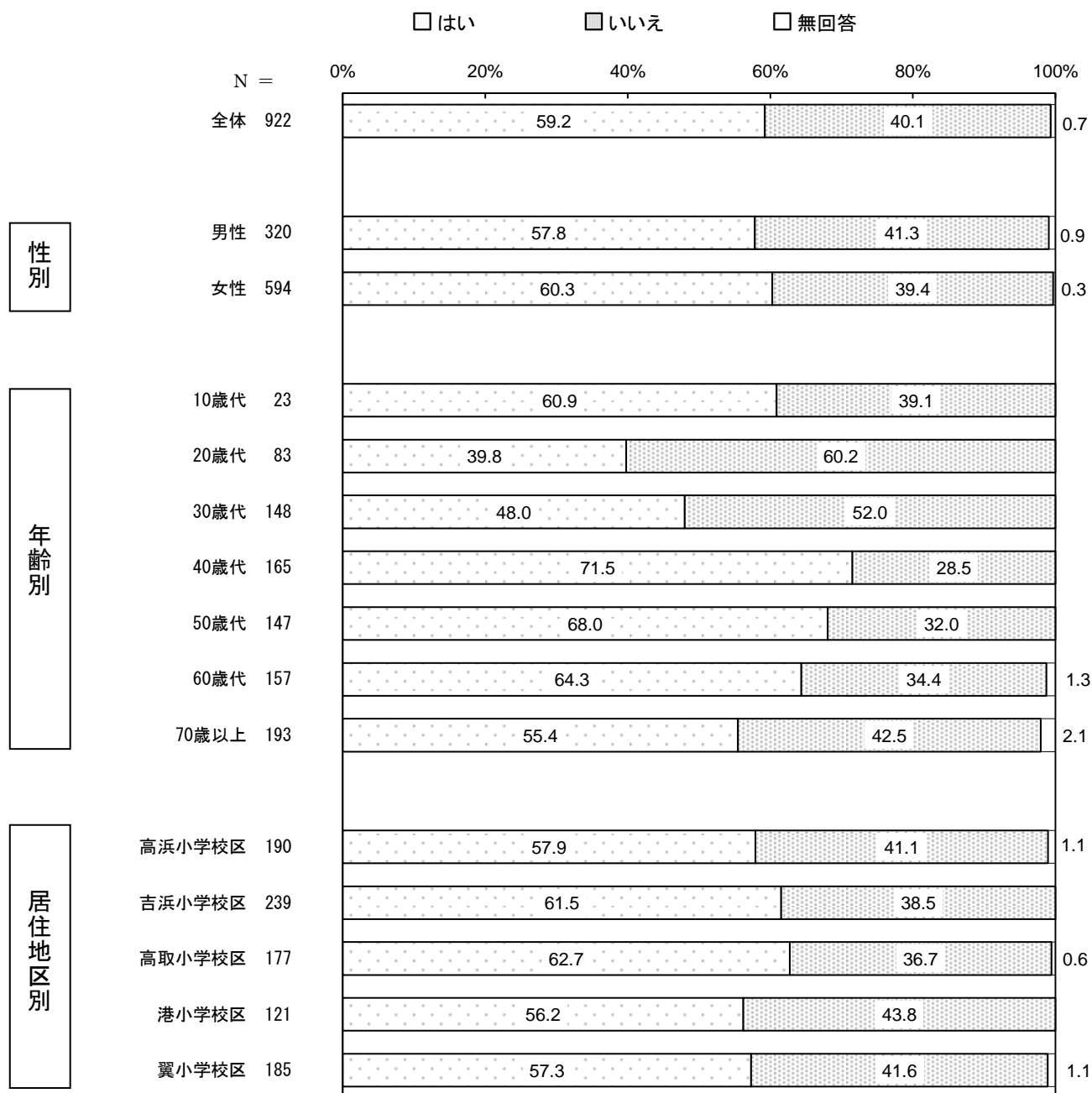


問 15 あなたは、地域活動に参加したことがありますか？

「地域活動に参加したことがある」市民の割合は、59.2%となっています。

年齢別では、40歳代（71.5%）が最も高く、全体と比べて12.3ポイント高くなっています。次いで50歳代（68.0%）となっており、全体と比べて8.8ポイント高くなっています。一方、20歳代（39.8%）で全体より19.4ポイント、30歳代（48.0%）で全体より11.2ポイント低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（62.7%）、吉浜小学校区（61.5%）で、全体よりやや高くなっています。一方、港小学校区（56.2%）で全体よりやや低くなっています。



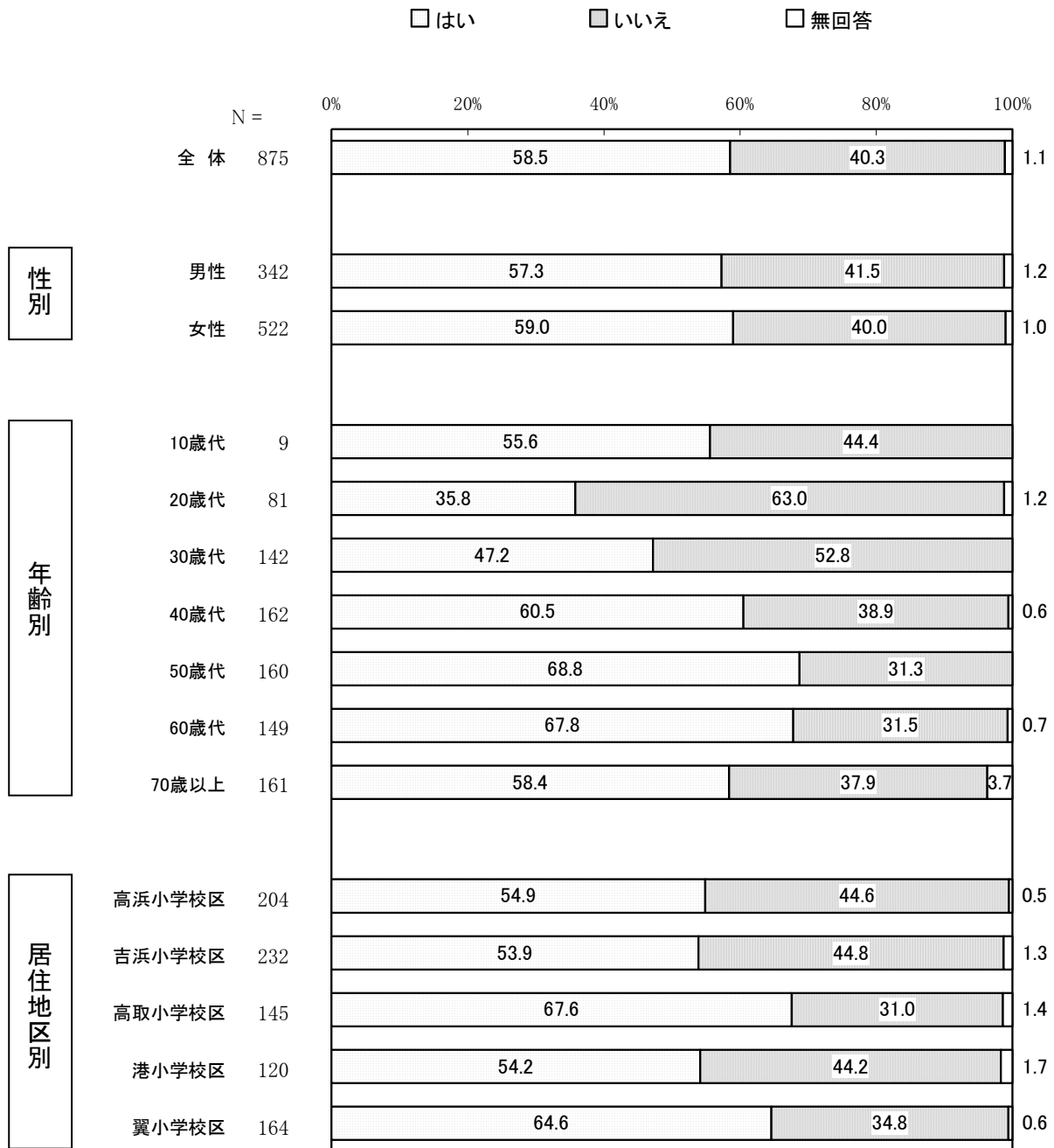
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「地域活動に参加したことがある」市民の割合は、40歳代（60.5%⇒71.5%）で11.0ポイント増加しています。

居住地区別では、吉浜小学校区（53.9%⇒61.5%）で7.6ポイント増加している一方で、翼小学校区（64.6%⇒57.3%）で7.3ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

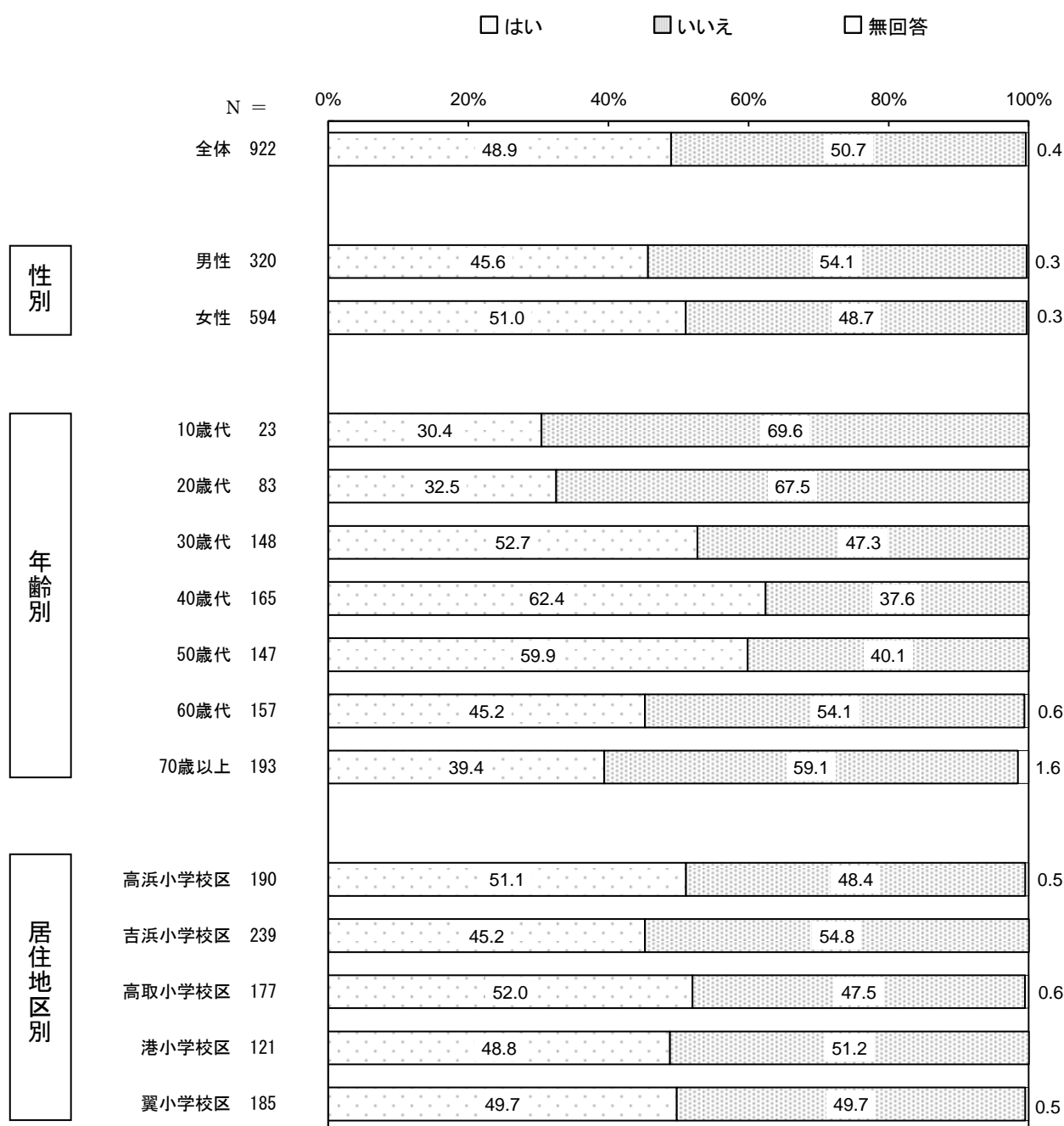


問 16 あなたは、子どもとふれあう行事に参加したことがありますか？

「子どもとふれあう行事に参加したことがある」市民の割合は、48.9%となっています。

年齢別では、40歳代（62.4%）が最も高く、全体と比べて13.5ポイント高くなっています。次いで50歳代（59.9%）となっており、全体と比べて11.0ポイント高くなっています。一方、20歳代（32.5%）で16.4ポイント、70歳以上（39.4%）で9.5ポイント低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（52.0%）で、全体よりやや高くなっている一方で、吉浜小学校区（45.2%）で、全体よりやや低くなっています。



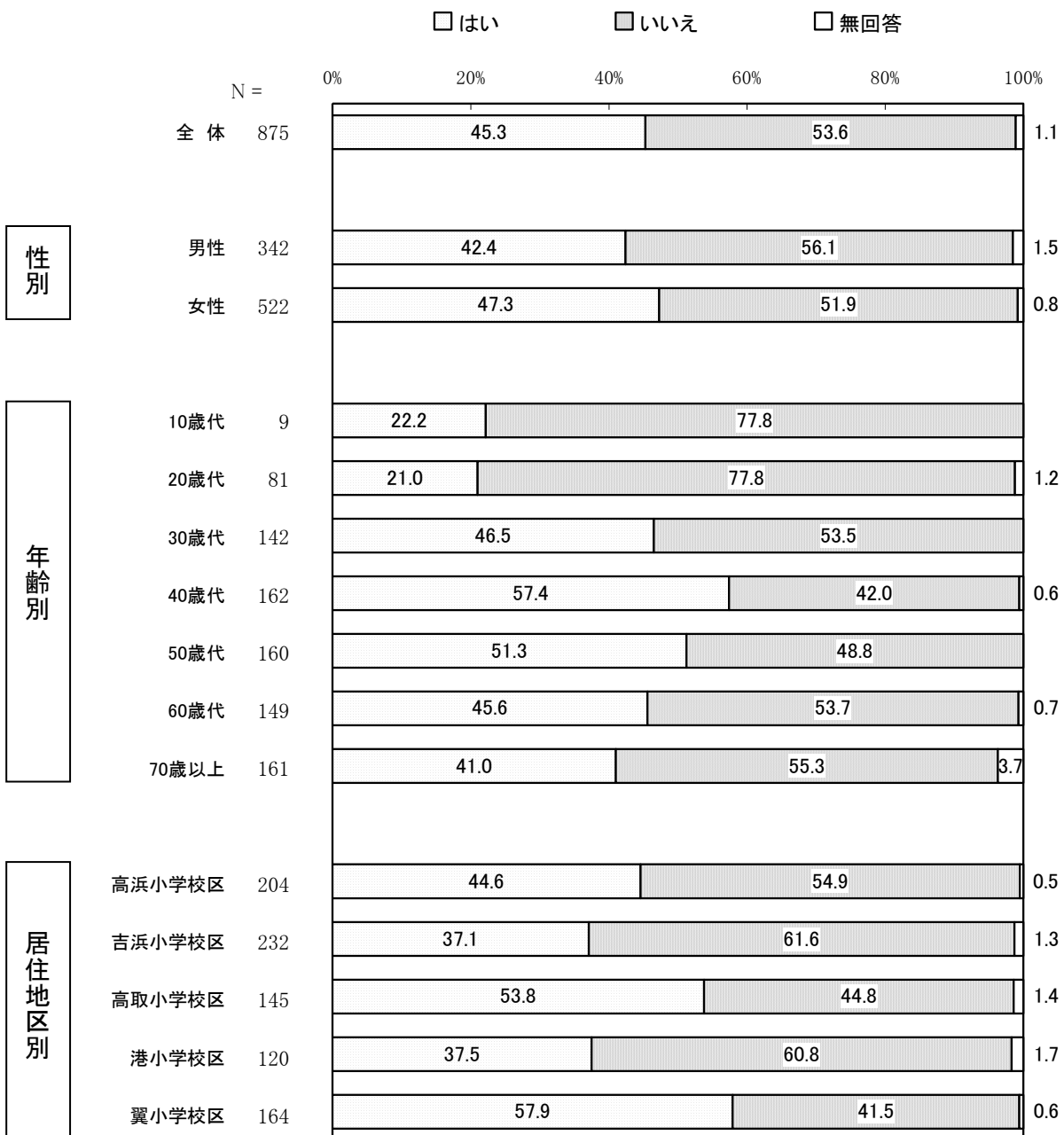
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「子どもとふれあう行事に参加したことがある」市民の割合は、20歳代（21.0%⇒32.5%）で11.5ポイント、50歳代（51.3%⇒59.9%）で8.6ポイント増加しています。

居住地区別では、港小学校区（37.5%⇒48.8%）で11.3ポイント、吉浜小学校区（37.1%⇒45.2%）で8.1ポイント増加している一方で、翼小学校区（57.9%⇒49.7%）で8.2ポイント減少しています。

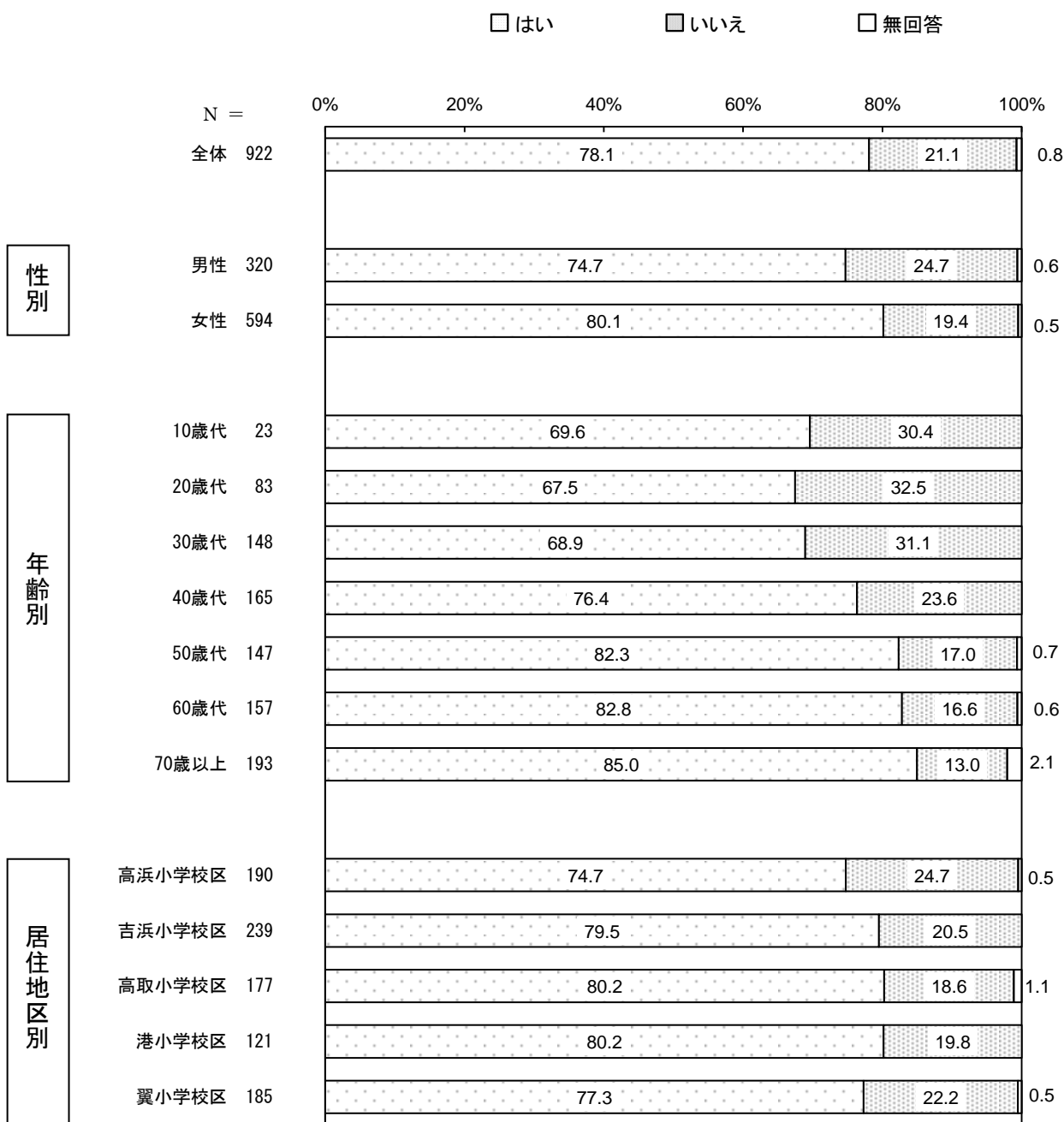
《参考：前回調査の結果（H27年度）》



問 17 あなたは、日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしていますか？

「日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしている」市民の割合は、78.1%となっています。

年齢別では、70歳以上（85.0%）が最も高く、次いで60歳代（82.8%）となっており、全体と比べてやや高くなっています。一方、20歳代（67.5%）で全体より10.6ポイント、30歳代（68.9%）で全体より9.2ポイント低くなっています。



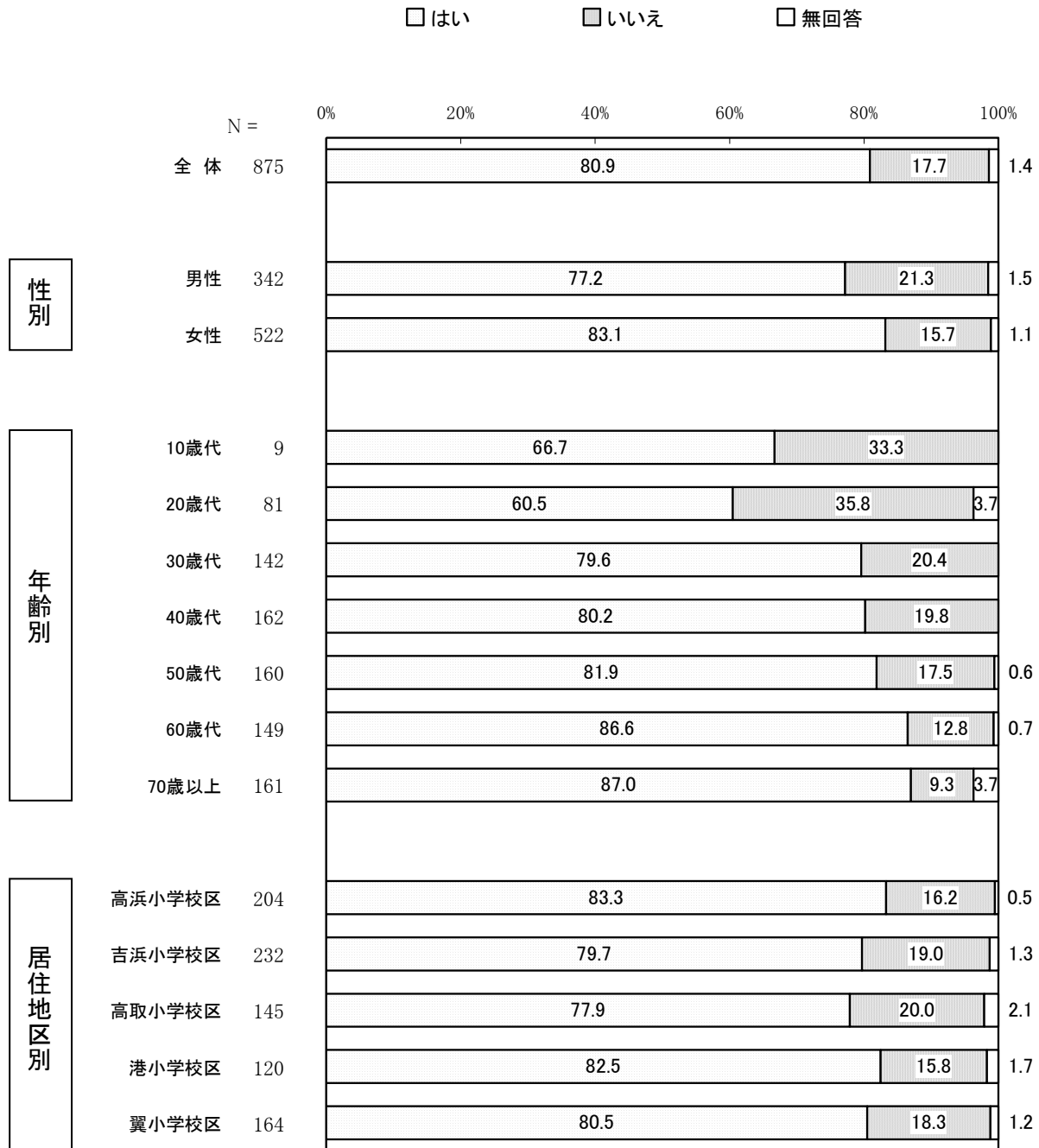
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしている」市民の割合は、20歳代（60.5%⇒67.5%）で7.0ポイント増加している一方で、30歳代（79.6%⇒68.9%）で、10.7ポイント減少しています。

居住地区別では、高浜小学校区（83.3%⇒74.7%）で8.6ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

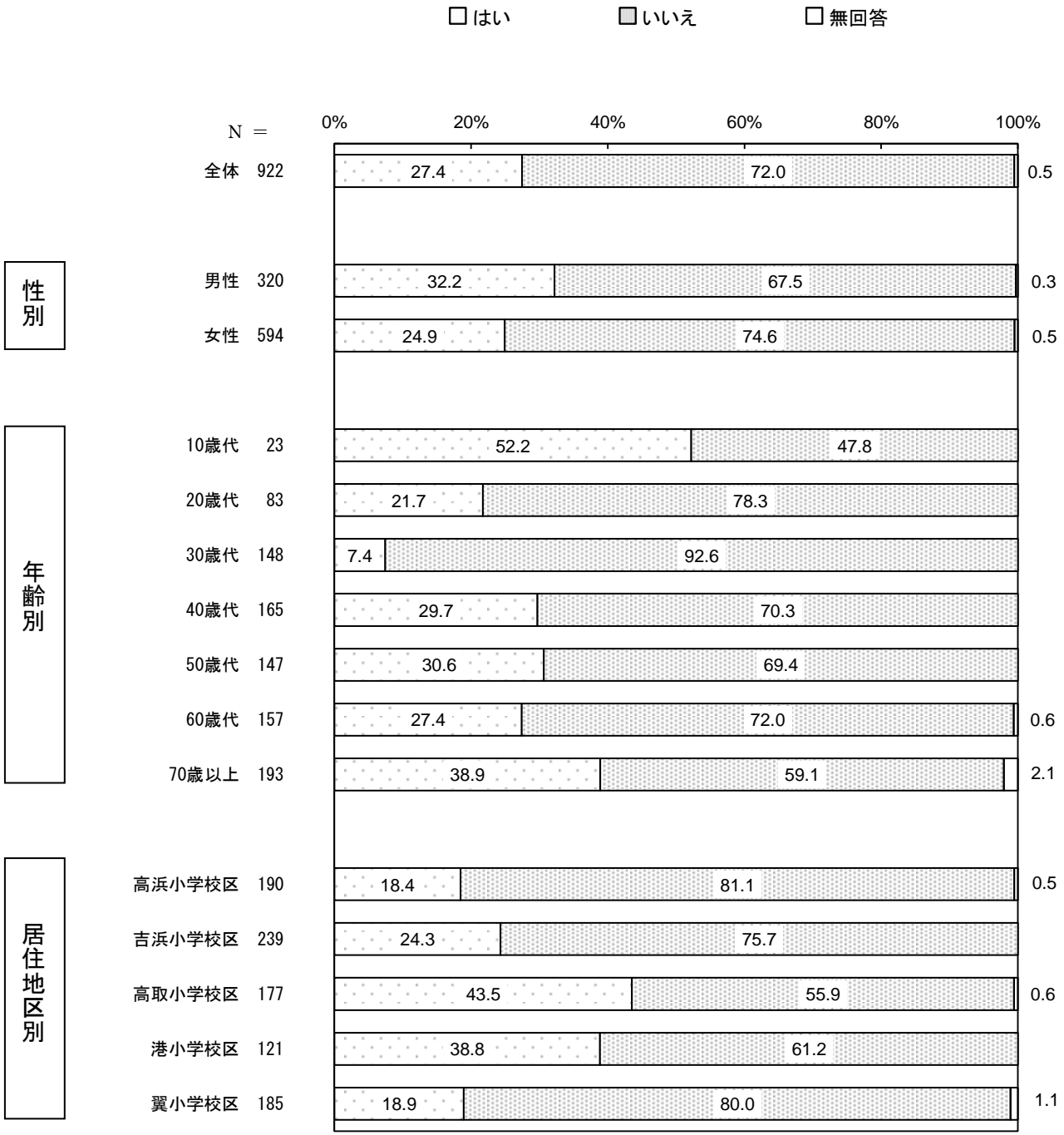


問 18 あなたは、公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがありますか？

「公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがある」市民の割合は、27.4%となっています。

年齢別では、70歳以上（38.9%）で11.5ポイント高くなっています。一方、30歳代（7.4%）で全体より20.0ポイント低く、20歳代（21.7%）でやや低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（43.5%）で16.1ポイント、港小学校区（38.8%）で11.4ポイント、全体より高くなっています。



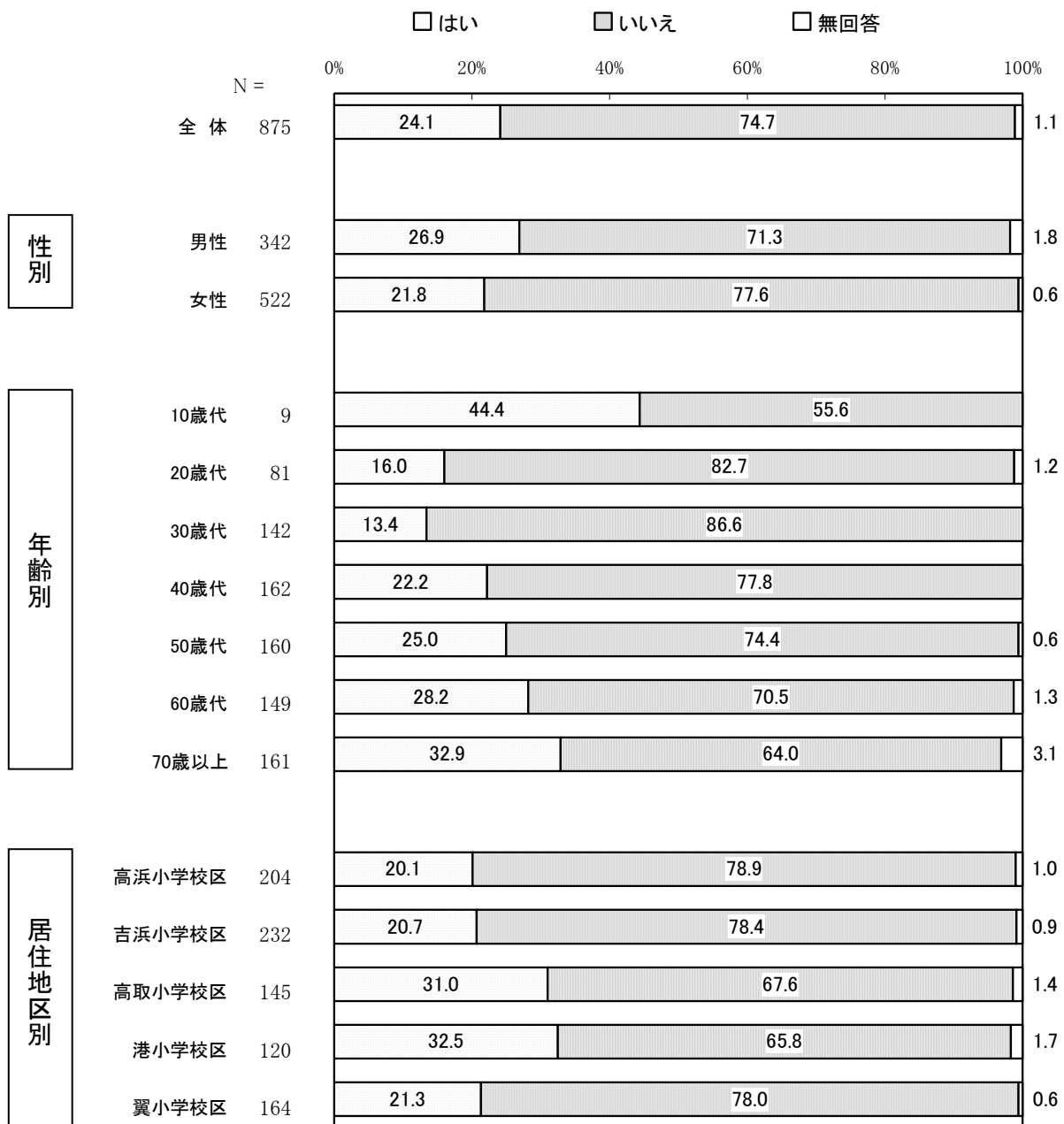
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがある」市民の割合は、40歳代（22.2%⇒29.7%）で7.5ポイント増加している一方で30歳代（13.4%⇒7.4%）は6.0ポイント減少しています。

居住地区別では、高取小学校区（31.0%⇒43.5%）で12.5ポイント増加している一方で、翼小学校区（21.3%⇒18.9%）で、やや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

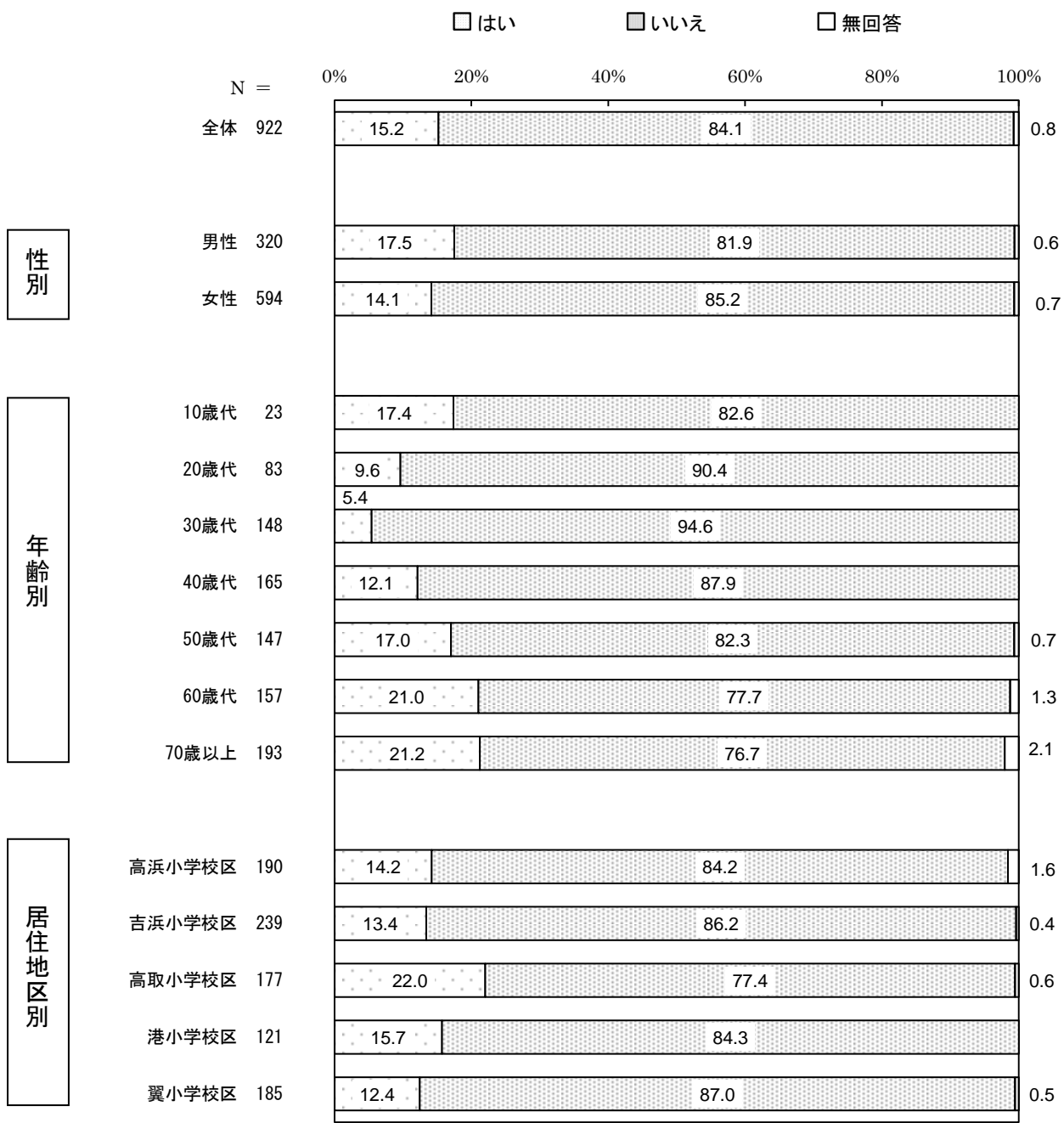


問 19 あなたは、地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがありますか？

「地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがある」市民の割合は、15.2%となっています。

年齢別では、70歳以上（21.2%）が最も高く、次いで60歳代（21.0%）となっており、全体と比べてやや高くなっている一方で、30歳代（5.4%）で全体より9.8ポイント低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（22.0%）で全体よりやや高くなっています。



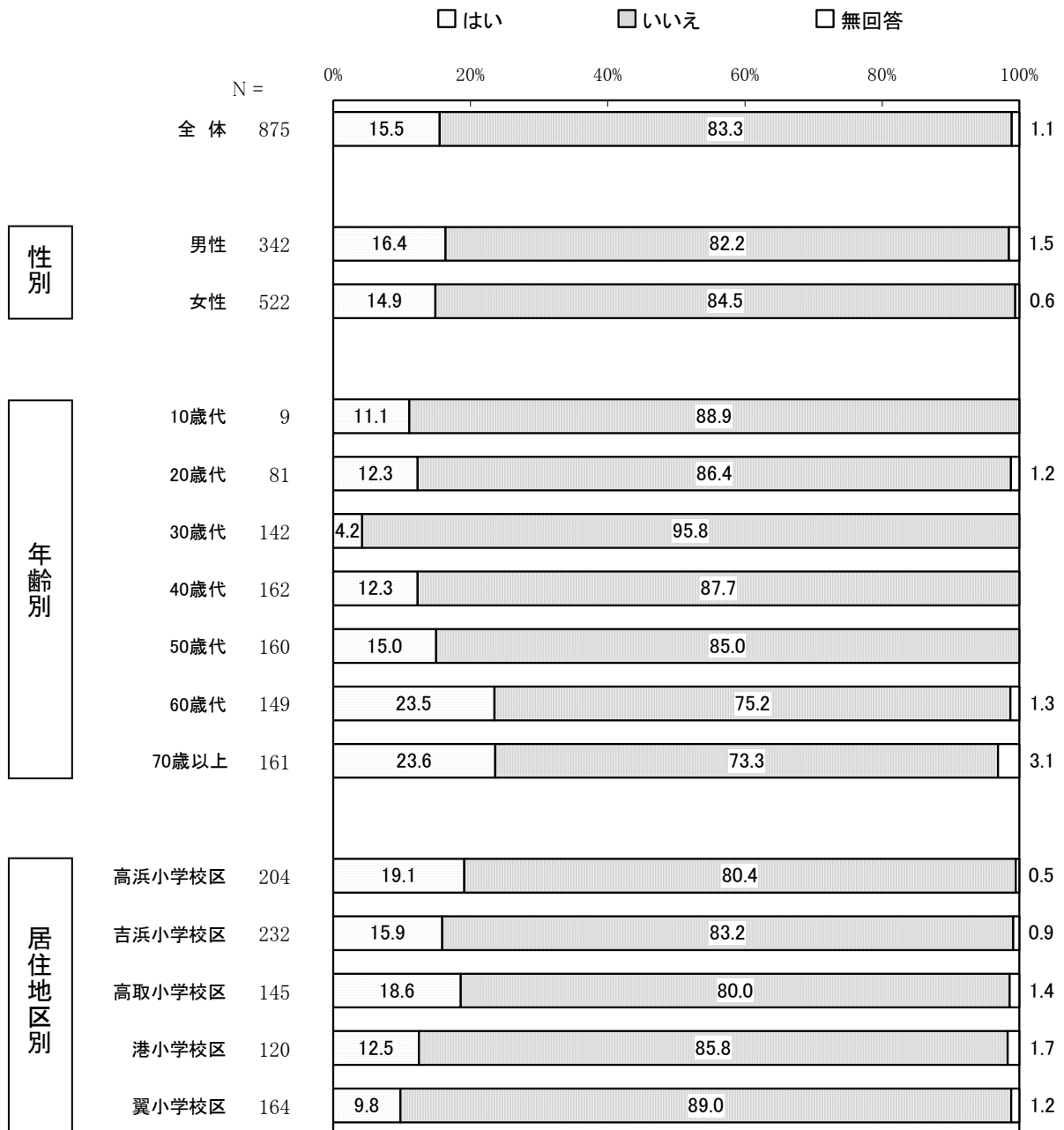
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがある」市民の割合は、20歳代（12.3%⇒9.6%）でやや減少しています。

居住地区別では、高取小学校区（18.6%⇒22.0%）でやや増加している一方で、高浜小学校区（19.1%⇒14.2%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



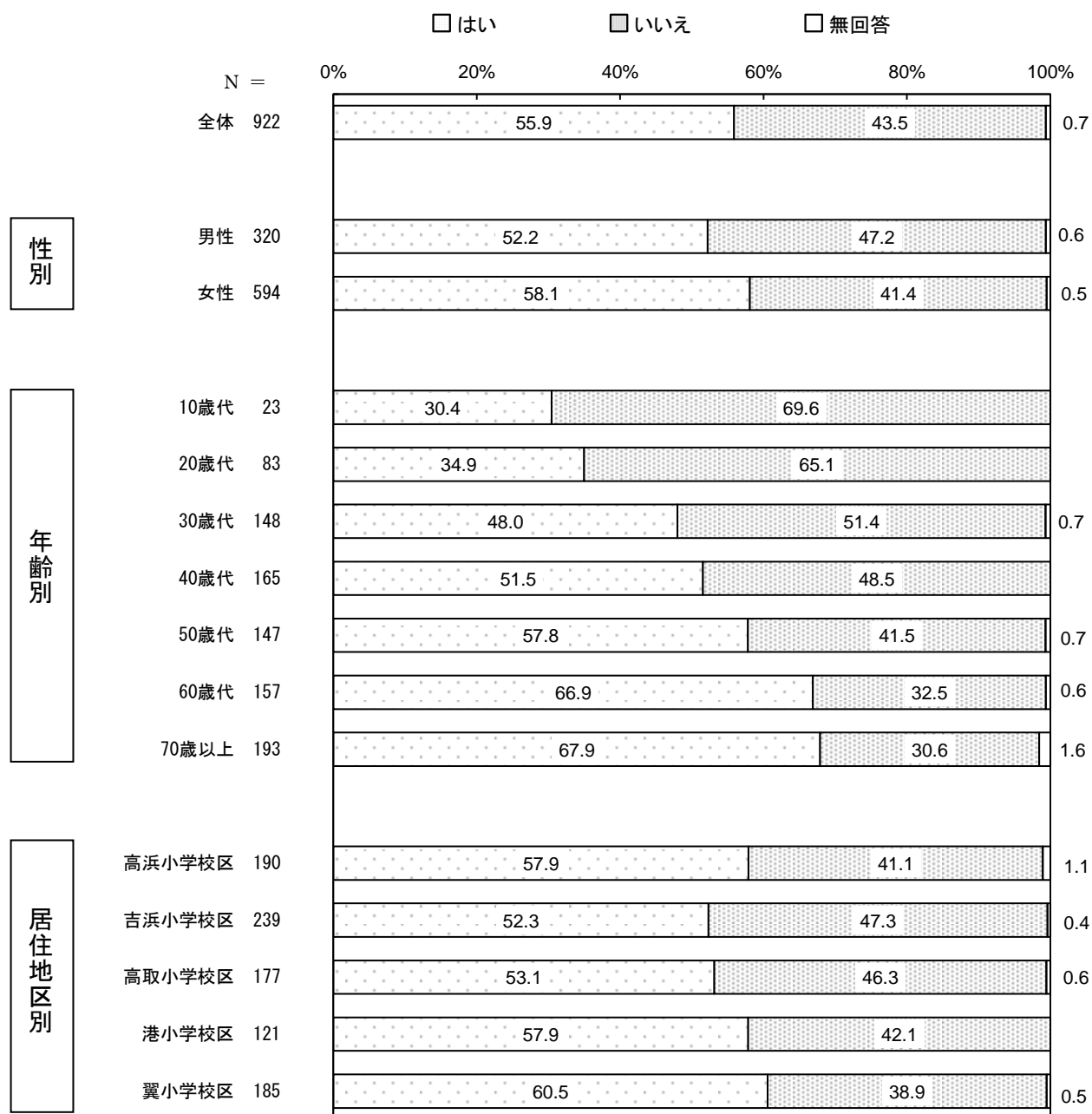
問 20 あなたは、高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか？

『地域包括支援センター』を知っている」市民の割合は、55.9%となっています。

性別では、男性（52.2%）で全体よりやや低く、女性（58.1%）で全体よりやや高くなっています。

年齢別では、70歳以上（67.9%）が最も高く、全体と比べて12.0ポイント高くなっています。次いで60歳代（66.9%）となっており、全体と比べて11.0ポイント高くなっています。また、20歳代（34.9%）で21.0ポイント、30歳代（48.0%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、翼小学校区（60.5%）で、全体よりやや高くなっている一方、吉浜小学校区（52.3%）で、全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

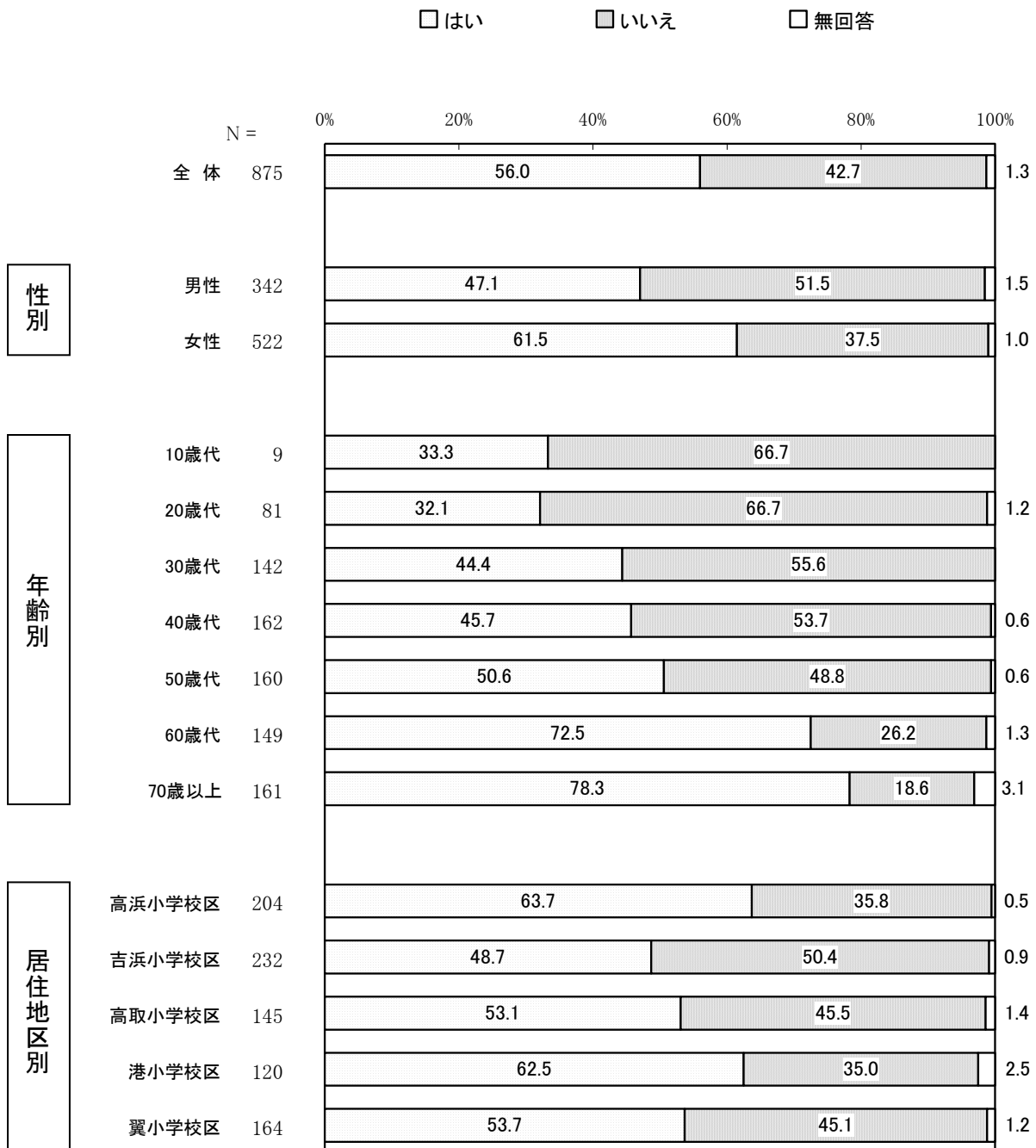
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、『『地域包括支援センター』を知っている』市民の割合は、男性（47.1%⇒52.2%）で5.1ポイント増加していますが、女性（61.5%⇒58.1%）で、やや減少しています。

年齢別では、50歳代（50.6%⇒57.8%）で7.2ポイント増加している一方で、70歳以上（78.3%⇒67.9%）で10.4ポイント減少しています。

居住地区別では、翼小学校区（53.7%⇒60.5%）で6.8ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

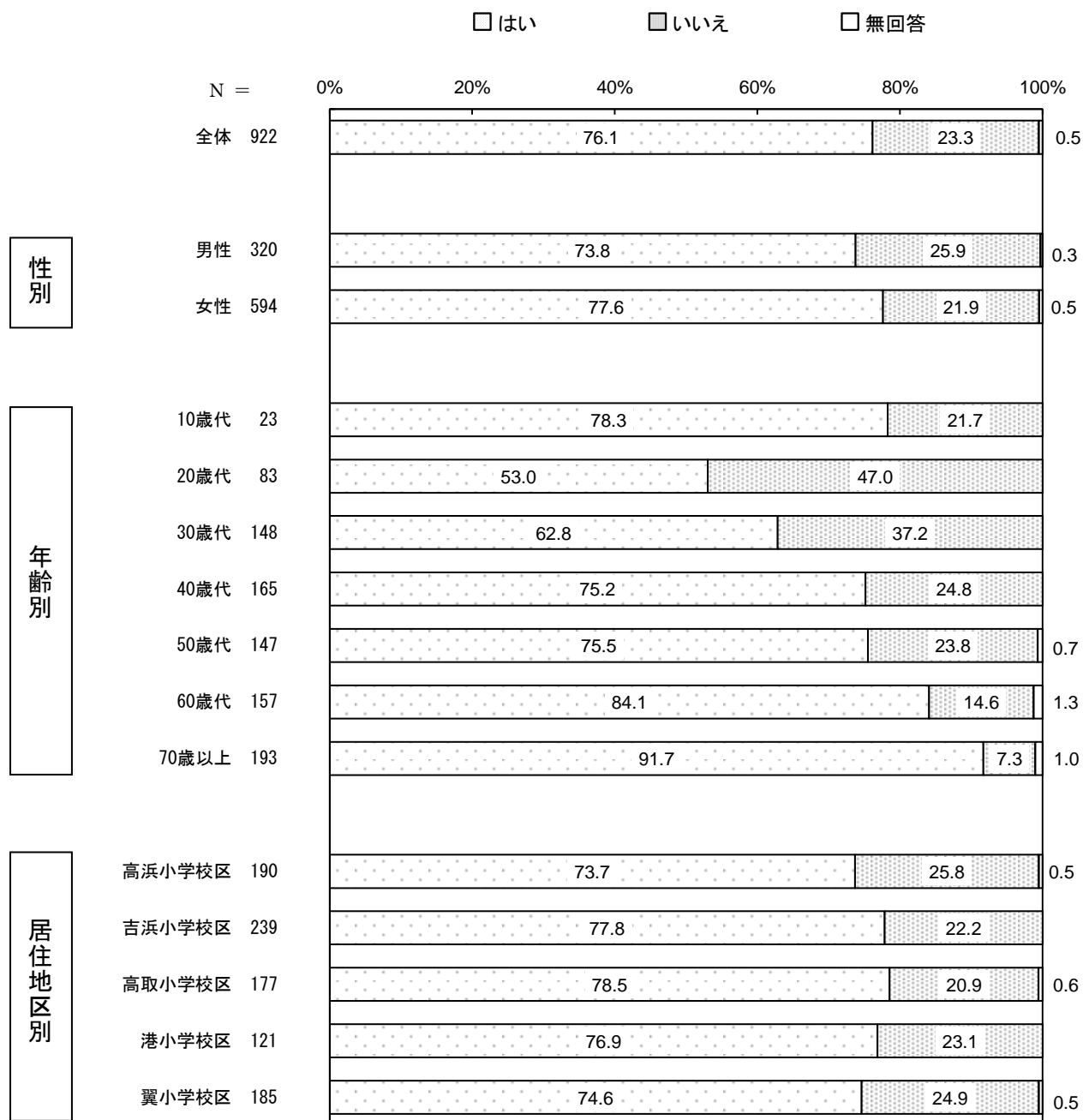


問 21 あなたは、かかりつけ医を持っていますか？

「かかりつけ医を持っている」市民の割合は、76.1%となっています。

性別では、男性（73.8%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、70歳以上（91.7%）が最も高く、全体と比べて15.6ポイント高く、次いで60歳代（84.1%）となっており、全体と比べて8.0ポイント高くなっています。また、20歳代（53.0%）で全体より23.1ポイント、30歳代（62.8%）で全体より13.3ポイント低くなっています。



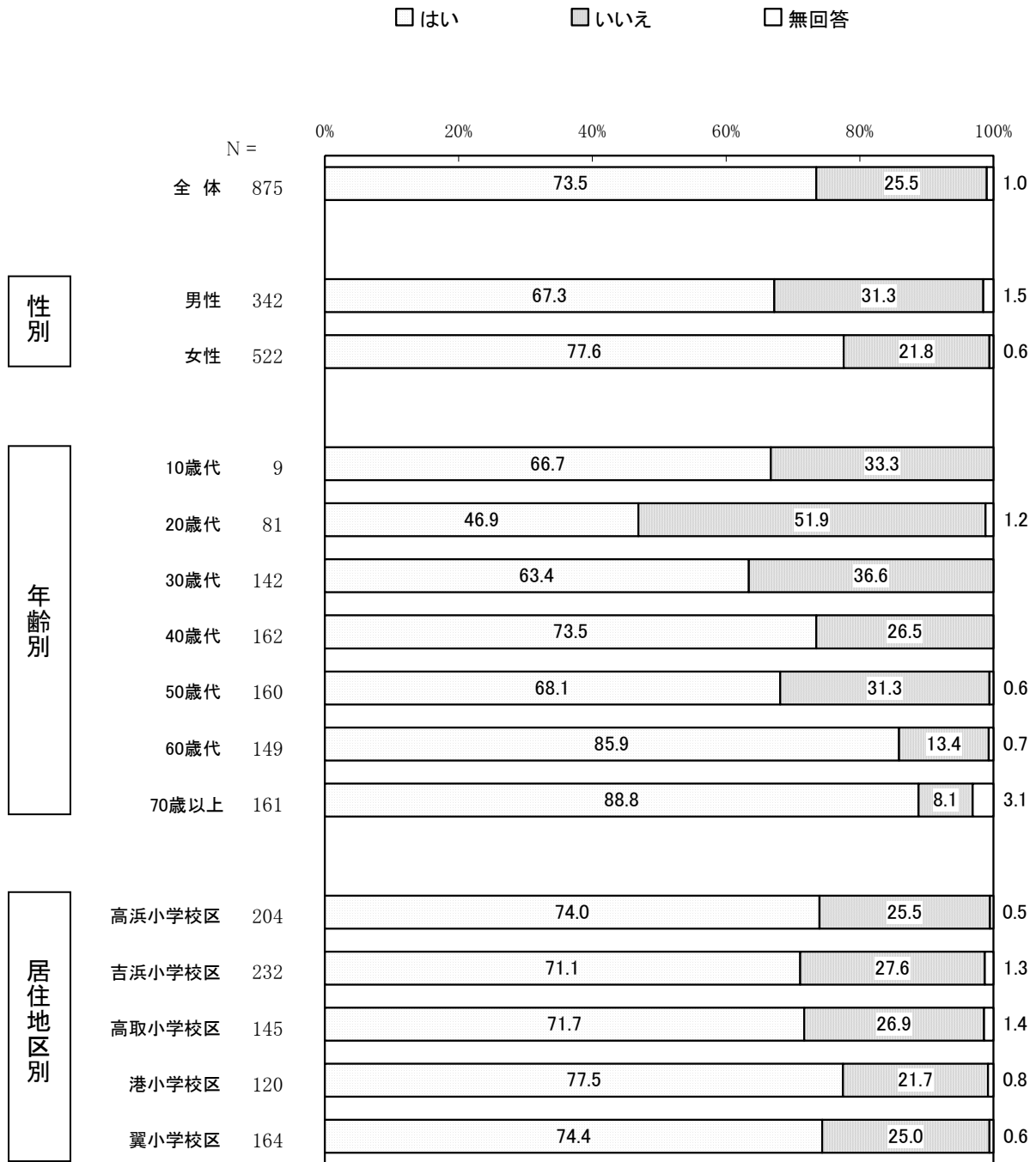
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「かかりつけ医を持っている」市民の割合は、50歳代（68.1%⇒75.5%）で7.4ポイント増加しています。

居住地区別では、高取小学校区（71.7%⇒78.5%）で6.8ポイント、吉浜小学校区（71.1%⇒77.8%）で6.7ポイント増加しています。

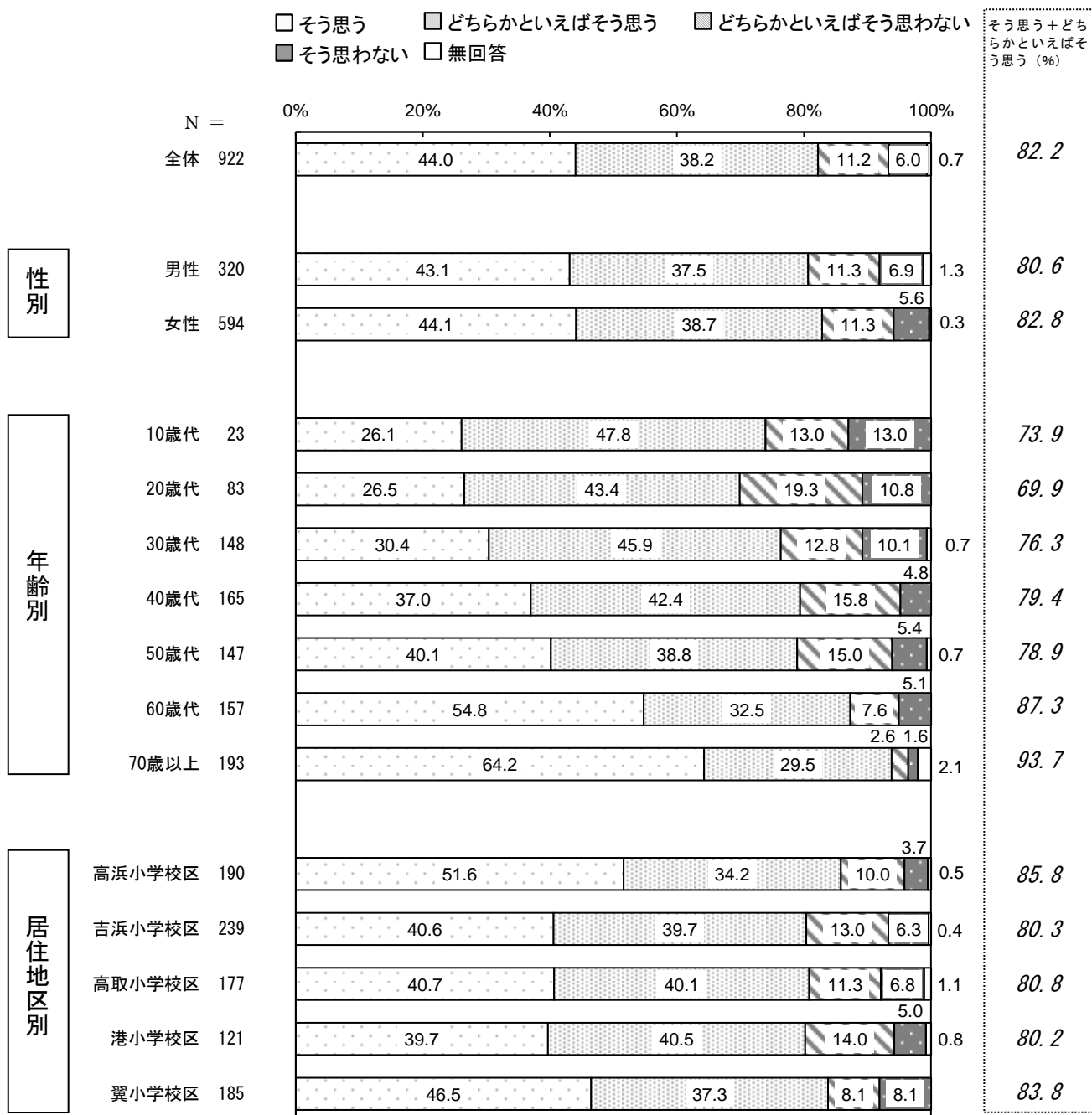
《参考：前回調査の結果（H27年度）》



問 22 今後も高浜市に長く住み続けたいと思う。

「今後も高浜市に長く住み続けたいと思う」市民の割合は、「そう思う」が44.0%、「どちらかといえばそう思う」が38.2%であり、合わせて82.2%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上(93.7%)で全体より11.5ポイント高くなっている一方で、20歳代(69.9%)で全体より12.3ポイント低くなっています。



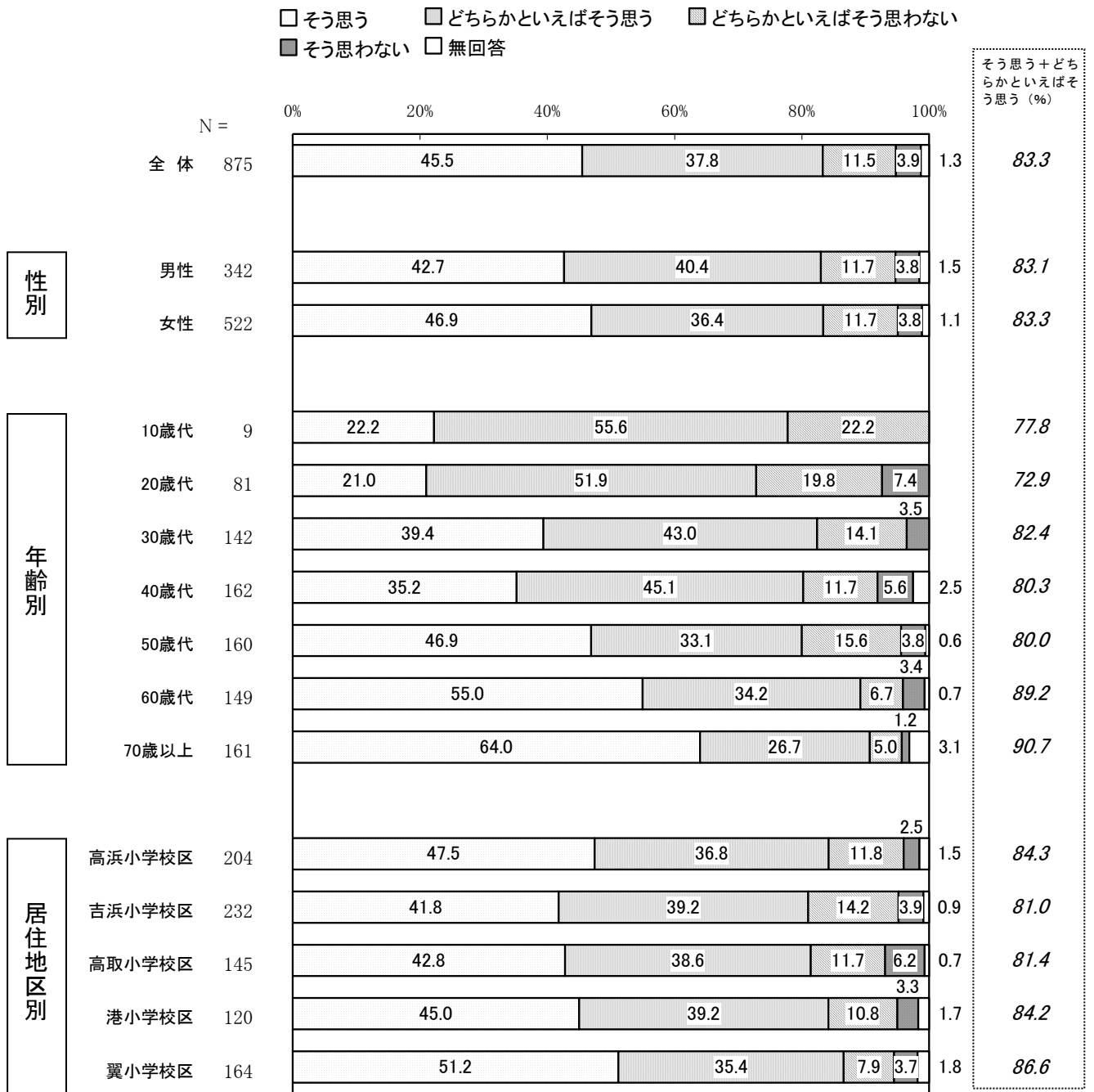
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（82.4%⇒76.3%）で6.1ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（84.2%⇒80.2%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

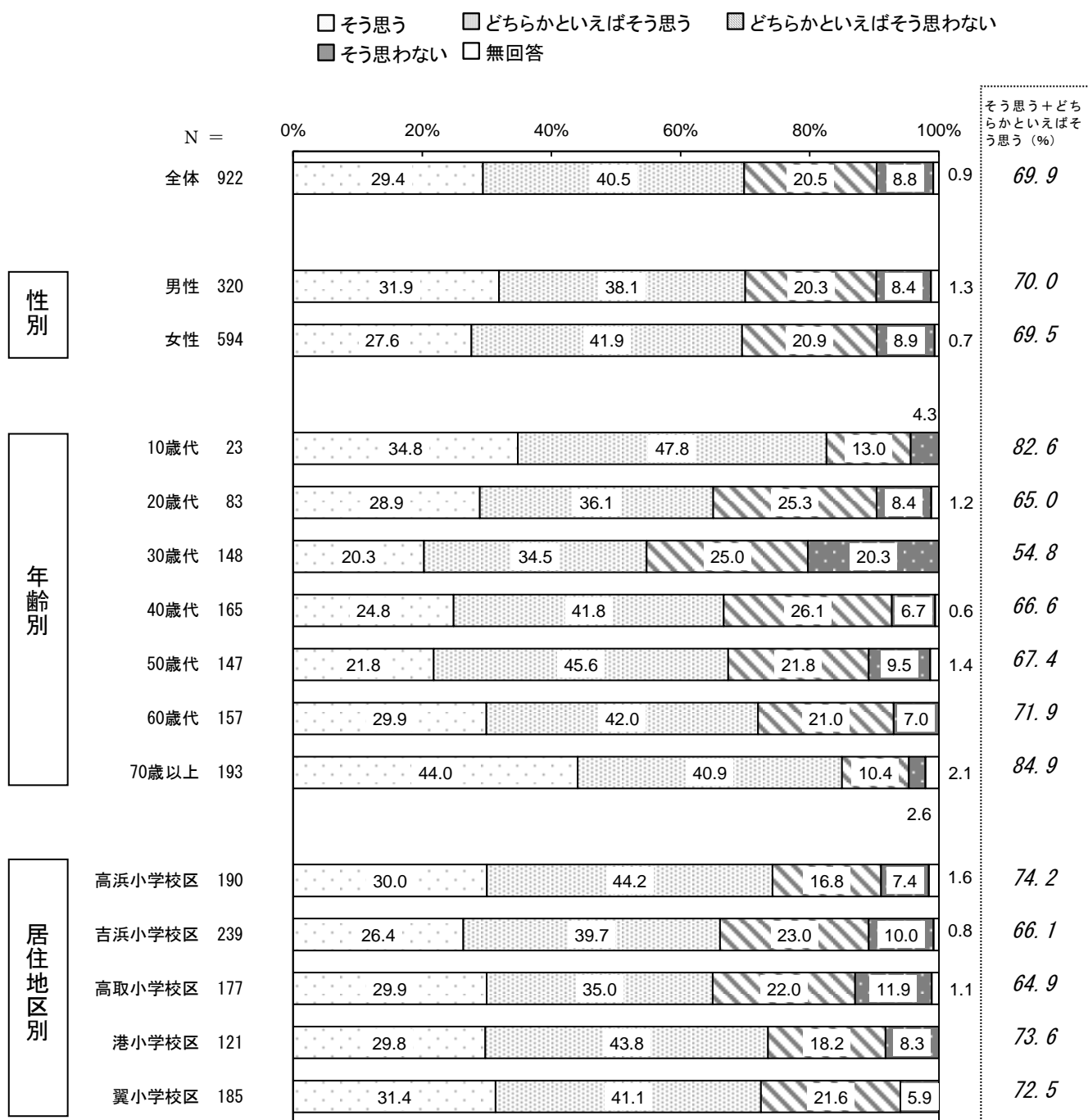


問 23 高浜市に愛着や誇りを感じる。

「高浜市に愛着や誇りを感じる」市民の割合は、「そう思う」が29.4%、「どちらかといえばそう思う」が40.5%であり、合わせて69.9%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上(84.9%)で全体より15.0ポイント高くなっている一方で、30歳代(54.8%)で全体より15.1ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高浜小学校区(74.2%)で全体よりやや高くなっている一方で、高取小学校区(64.9%)で全体よりやや低くなっています。



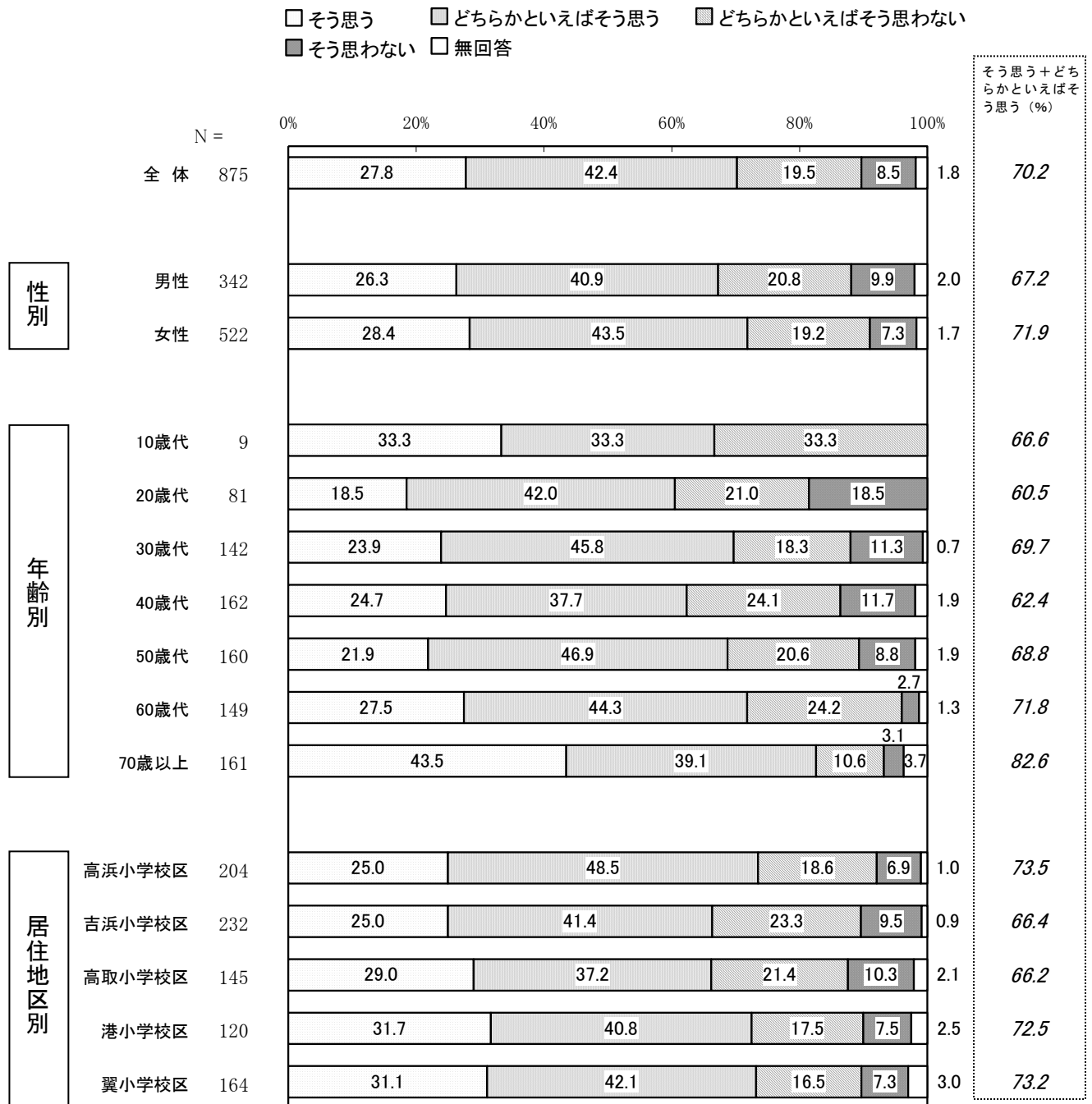
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（60.5%⇒65.0%）でやや増加している一方で、30歳代（69.7%⇒54.8%）で14.9ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（72.5%⇒73.6%）でやや増加している一方で、高取小学校区（66.2%⇒64.9%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

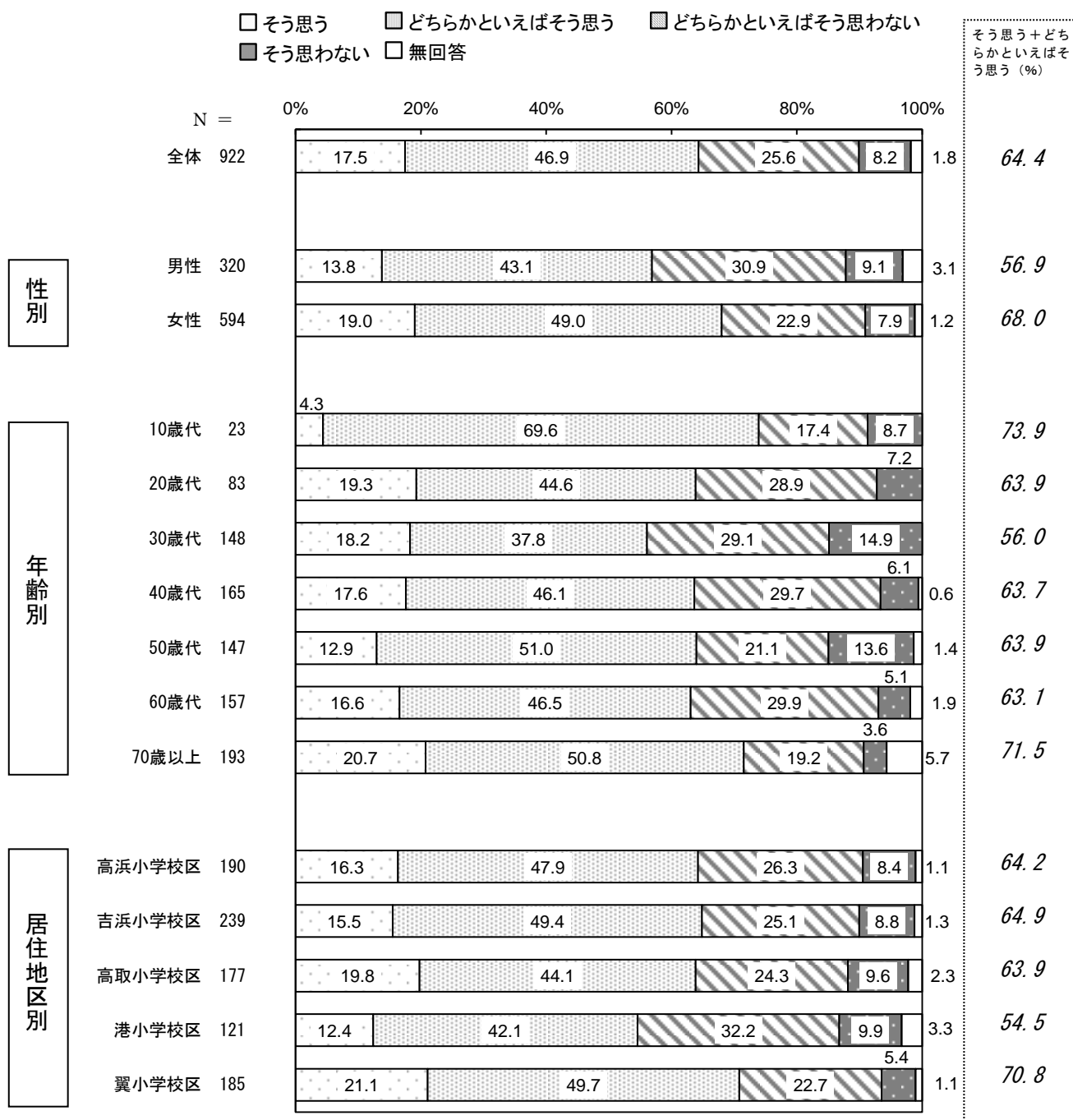


問 24 高浜市は、子どもを産み、育てやすいまちだと思う。

「子どもを産み、育てやすいまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が17.5%、「どちらかといえばそう思う」が46.9%であり、合わせて64.4%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（56.9%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上（71.5%）で全体よりやや高くなっている一方で、30歳代（56.0%）で全体より8.4ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

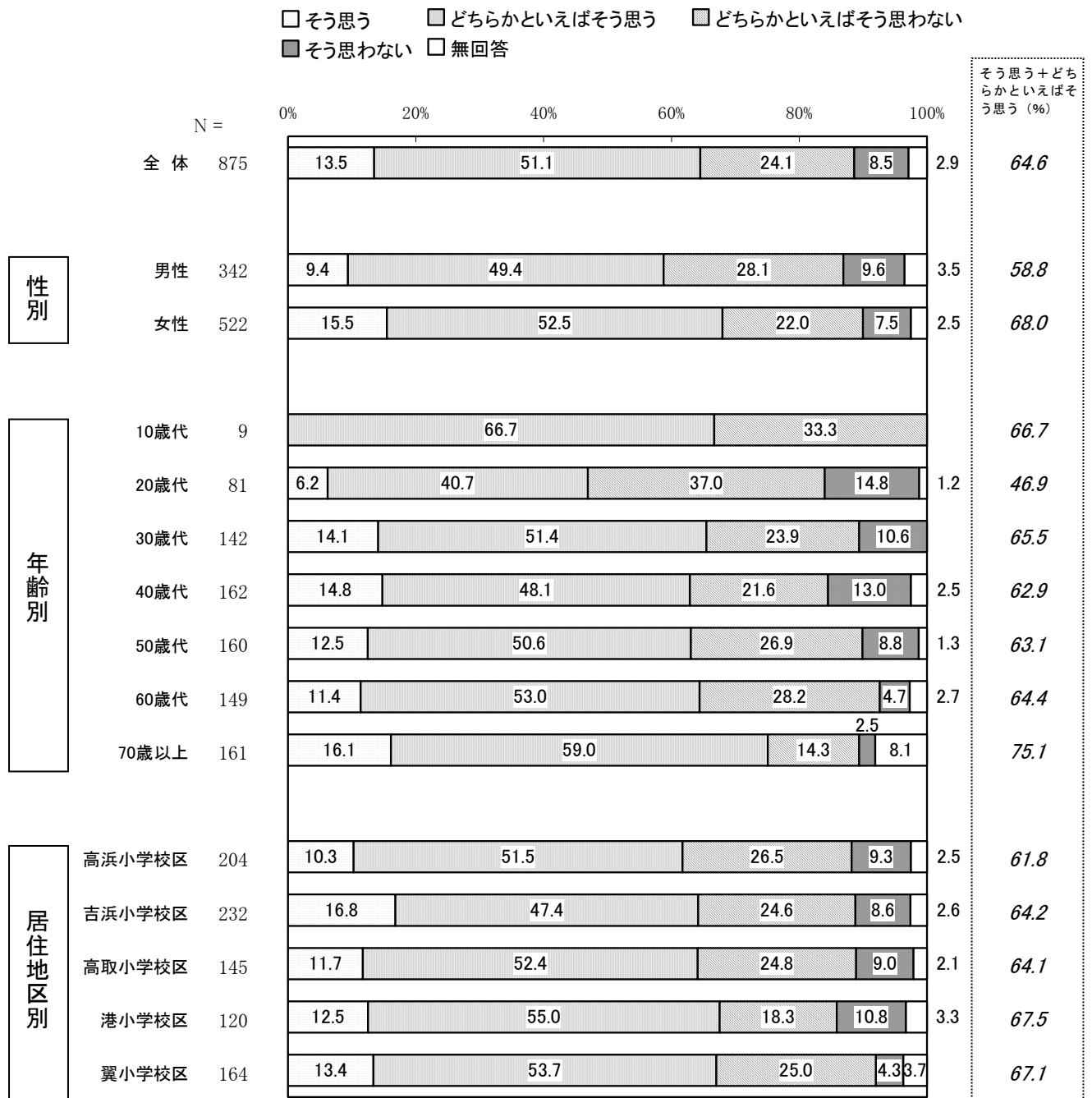
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（58.8%⇒56.9%）でやや減少しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（46.9%⇒63.9%）で17.0ポイント増加している一方で、30歳代（65.5%⇒56.0%）で9.5ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（67.5%⇒54.5%）で13.0ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



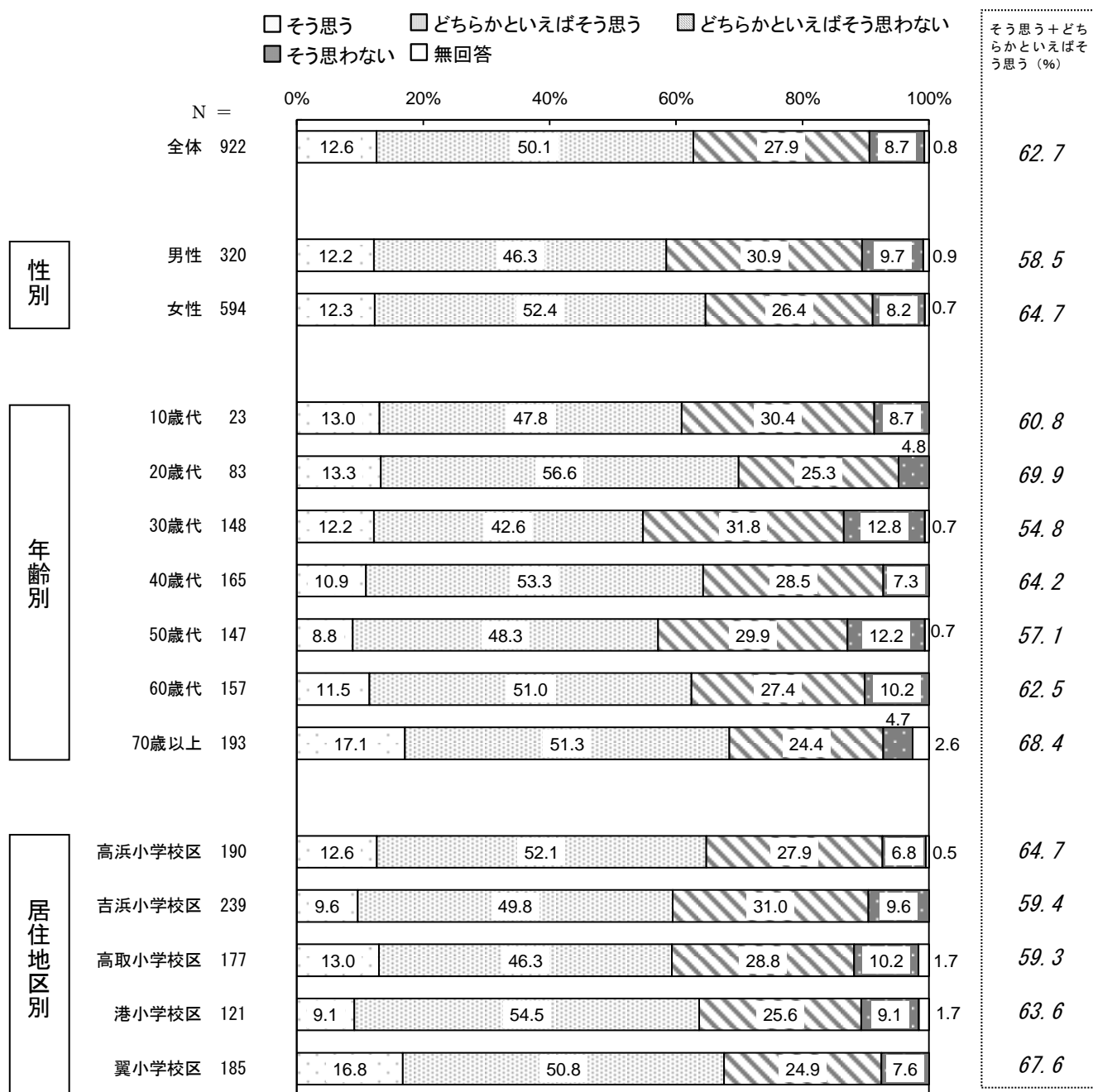
問 25 高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う。

「暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が 12.6%、「どちらかといえばそう思う」が 50.1%であり、合わせて 62.7%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（58.5%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20 歳代（69.9%）で全体よりやや高くなっている一方で、30 歳代（54.8%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（67.6%）で全体よりやや高くなっています。



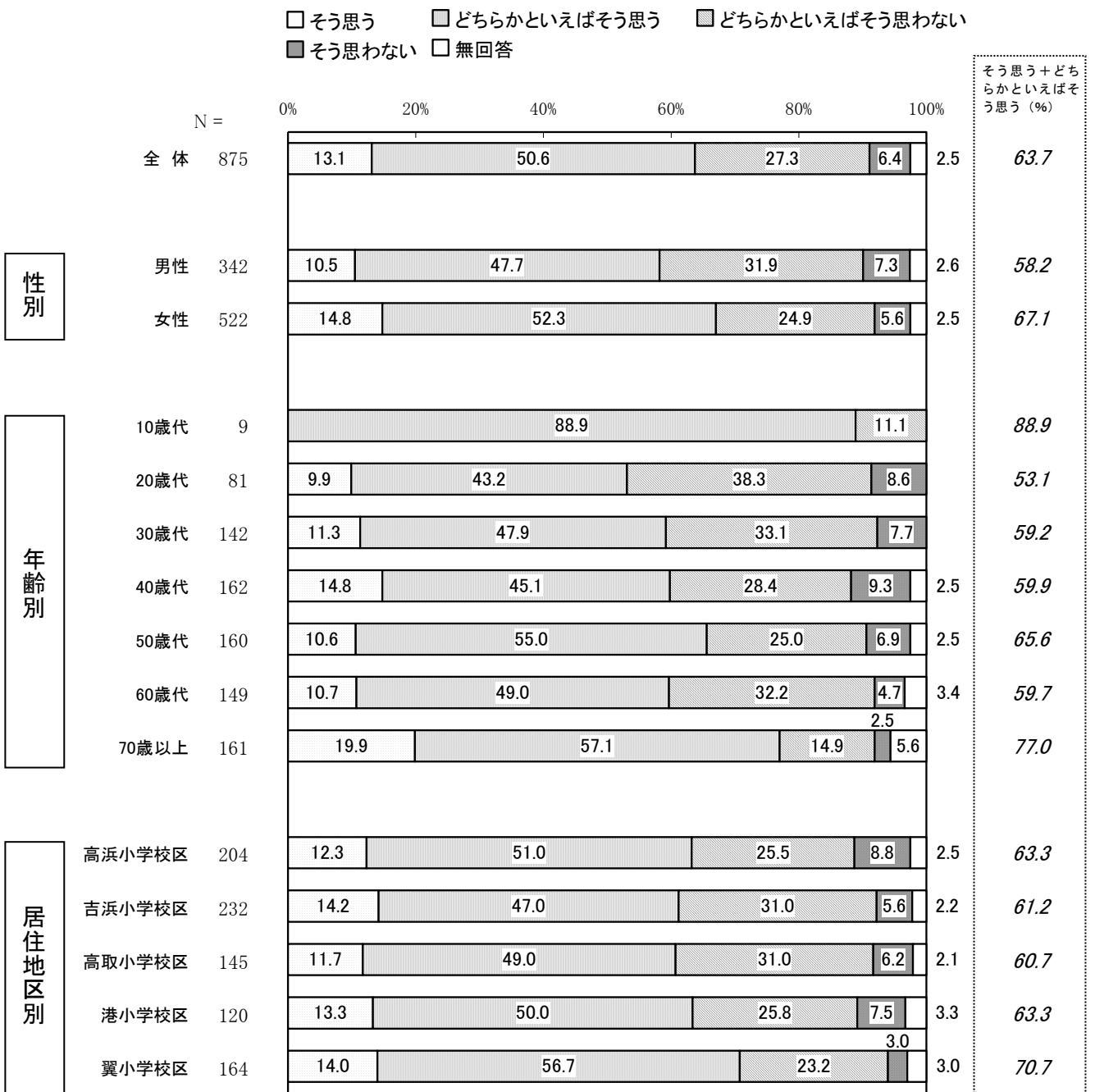
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（53.1%⇒69.9%）で16.8ポイント増加している一方で、70歳以上（77.0%⇒68.4%）で8.6ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（70.7%⇒67.6%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

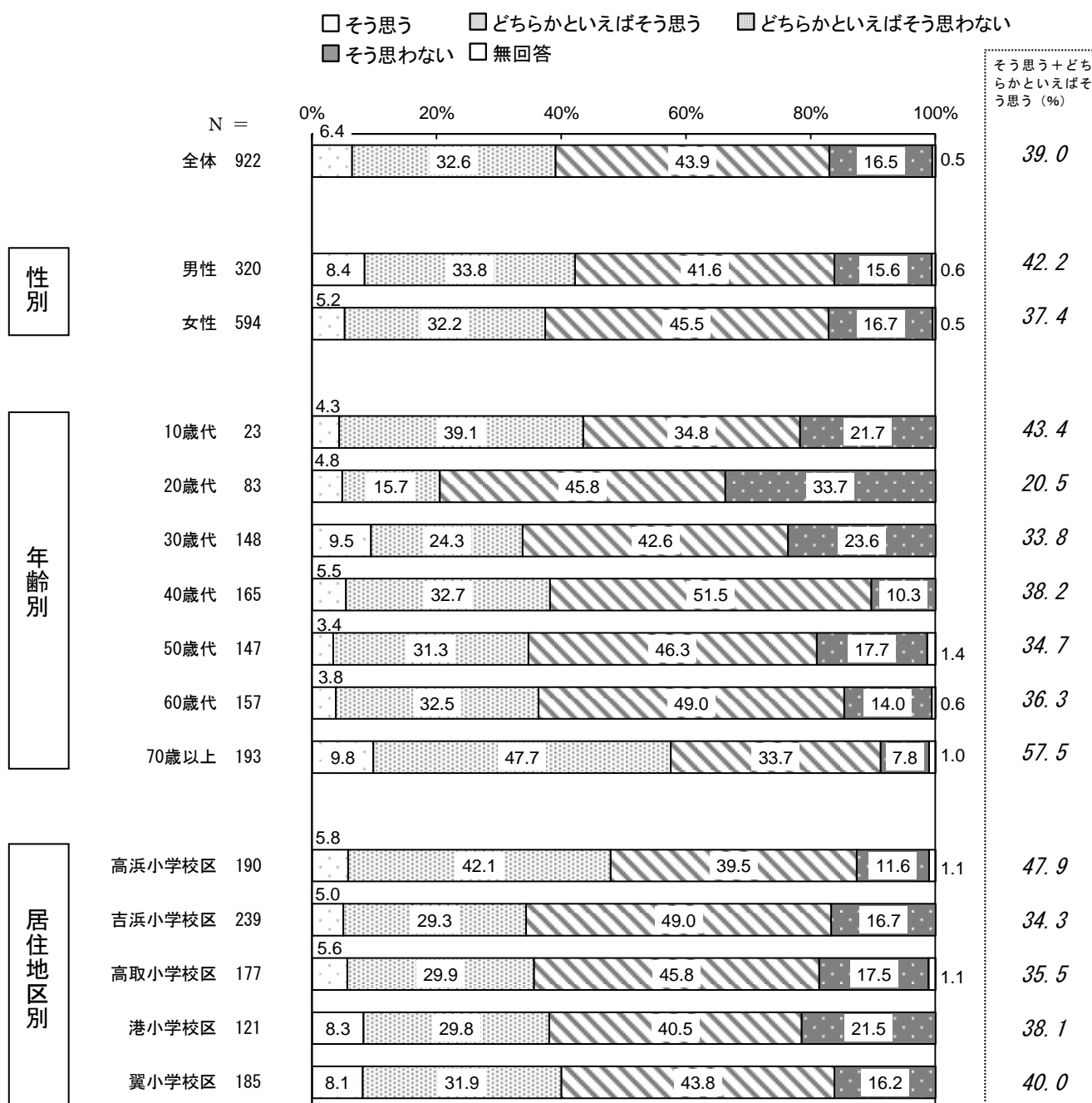


問 26 あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う。

「災害（地震や風水害など）への備えができていると思う」市民の割合は、「そう思う」が 6.4%、「どちらかといえばそう思う」が 32.6%であり、合わせて 39.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70 歳以上(57.5%)で全体より 18.5 ポイント高くなっている一方で、20 歳代 (20.5%) で全体より 18.5 ポイント低く、30 歳代 (33.8%)、50 歳代 (34.7%)、で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高浜小学校区 (47.9%) で全体より 8.9 ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区 (34.3%) で全体よりやや低くなっています。



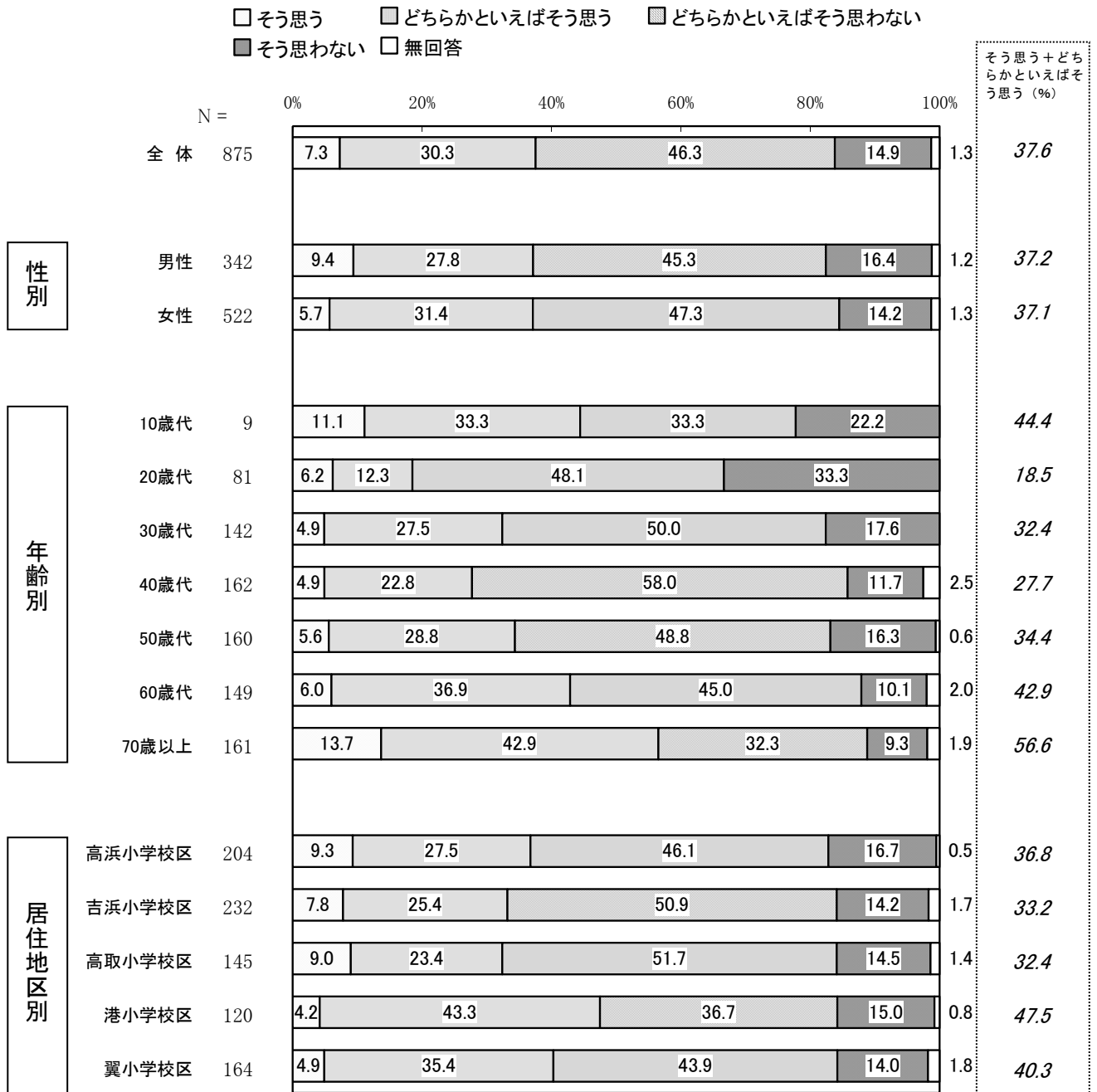
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（27.7%⇒38.2%）で10.5ポイント増加している一方で、60歳代（42.9%⇒36.3%）で6.6ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高浜小学校区（36.8%⇒47.9%）で11.1ポイント増加している一方で、港小学校区（47.5%⇒38.1%）で9.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

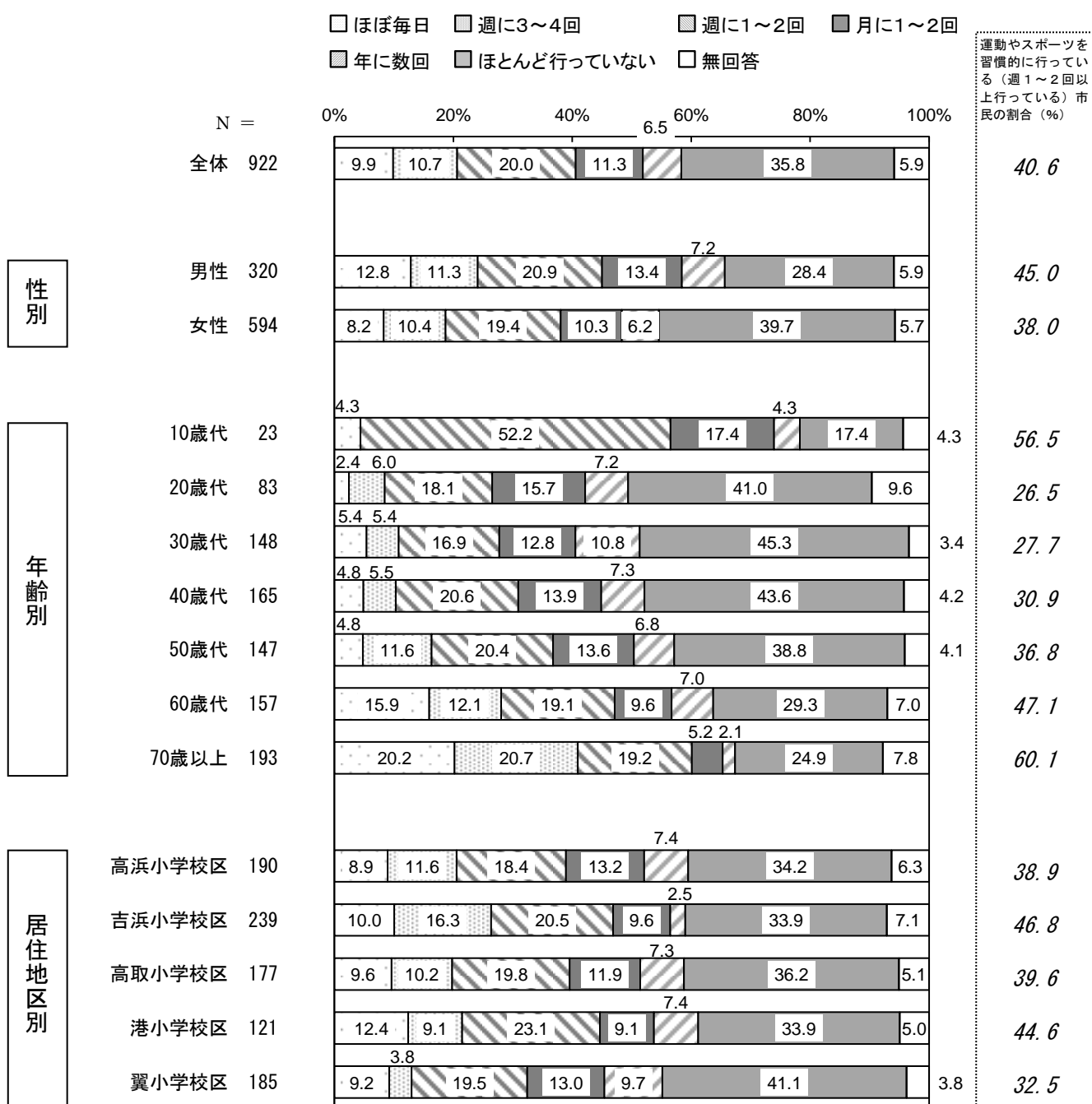


問 27 あなたは、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか？
 <1つに○印>

「運動やスポーツを行っている頻度」は、「ほとんど行っていない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「週に1～2回」の割合が 20.0%、「月に1～2回」の割合が 11.3%となっています。運動やスポーツに頻繁に取り組み習慣化していると判断できる週1～2回以上行っている市民の割合は、合わせて 40.6%となっています。

性別では、「ほとんど行っていない」の割合は、男性 (28.4%) で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「ほぼ毎日」の割合は、20 歳代 (2.4%) で全体よりやや低くなっています。「週に3～4回」の割合は、70 歳代 (20.7%) で全体より 10.0 ポイント高くなっている一方で、30 歳代 (5.4%)、40 歳代 (5.5%) で全体よりやや低くなっています。全般的に、60 歳代や 70 歳以上で運動やスポーツを習慣的にしている割合が比較的高い一方で、20 歳代や 30 歳代では低くなっています。



【前回調査との比較】

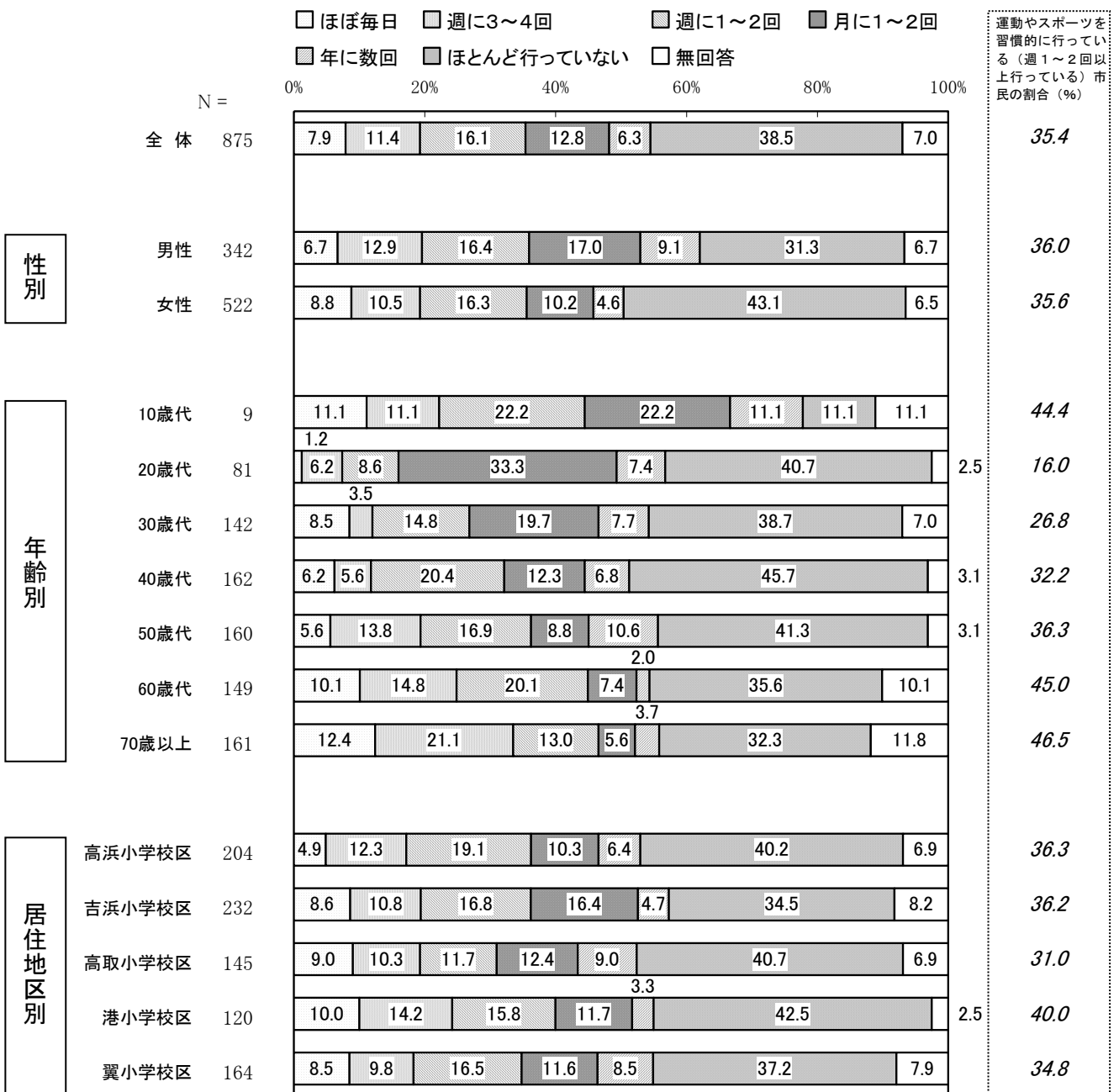
前回調査と比較すると、運動やスポーツに頻繁に取組み習慣化していると判断できる週1～2回以上行っている市民の割合（35.4%⇒40.6%）は、5.2ポイント増加しています。「ほとんど行っていない」の割合は（38.5%⇒35.8%）で、やや減少しています。

性別では、「ほとんど行っていない」の割合が、男性（31.3%⇒28.4%）、女性（43.1%⇒39.7%）とやや低くなっています。

年齢別では、「月に1～2回」の割合は、20歳代（33.3%⇒15.7%）で17.6ポイント減少し、「週に3～4回」の割合は30歳以上（3.5%⇒5.4%）でやや増加している一方で、「ほとんど行っていない」の割合は、30歳代（38.7%⇒45.3%）で6.6ポイント増加しています。

居住地区別では、「ほとんど行っていない」の割合は、翼小学校区（37.2%⇒41.1%）でやや増加していますが、港小学校区（42.5%⇒33.9%）で8.6ポイント、高浜小学校区（40.2%⇒34.2%）で6.0ポイント減少しています。

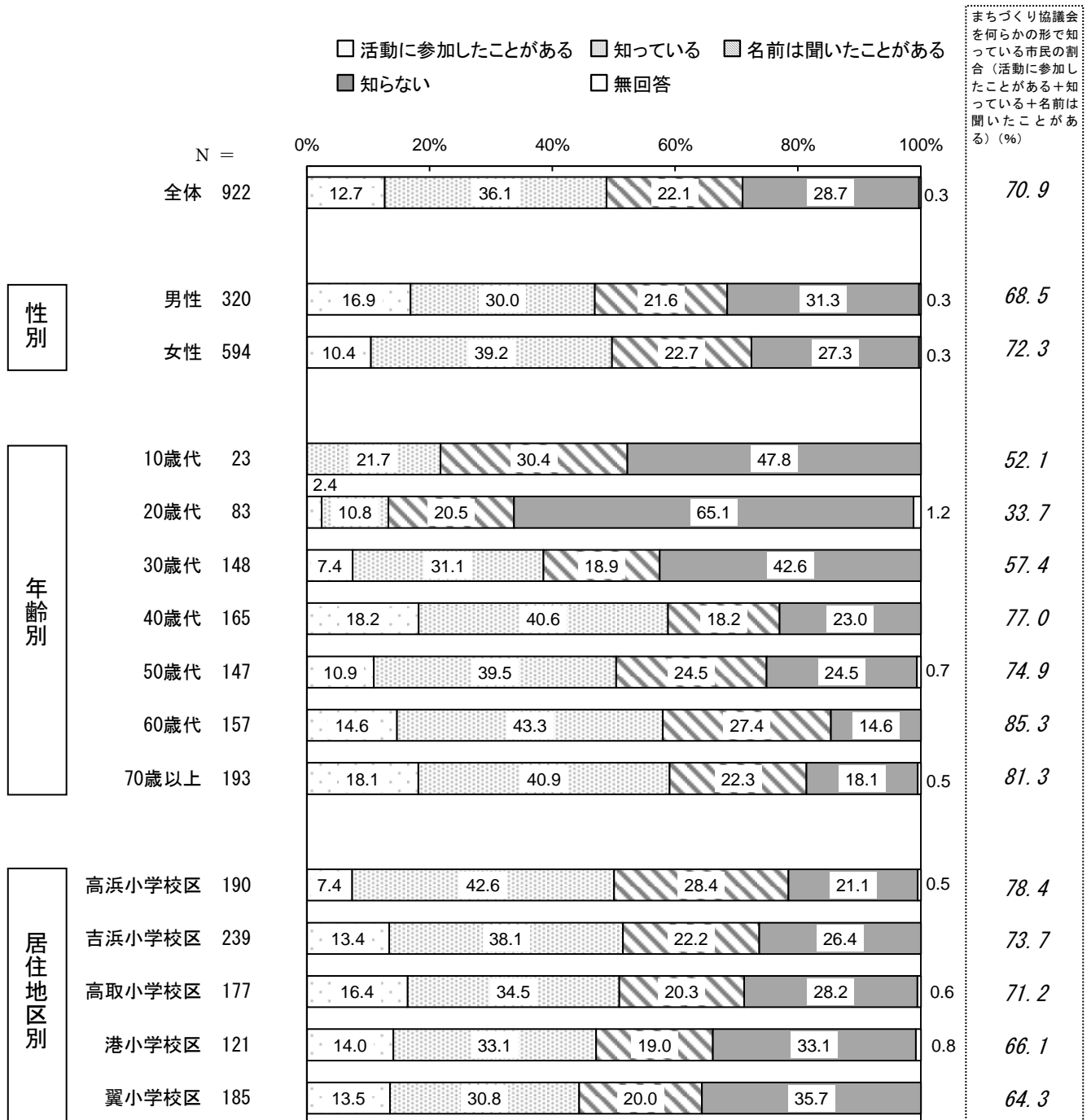
《参考：前回調査の結果（H27年度）》



問 28 あなたは、小学校区を単位としてまちづくり活動を行っている「まちづくり協議会」を知っていますか？ <1つに○印>

「まちづくり協議会」について、「活動に参加したことがある」(12.7%)、「知っている」(36.1%)、「名前は聞いたことがある」(22.1%)を合わせると、まちづくり協議会を何らかの形で知っている割合は70.9%となっています。

年齢別では、「活動に参加したことがある」の割合は、40歳代(18.2%)、70歳以上(18.1%)で全体よりやや高くなっています。まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合は、60歳代(85.3%)で14.4ポイント高くなっている一方で、20歳代(33.7%)で37.2ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

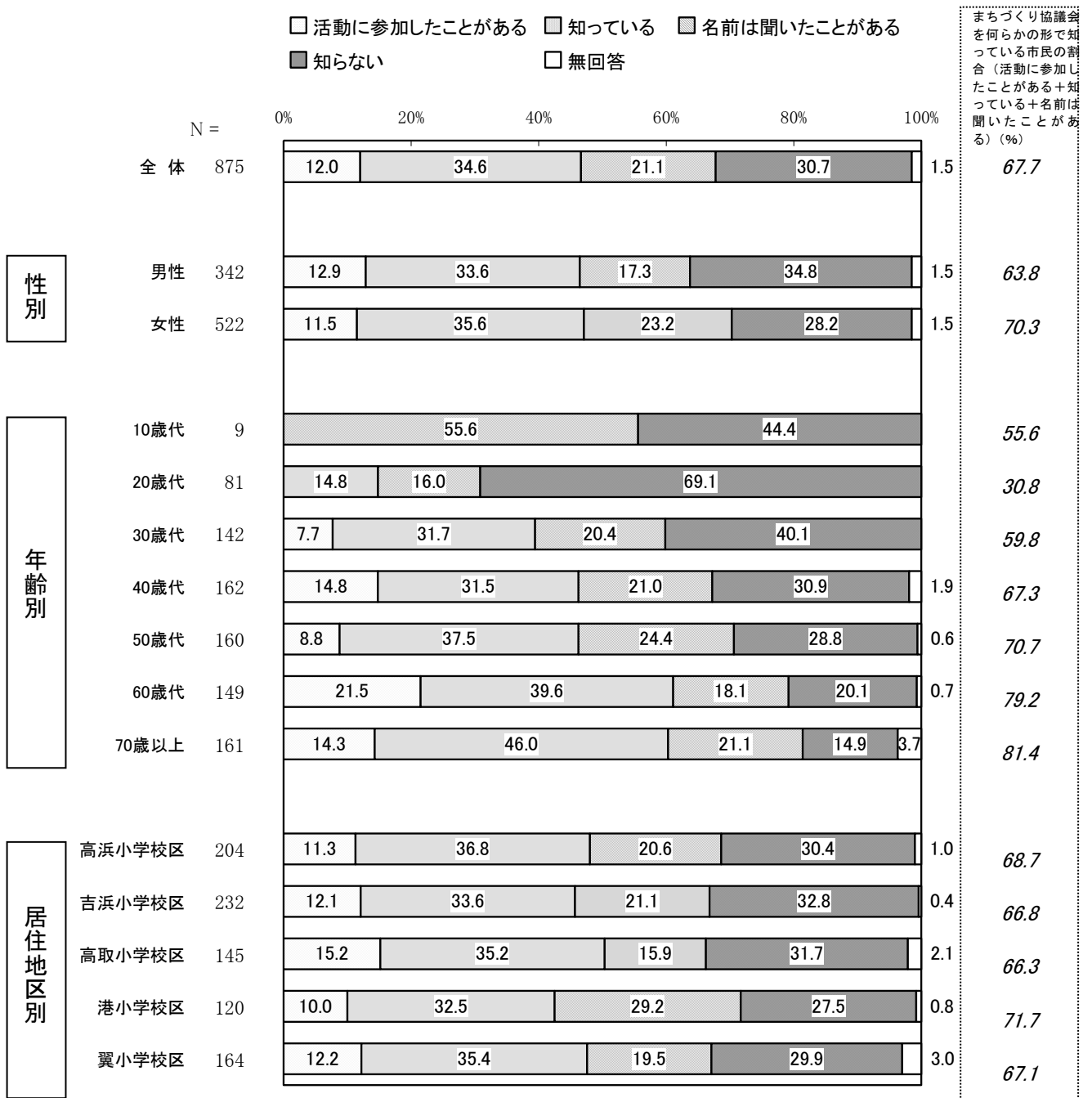
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合が、男性（63.8%⇒68.5%）で、やや増加しています。

年齢別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合が、40歳代（67.3%⇒77.0%）で9.7ポイント増加し、40歳代でのまちづくり協議会の認知度が上がっています。

居住地区別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合が、港小学校区（71.7%⇒66.1%）で5.6ポイント減少していますが、高浜小学校区（68.7%⇒78.4%）で9.7ポイント、吉浜小学校区（66.8%⇒73.7%）で6.9ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



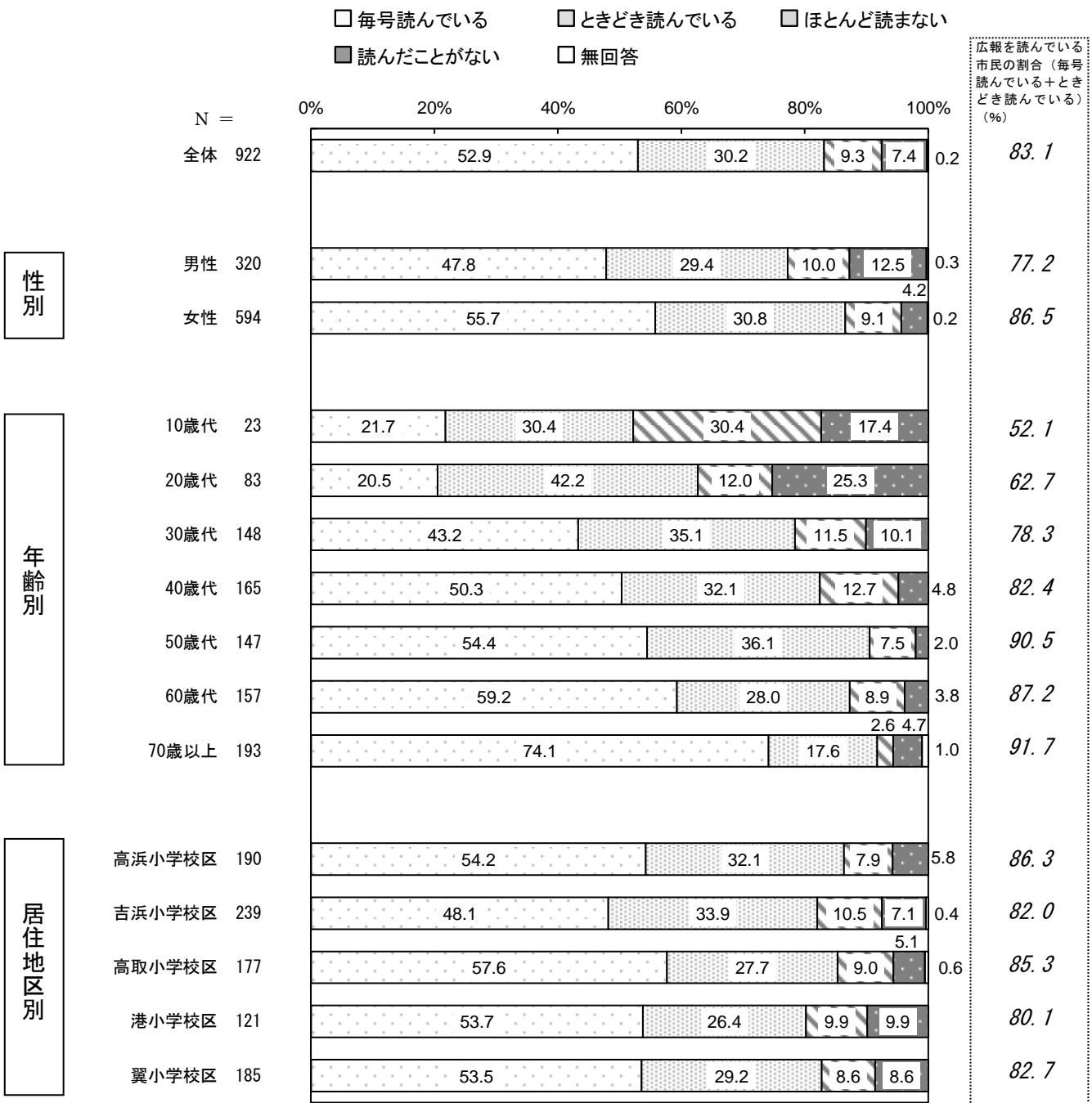
問 29 あなたは、「広報たかはま」（毎月1日号・15日号発行）を読んでいますか？
 <1つに○印>

「広報たかはま」については、「毎号読んでいる」の割合が52.9%と過半数を占めており、「ときどき読んでいる」の割合30.2%と合わせると、広報を読んでいる市民の割合は8割以上にのぼります。

性別では、「毎号読んでいる」の割合は、男性（47.8%）で全体よりやや低く、女性（55.7%）で全体よりやや高くなっています。

年齢別では、広報を読んでいる市民の割合は、20歳代（62.7%）で全体より20.4ポイント低くなっています。60歳代以外は年齢層が上がるにつれて高くなる傾向が見られ、50歳代、70歳以上では9割を超えています。

居住地区別では、広報を読んでいる市民の割合に大きな差は見られません。



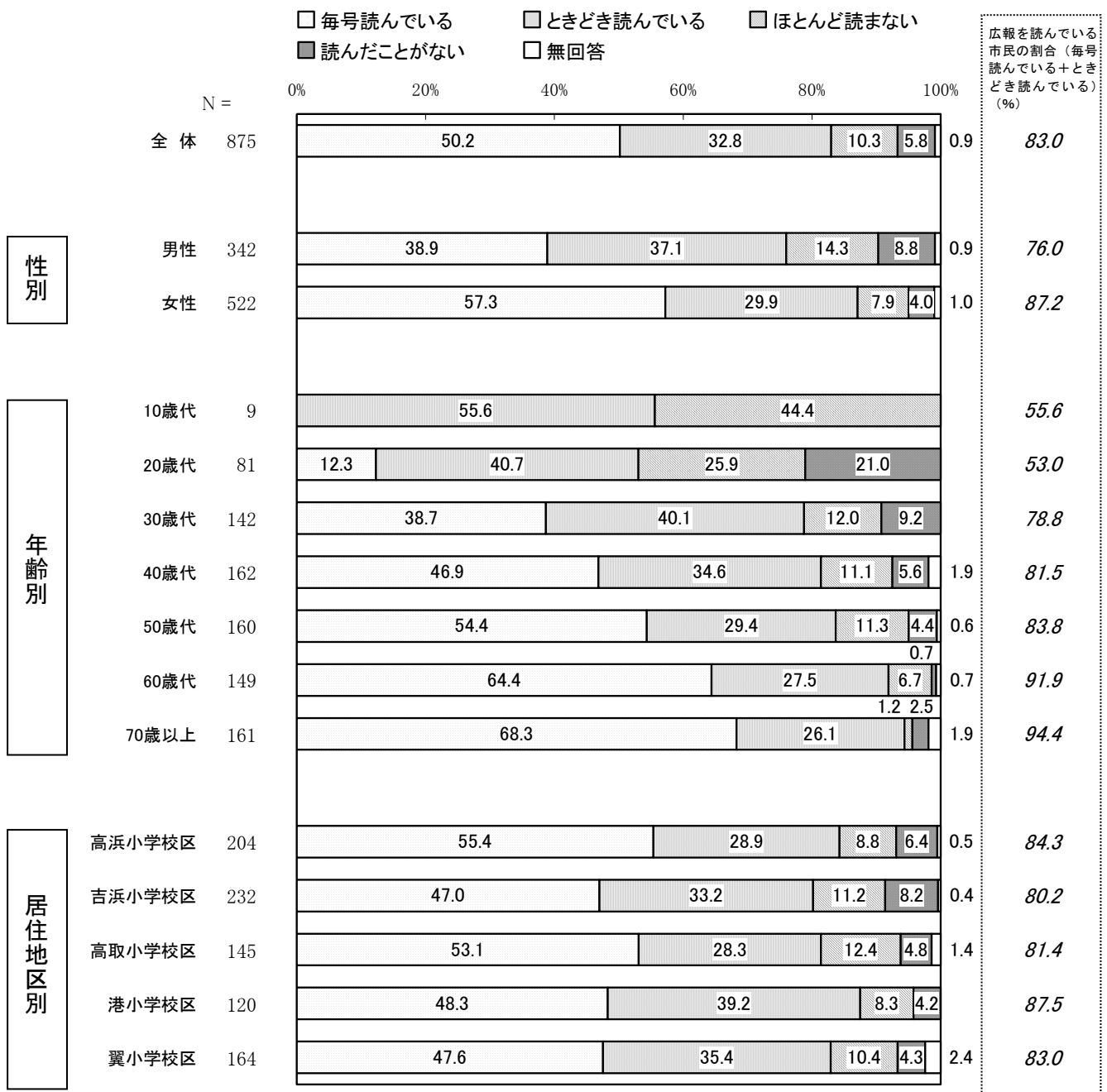
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「ときどき読んでいる」の割合が50歳代（29.4%⇒36.1%）で6.7ポイント増加している一方で、「毎号読んでいる」の割合が60歳代（64.4%⇒59.2%）で5.2ポイント減少しています。また、広報を読んでいる市民の割合は、20歳代（53.0%⇒62.7%）で9.7ポイント増加しています。

居住地区別では、広報を読んでいる市民の割合が港小学校区（87.5%⇒80.1%）で7.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

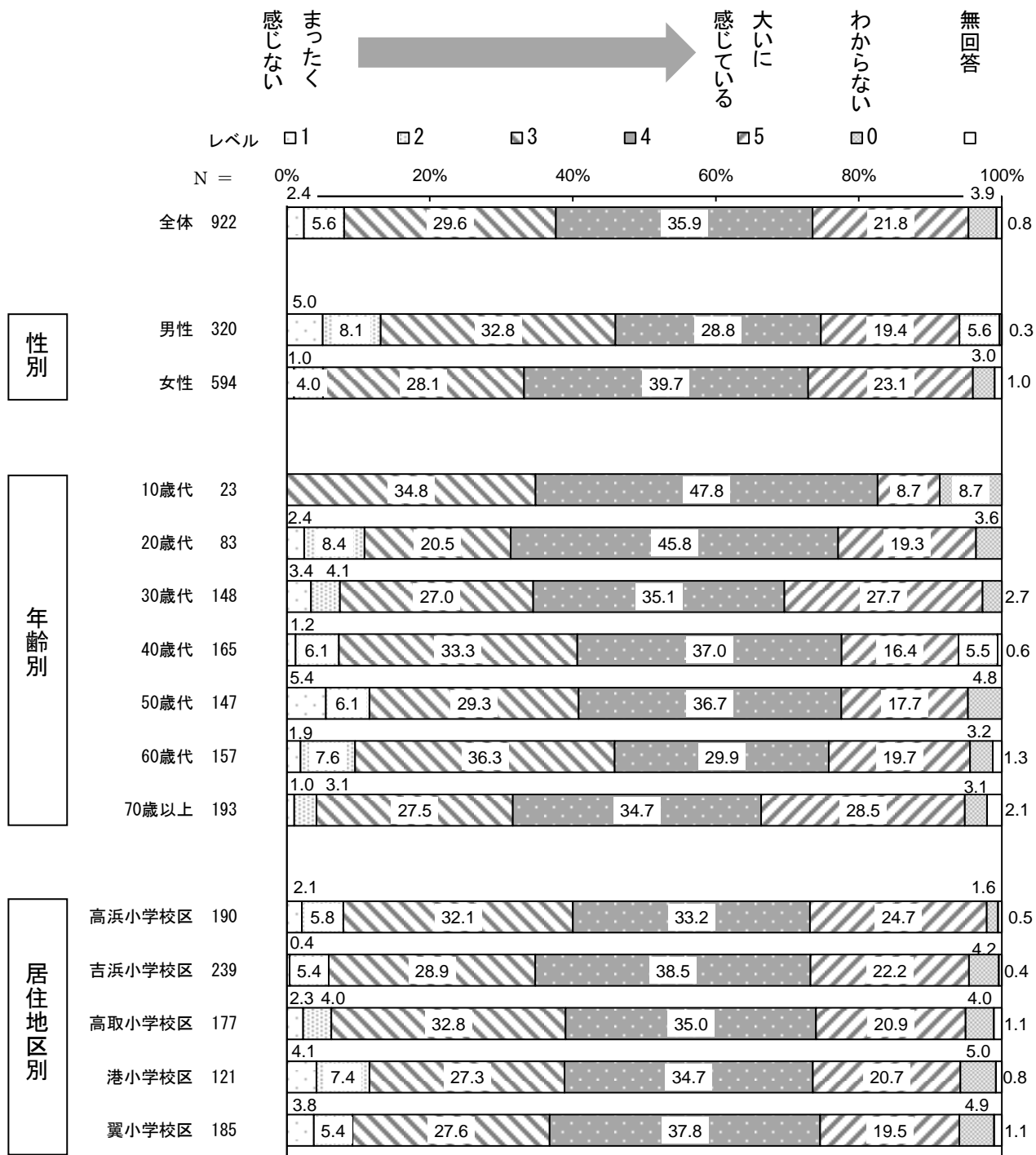


問 30 あなたは、幸せだと感じていますか？ <あなたの実感に最も近いもの（数値）1つに○を付けてください>

幸せだと「大いに感じている」の人の割合はレベル4（35.9%）が最も高く、「まったく感じない」（2.4%）が最も低くなっています。

性別では、「大いに感じている」の割合は、女性（39.7%）で全体よりやや高くなっている一方で、男性（28.8%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、20歳代（45.8%）で全体より9.9ポイント高くなっている一方で、60歳代（29.9%）でやや低くなっています。

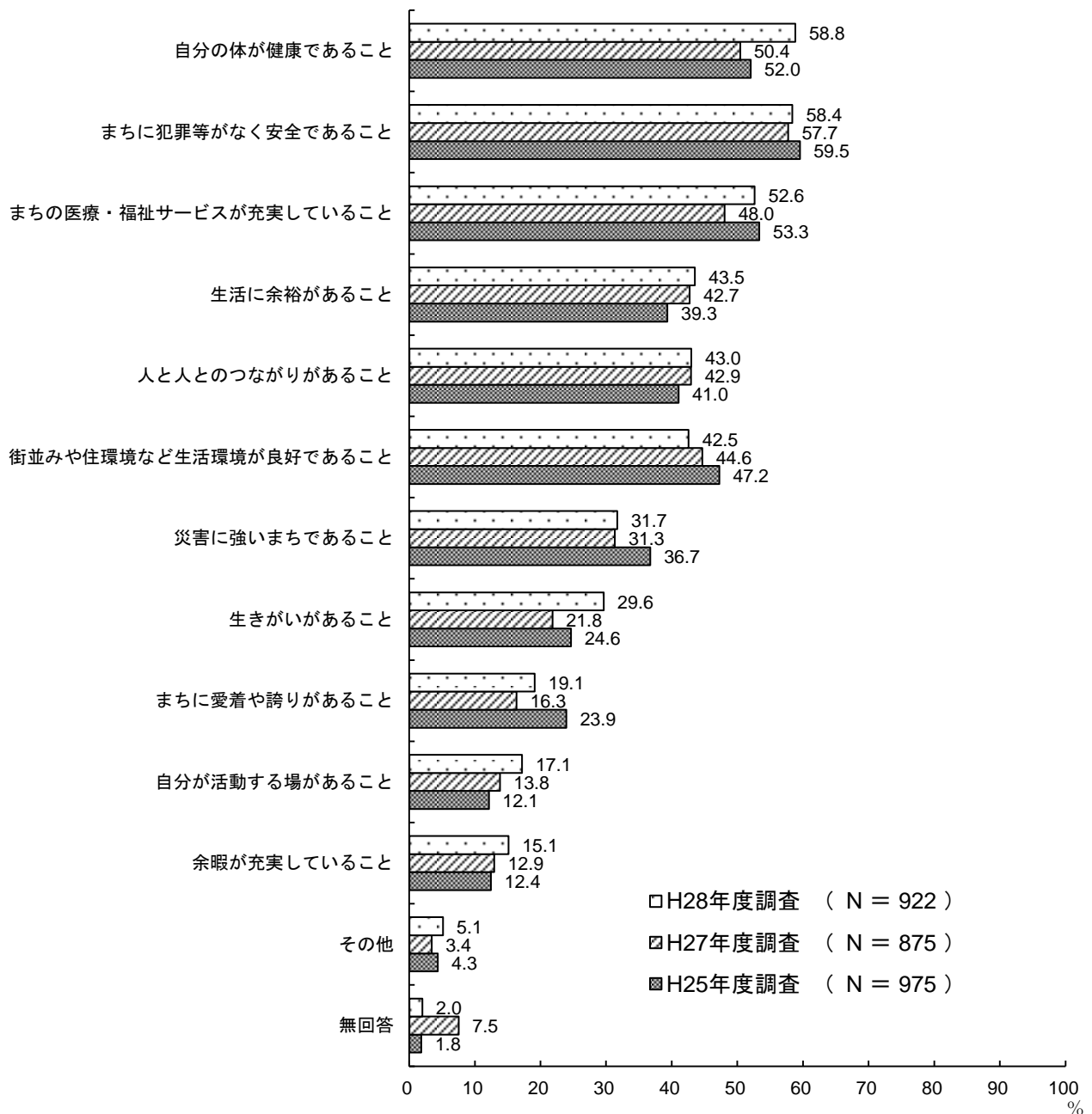


※前回調査なし

VI 高浜市に暮らす日常の「心地よさ」について（設問 31）

問 31 あなたが、高浜市に暮らす日常の「心地よさ」を実感するために、重要視するものは何ですか？（これが充実すれば「心地よさ」を感じるというものを選んでください。）〈5つまで〇印〉

「高浜市に暮らす日常の「心地よさ」を実感するために、重要視するもの」として最も高いのは、「自分の体が健康であること」（58.8%）で、次いで、「まちに犯罪等がなく安全であること」（58.4%）で、「まちの医療・福祉サービスが充実していること」（52.6%）といった事項が重要視されています。また、「生活に余裕があること」（43.5%）や「人と人とのつながりがあること」（43.0%）、「街並みや住環境など生活環境が良好であること」（42.5%）についても比較的高くなっています。

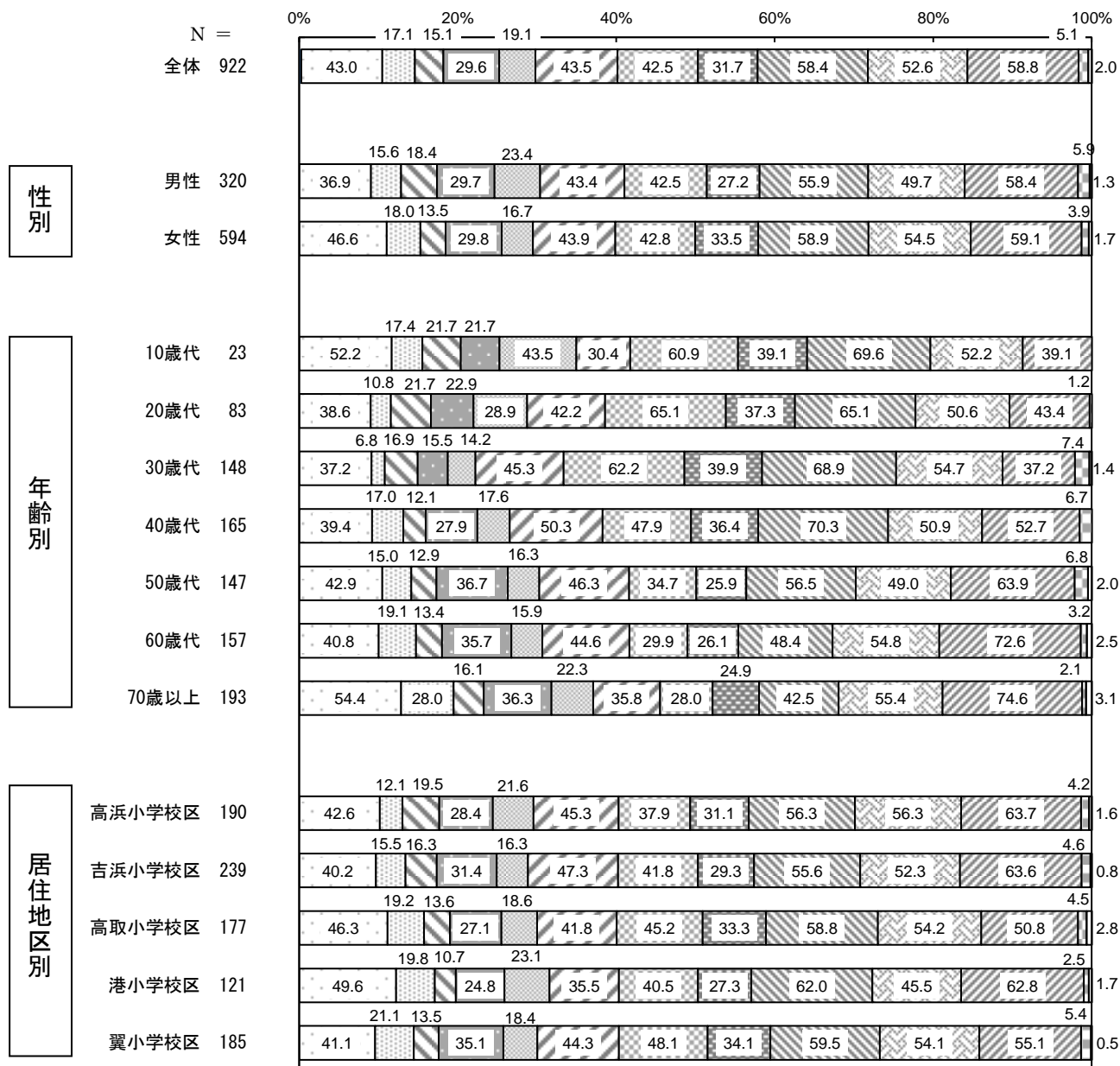


性別では、どちらも「自分の体が健康であること」の割合が最も高くなっています。「人と人とのつながりがあること」の割合では、女性の方が男性より9.7ポイント高くなっています。

年齢別では、10歳代～40歳代が「まちに犯罪等がなく安全であること」を重要視しているのに対し、50歳代以上では、「自分の体が健康であること」を重要視している人の割合が最も高くなっています。

居住地区別では、高浜小学校区（63.7%）、吉浜小学校区（63.6%）、港小学校区（62.8%）で「自分の体が健康であること」が最も重要視されています。居住地区による違いは若干ありますが、一般的に大きな差は見られません。

- 人と人とのつながりがあること
- 余暇が充実していること
- まちに愛着や誇りがあること
- 街並みや住環境などの生活環境が良好であること
- まちに犯罪等がなく安全であること
- 自分の体が健康であること
- 無回答
- 自分が活動する場があること
- 生きがいがあること
- 生活に余裕があること
- 災害に強いまちであること
- まちの医療・福祉サービスが充実していること
- その他



【前回調査との比較】

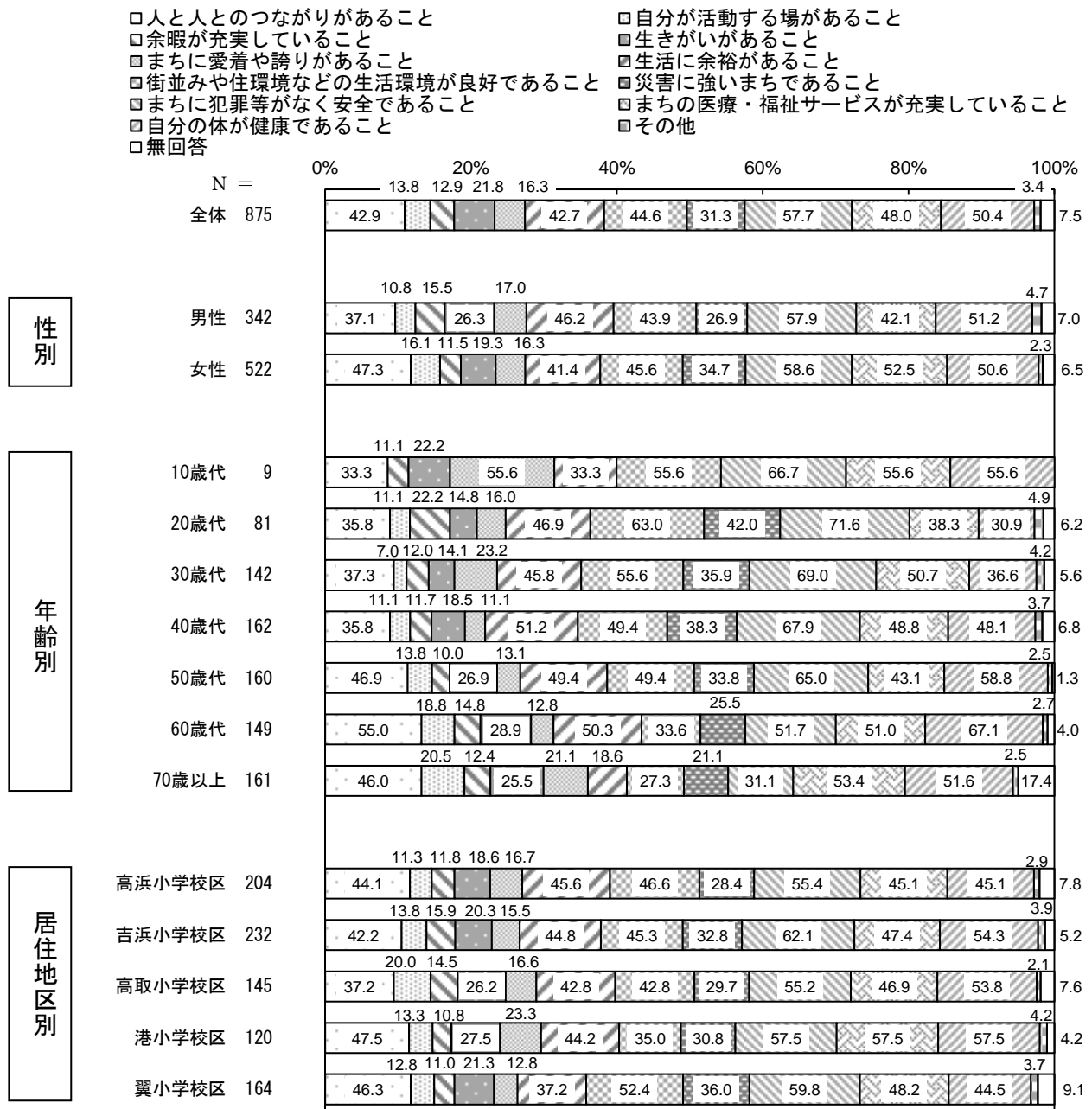
前回調査と比較すると、「自分の体が健康であること」(50.4%⇒58.8%)で8.4ポイント、「生きがいがあること」(21.8%⇒29.6%)で7.8ポイント増加しています。

性別では、「生きがいがあること」の割合は、女性(19.3%⇒29.8%)で10.5ポイント増加しています。

年齢別では、「人と人とのつながりがあること」の割合は、70歳以上(46.0%⇒54.4%)で8.4ポイント増加しています。また、「まちに犯罪等がなく安全であること」の割合は、50歳代(65.0%⇒56.5%)で8.5ポイント減少しています。

居住地区別では、「まちの医療・福祉サービスが充実していること」の割合が港小学校区(57.5%⇒45.5%)で12.0ポイント減少しています。「生きがいがあること」の割合は、高浜小学校区(18.6%⇒28.4%)で9.8ポイント、吉浜小学校区(20.3%⇒31.4%)で11.1ポイント、翼小学校区(21.3%⇒35.1%)で13.8ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

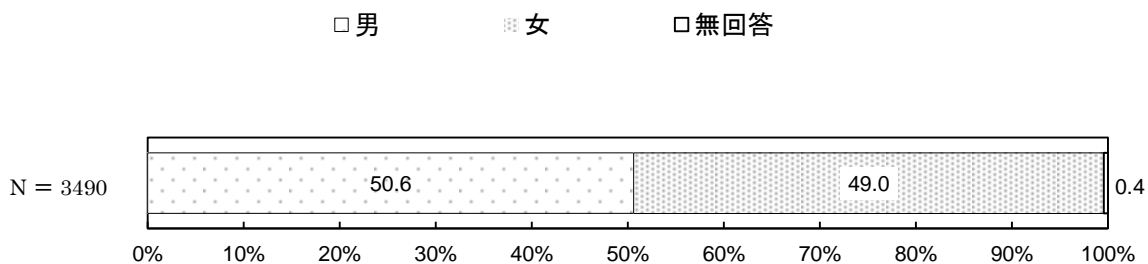


Ⅶ 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート

1 回答者属性

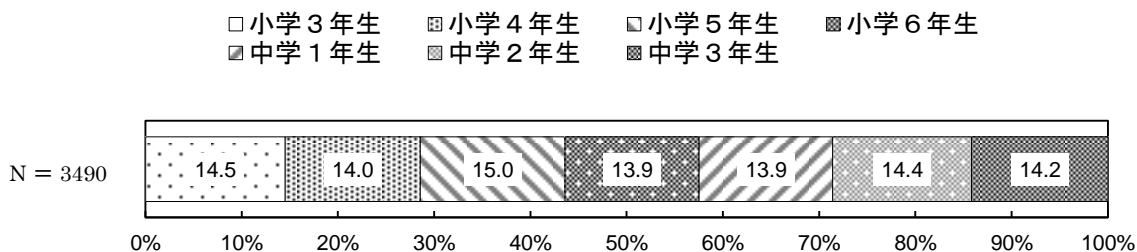
① 性別（設問1）

「男」の割合が50.6%、「女」の割合が49.0%となっています。



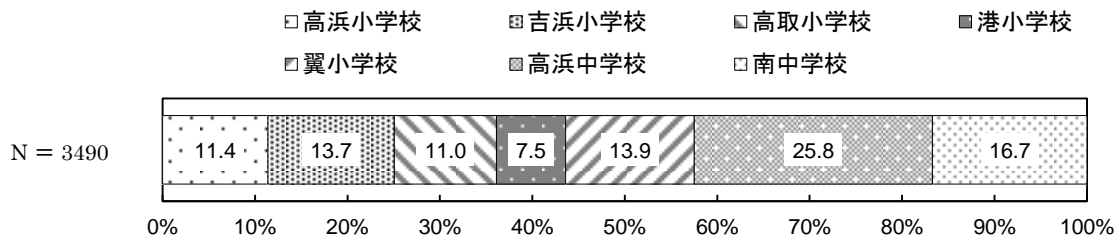
② 学年（設問2）

「小学5年生」の割合が15.0%と最も高く、次いで「小学3年生」の割合が14.5%、「中学2年生」の割合が14.4%となっています。



③ 小学校・中学校（設問3）

「高浜中学校」の割合が25.8%と最も高く、次いで「南中学校」の割合が16.7%、「翼小学校」の割合が13.9%となっています。

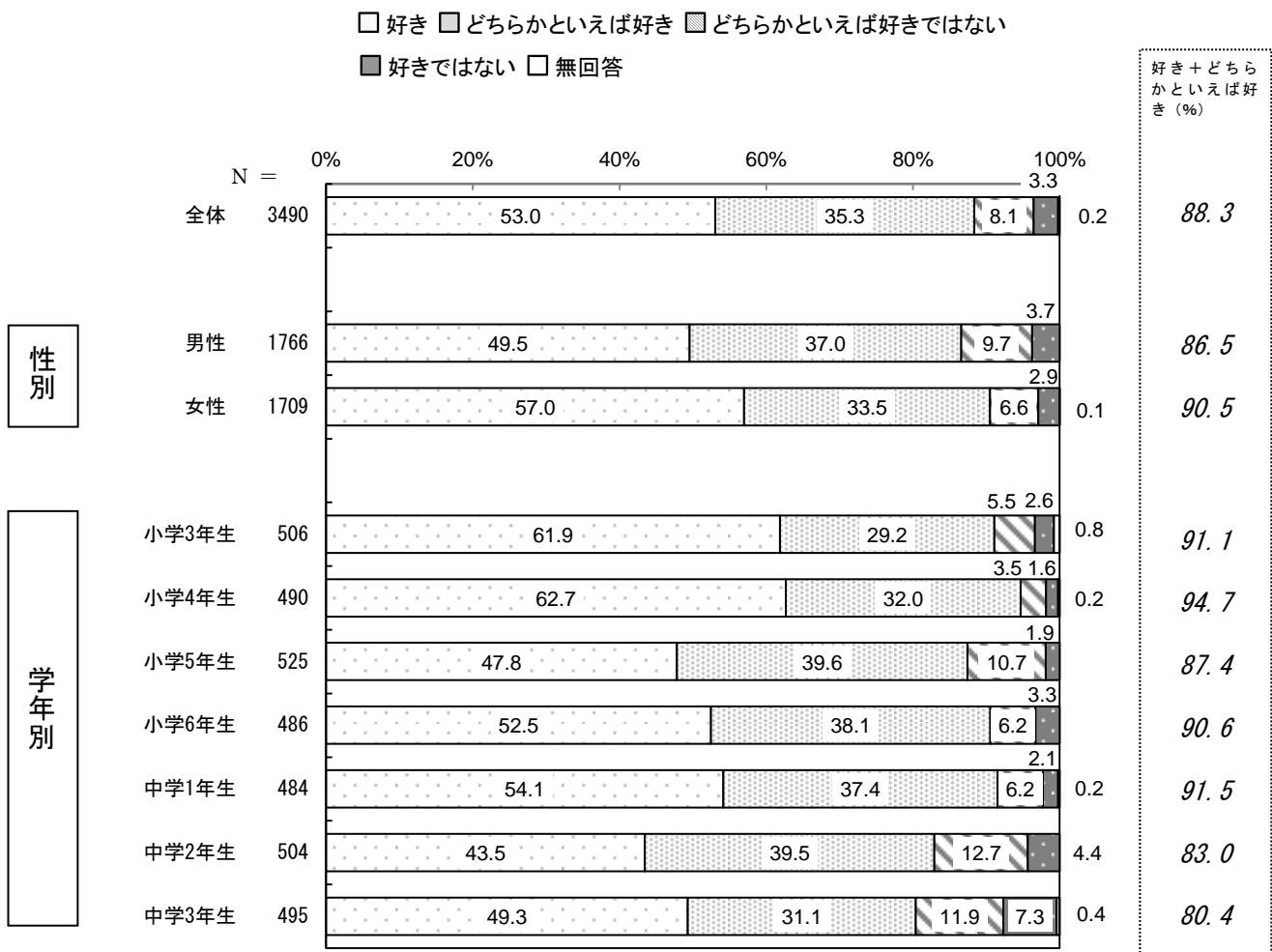


2 児童・生徒の意識（設問4～11）

問4 あなたは、学校が好きですか。

「学校が好き」という児童・生徒の割合は、「好き」が53.0%、「どちらかといえば好き」が35.3%であり、合わせて88.3%となっています。

学年別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学4年生（94.7%）が最も高く、中学3年生（80.4%）が最も低い割合となっています。



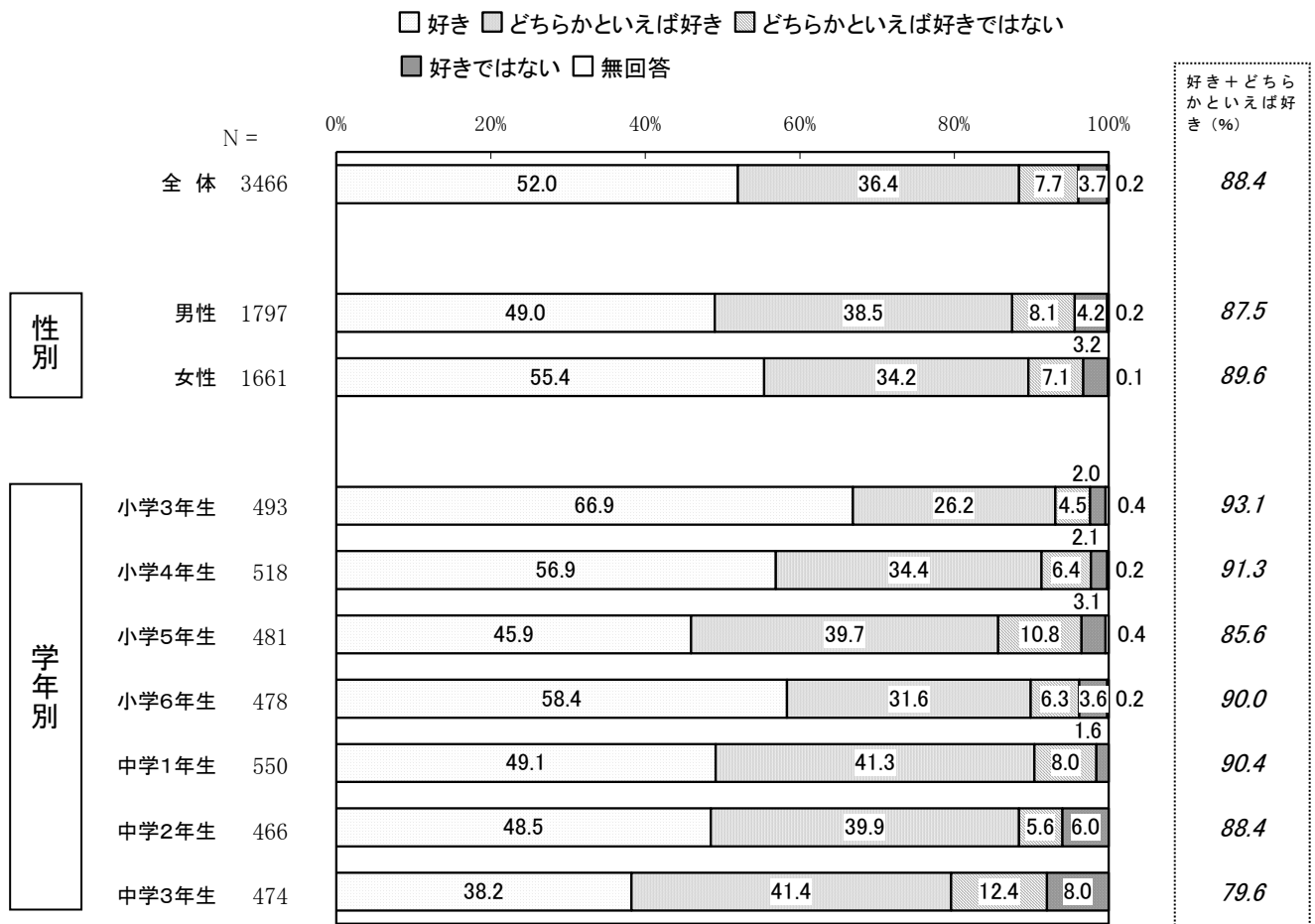
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「学校が好き」という児童・生徒の割合は（52.0%⇒53.0%）、やや増加しています。

性別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、男性（87.5%⇒86.5%）でやや減少しています。

学年別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学4年生（91.3%⇒94.7%）でやや増加し、中学2年生（88.4%⇒83.0%）で5.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

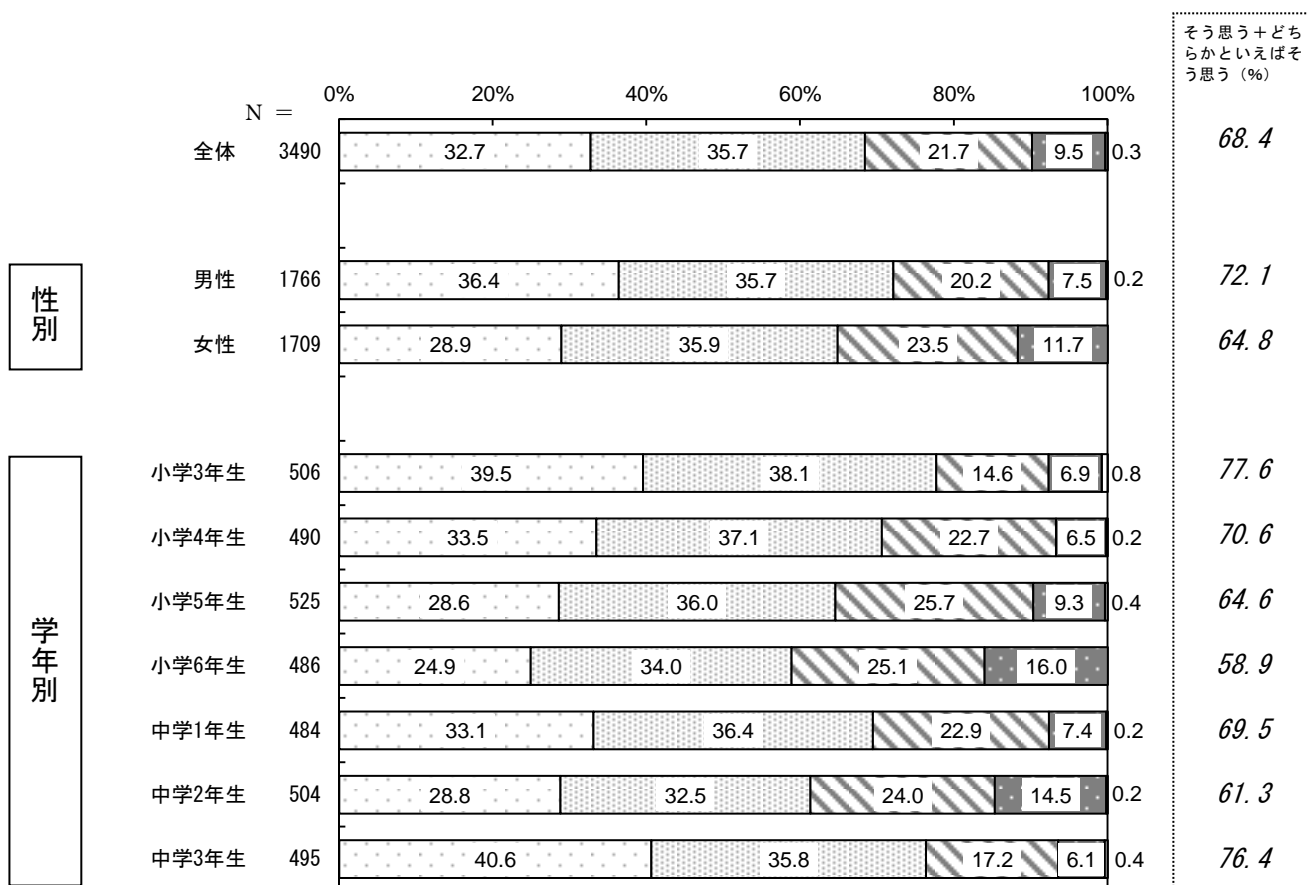


問5 あなたは、授業中に手をあげて、発言していますか？

「授業中に手をあげて発言している」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が32.7%、「どちらかといえばそう思う」が35.7%であり、合わせて68.4%となっています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学3年生(77.6%)が最も高く、全体と比べて9.2ポイント上回っている一方で、小学6年生(58.9%)が最も低く、全体を9.5ポイント下回っています。

□ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない □ 無回答



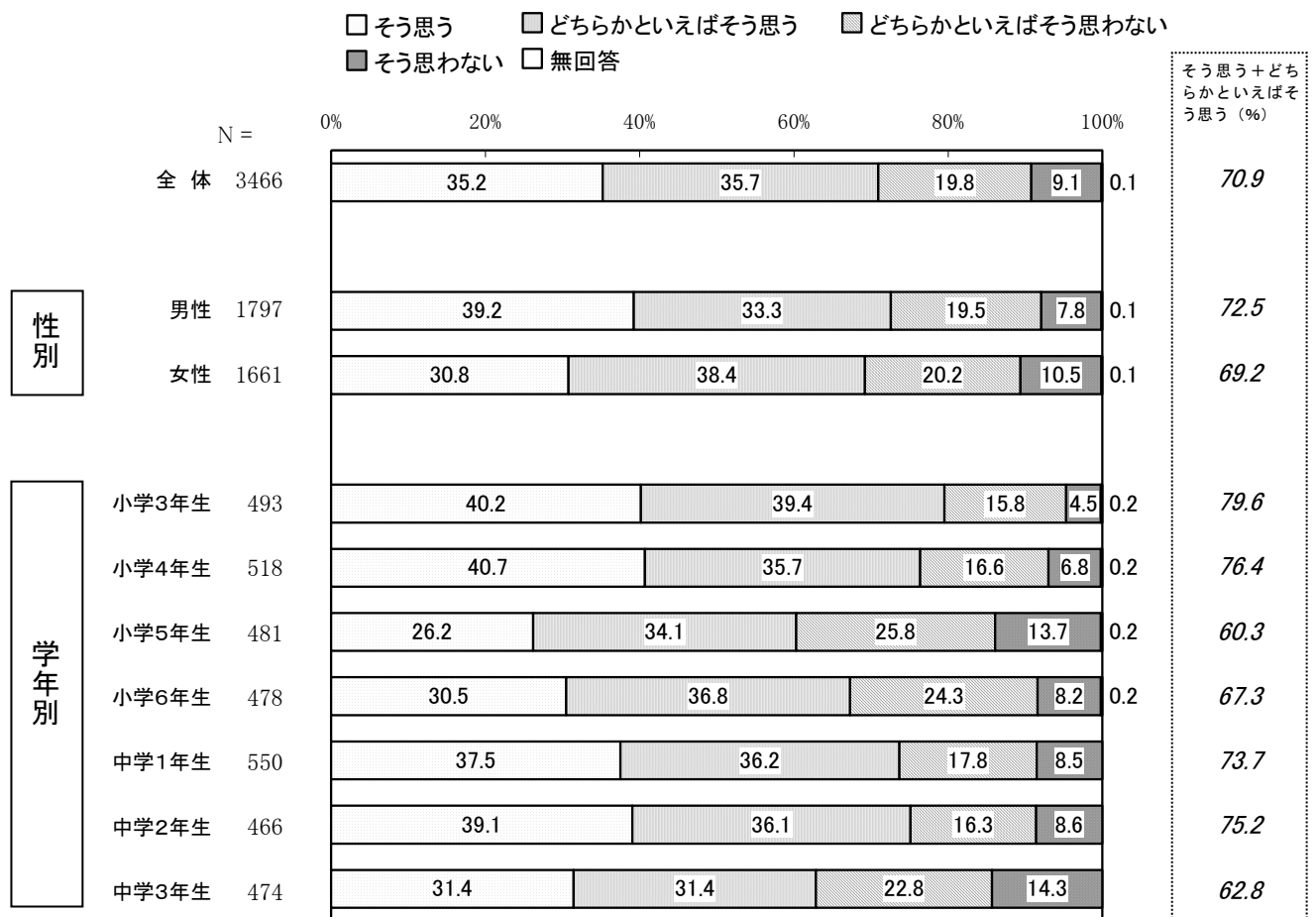
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「授業中に手をあげて発言している」と思う児童・生徒の割合は、(35.2%⇒32.7%) でやや減少しています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性(72.5%⇒72.1%)、女性(69.2%⇒64.8%)と男女ともにやや減少しています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、中学3年生(62.8%⇒76.4%)で13.6ポイント増加し、小学5年生(60.3%⇒64.6%)でやや増加している一方で、中学2年生(75.2%⇒61.3%)で13.9ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

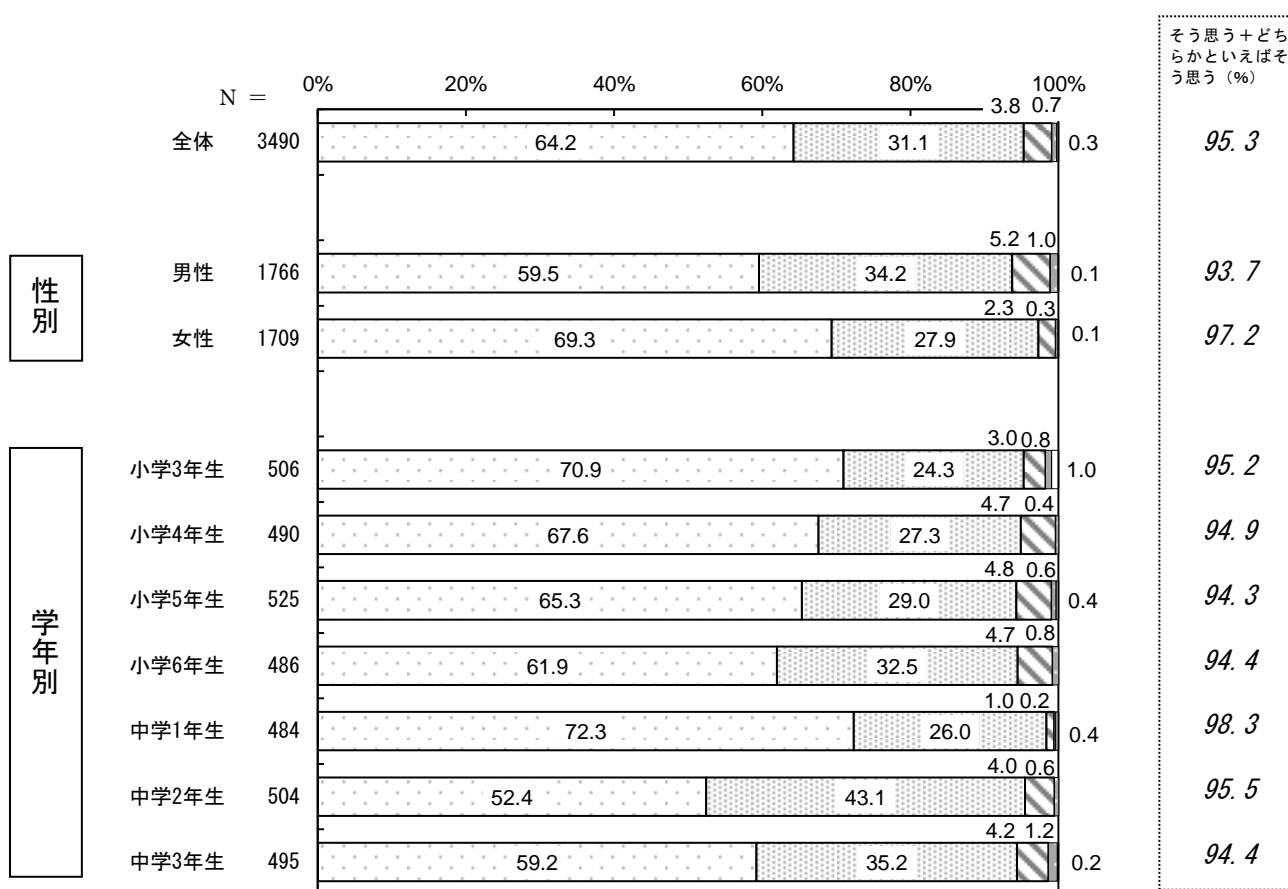


問6 あなたは、授業中に先生や友達の話聞いていますか？

「授業中に先生や友達の話聞いている」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が64.2%、「どちらかといえばそう思う」が31.1%であり、合わせて95.3%となっています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、中学1年生(98.3%)が最も高く、その他の学年でも9割を超えています。

□ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない □ 無回答



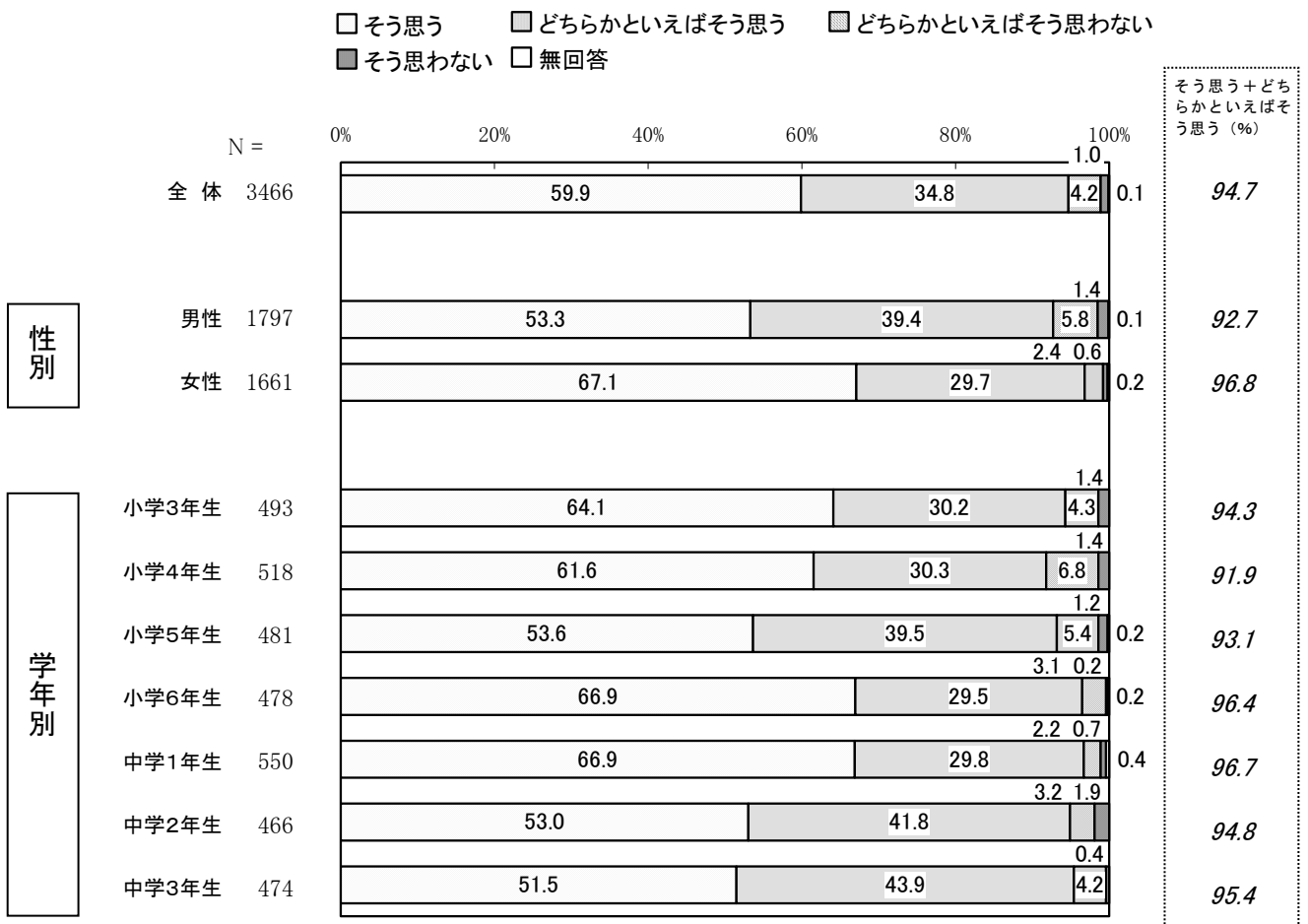
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「授業中に先生や友達の話聞いている」と思う児童・生徒の割合は、(59.9%⇒64.2%)とやや増加しています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が男性(92.7%⇒93.7%)、女性(96.8%⇒97.2%)と男女共にやや増加しています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学4年生(91.9%⇒94.9%)でやや増加し、小学6年生(96.4%⇒94.4%)でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

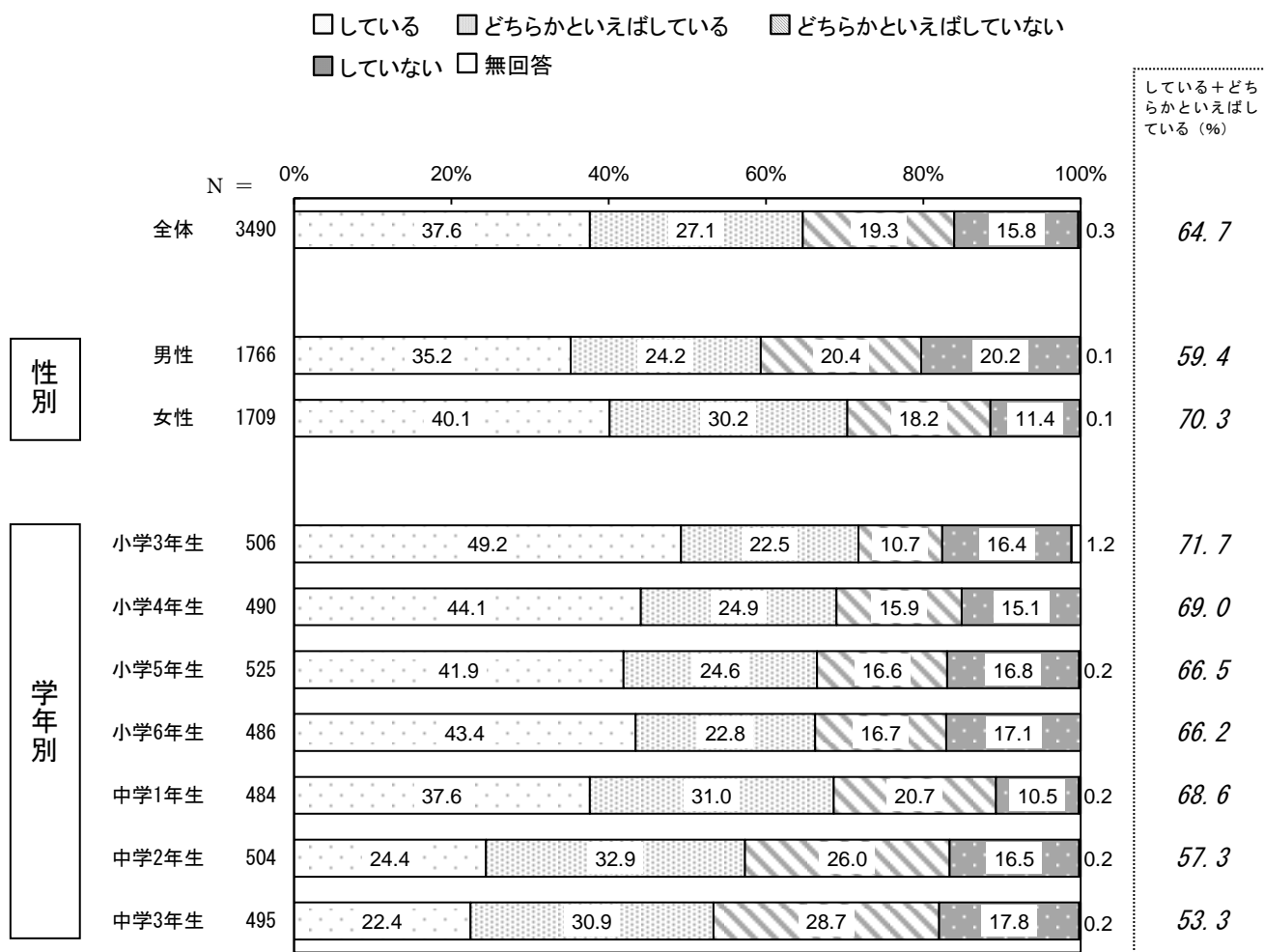


問7 あなたは、家で宿題以外の勉強をしていますか？

「家で宿題以外の勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合は、「している」が37.6%、「どちらかといえばしている」が27.1%であり、合わせて64.7%となっています。

性別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、女性（70.3%）の方が男性（59.4%）より10.9ポイント高くなっています。

学年別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、小学3年生（71.7%）が最も高く、中学3年生（53.3%）が最も低い割合となっています。



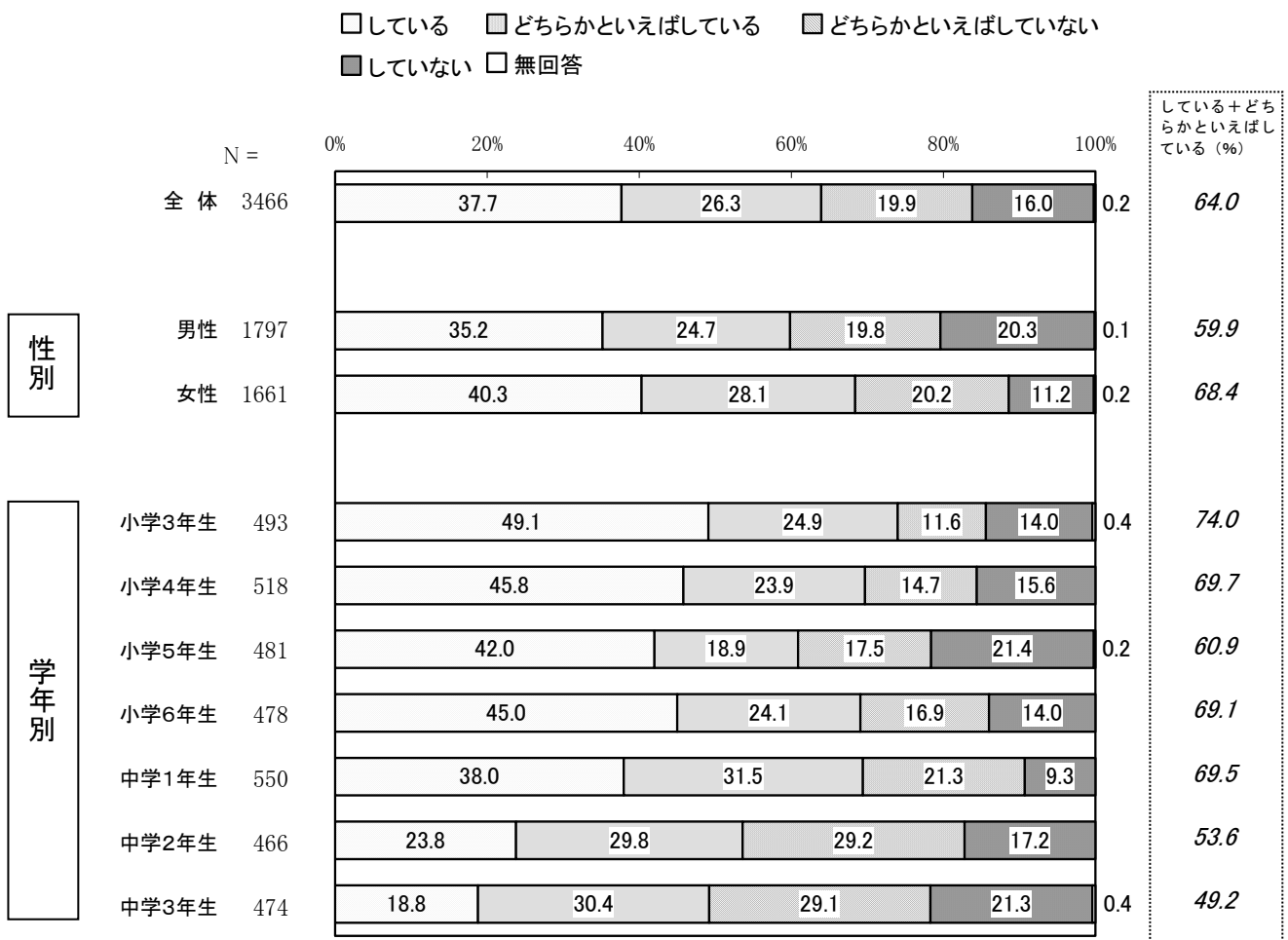
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合が女性(68.4%⇒70.3%)でやや増加しています。

学年別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、小学5年生(60.9%⇒66.5%)で5.6ポイント増加し、小学6年生(69.1%⇒66.2%)でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

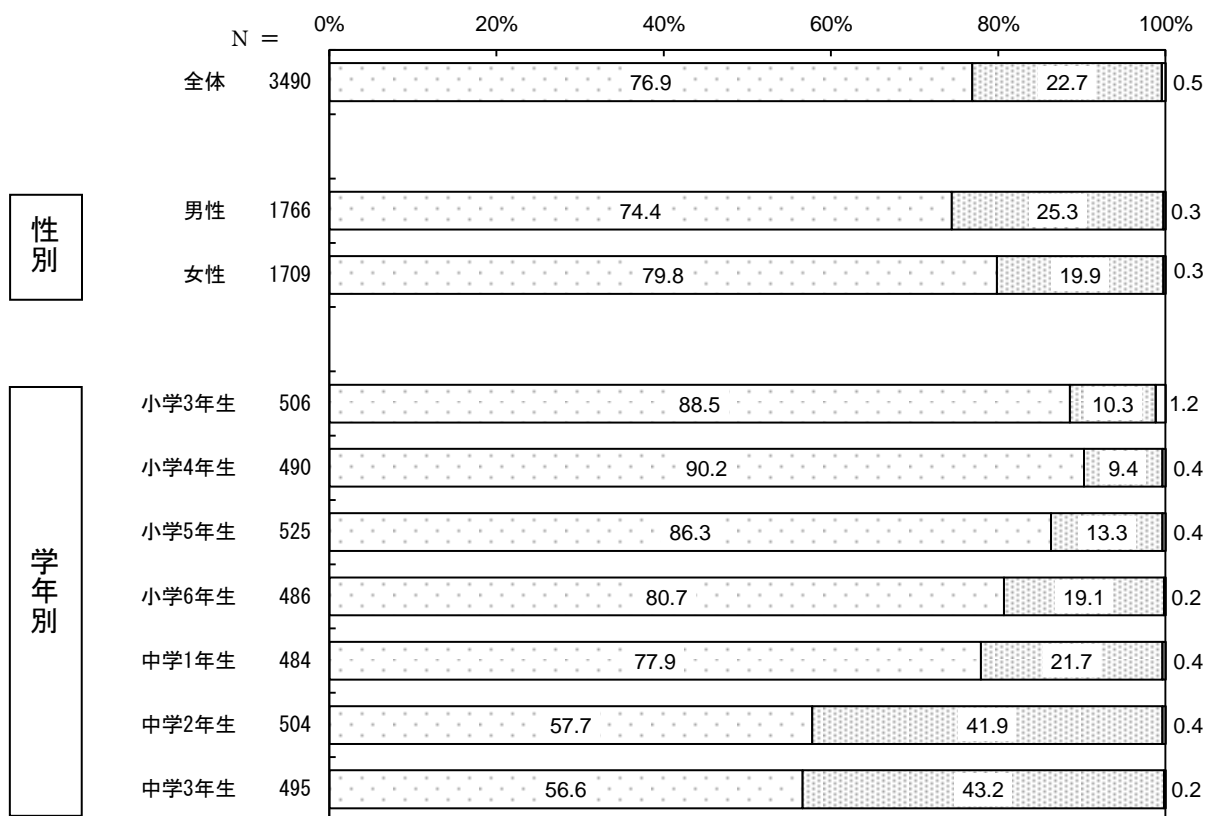


問8 あなたは将来の夢を持っていますか？

「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合は、76.9%となっています。

学年別では、「将来の夢を持っている」の割合は、小学4年生（90.2%）が最も高く、全体と比べて13.3ポイント上回っている一方で、中学3年生（56.6%）が最も低く、全体を20.3ポイント下回っています。また、小学4年生以外は、学年が上がるにつれて、「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合が低くなる傾向が見られます。

□ 将来の夢を持っている ■ 将来の夢は持っていない □ 無回答



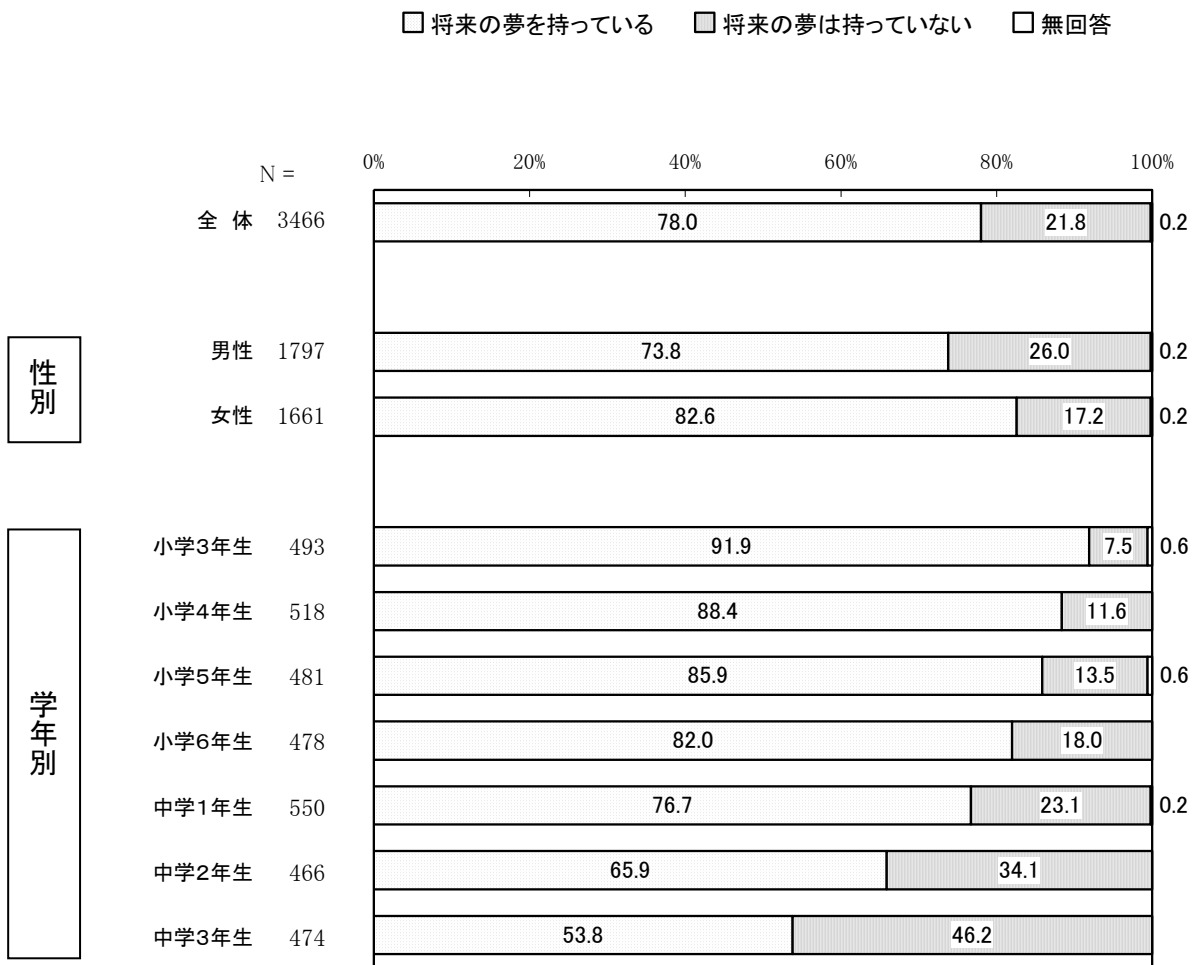
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「将来の夢を持っている」の割合が男性（73.8%⇒74.4%）でやや増加している一方、女性（82.6%⇒79.8%）でやや減少しています。

学年別では、「将来の夢を持っている」の割合は、中学2年生（65.9%⇒57.7%）で8.2ポイント減少し、小学3年生（91.9%⇒88.5%）、小学6年生（82.0%⇒80.7%）で、やや減少しています。

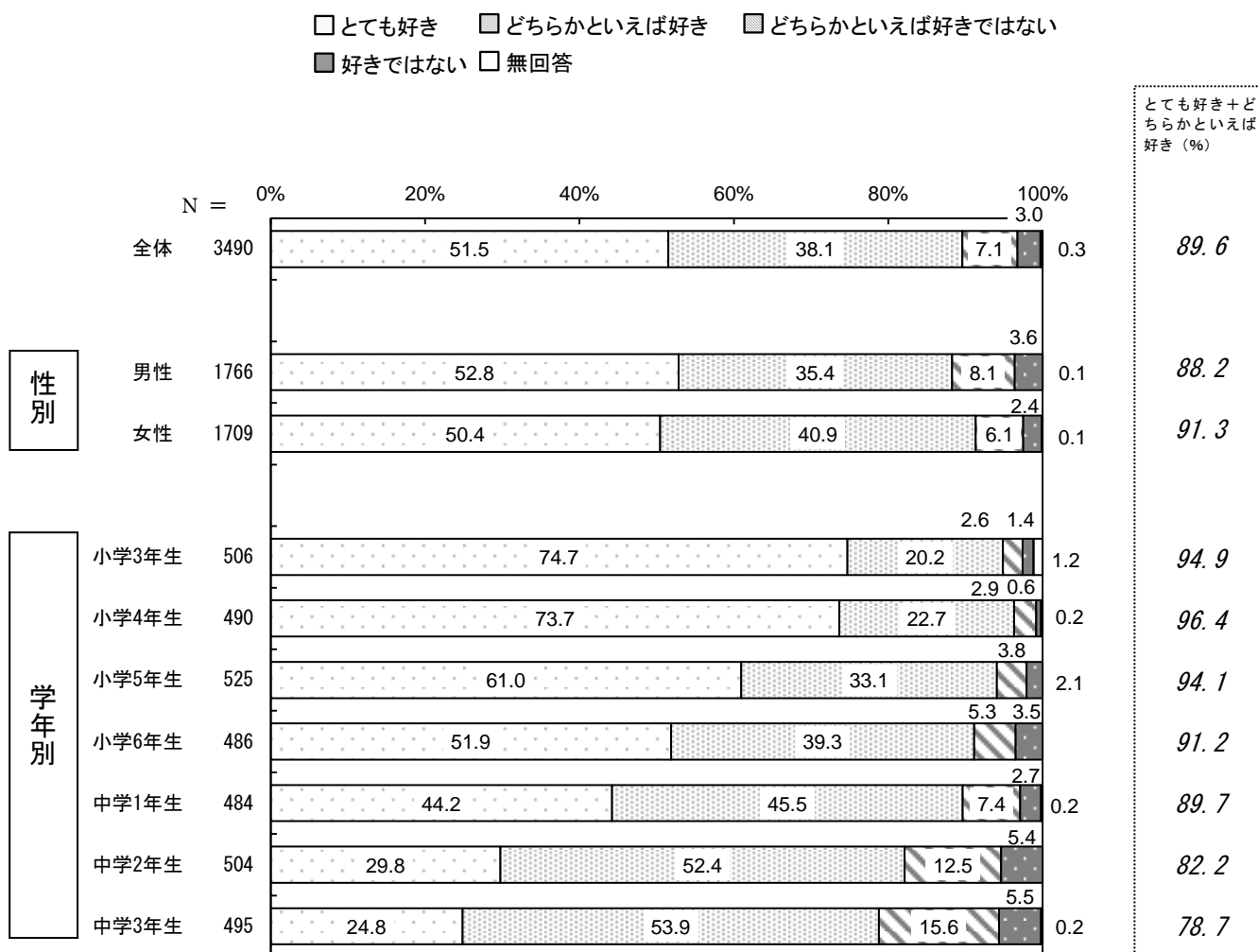
《参考：前回調査の結果（H27年度）》



問9 あなたは高浜市というまちが好きですか？

「高浜市というまちが好き」と答えた児童・生徒の割合は、「とても好き」が51.5%、「どちらかといえば好き」が38.1%であり、合わせて89.6%となっています。

学年別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学4年生（96.4%）が最も高く、中学3年生（78.7%）が最も低い割合となっています。

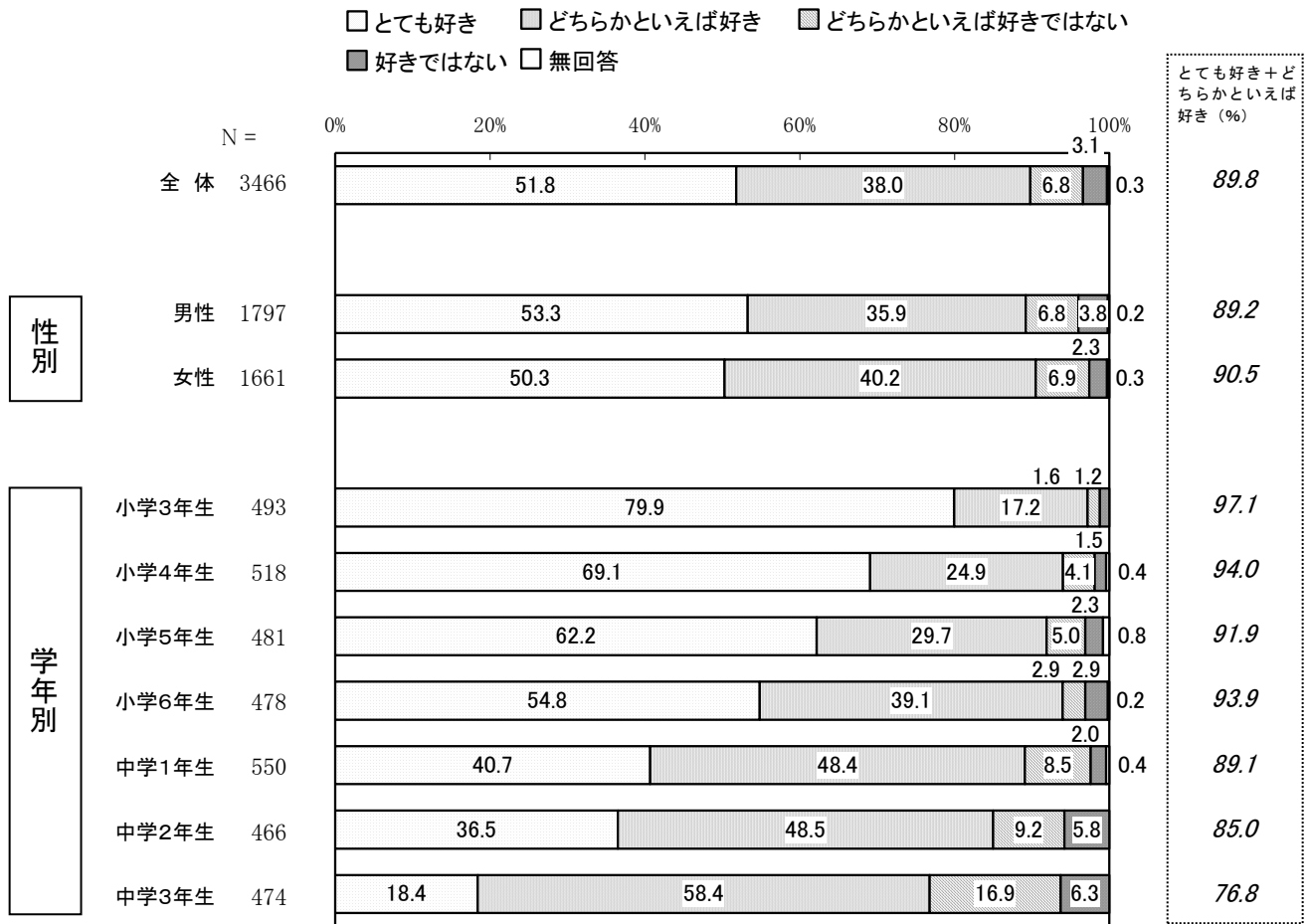


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

学年別では、「とても好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学4年生（94.0%⇒96.4%）でやや増加し、中学2年生（85.0%⇒82.2%）でやや減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

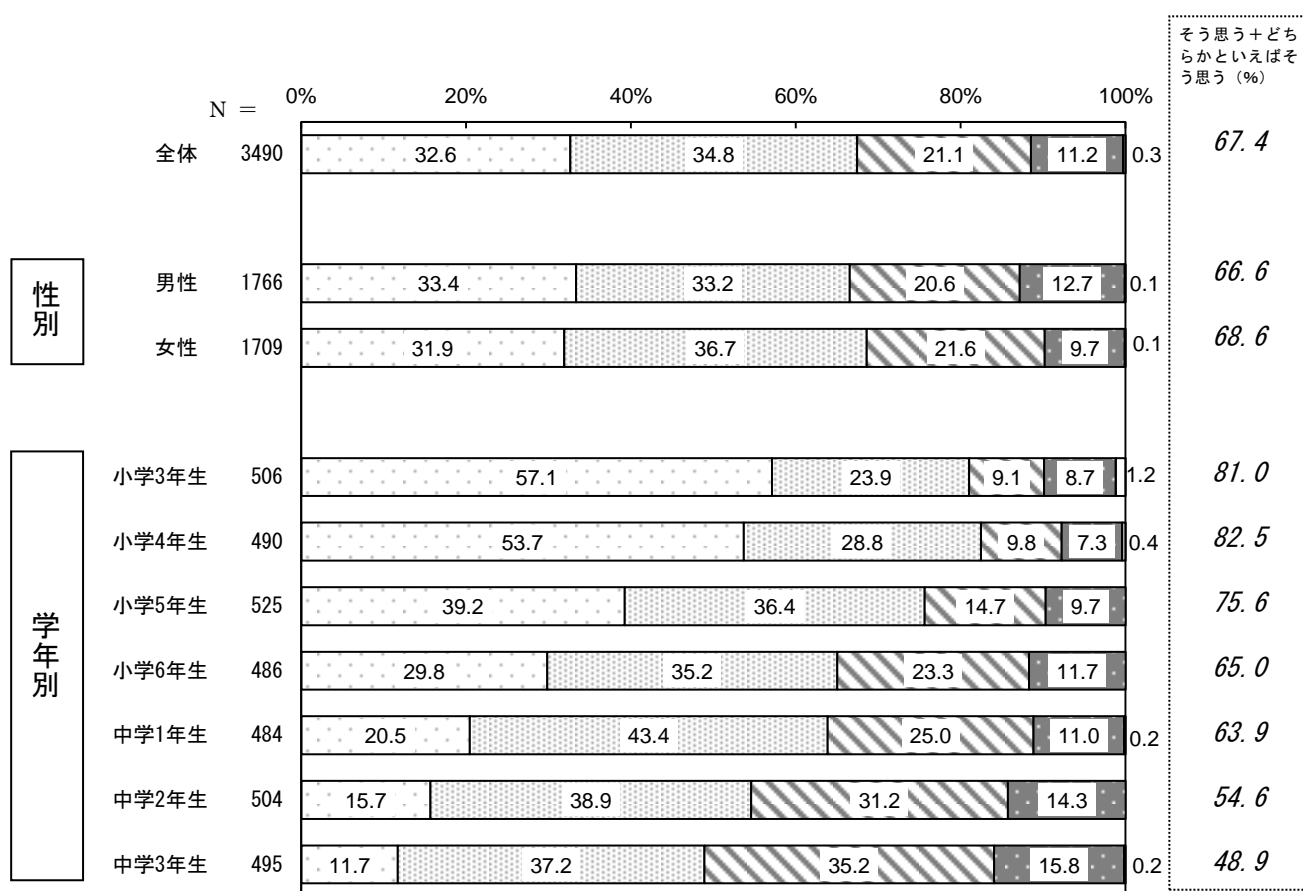


問10 大人になっても高浜市に住んでいたいと思いますか？

「大人になっても高浜市に住んでいたい」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が32.6%、「どちらかといえばそう思う」が34.8%であり、合わせて67.4%となっています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学4年生(82.5%)が最も高く、中学3年生(48.9%)が最も低い割合となっています。また、小学4年生以外は、学年が上がるにつれて、「大人になっても高浜市に住んでいたい」と思う児童・生徒の割合が概ね低くなる傾向が見られます。

□ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない □ 無回答



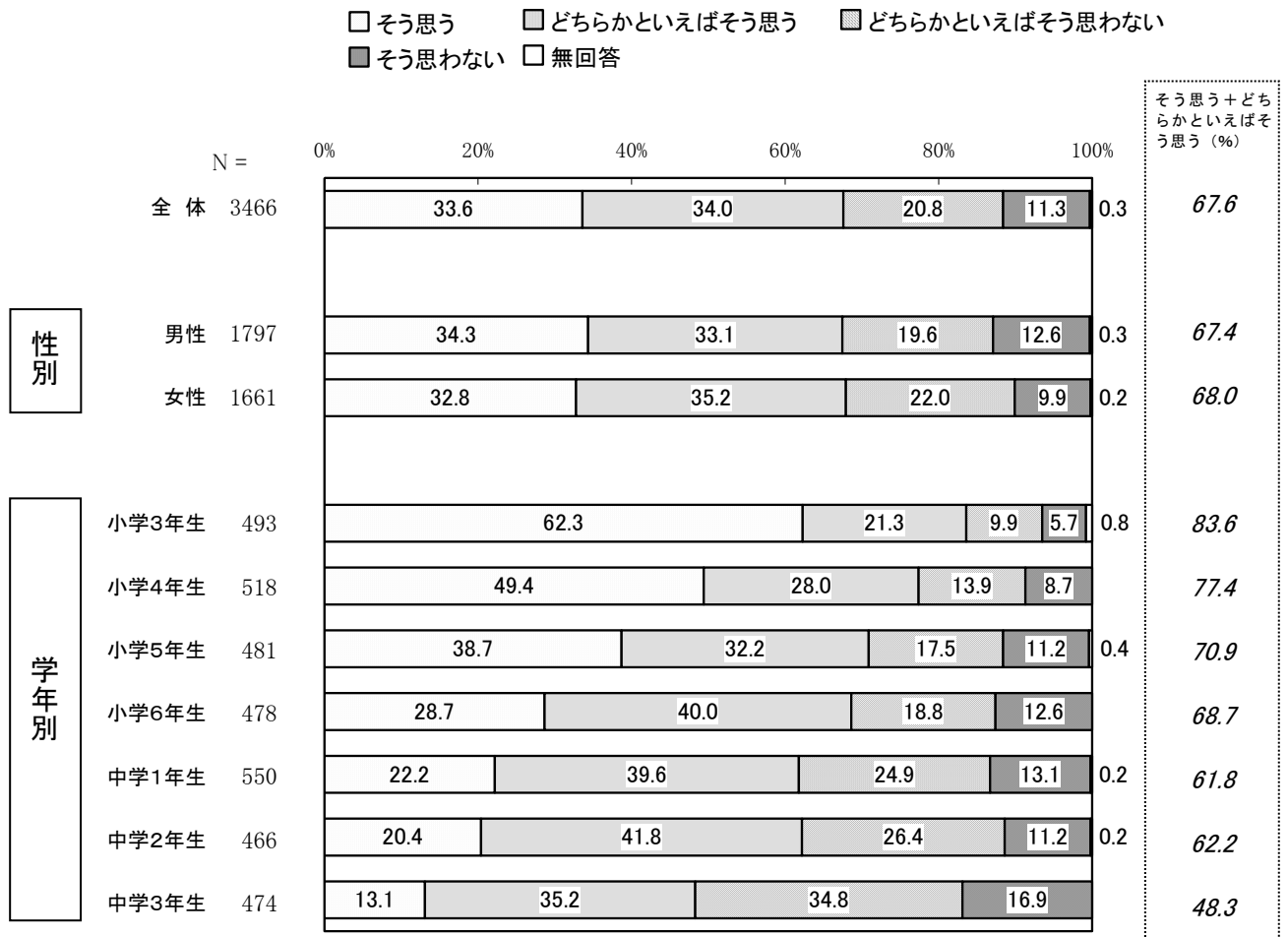
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性（68.0%⇒68.6%）でやや増加し、男性（67.4%⇒66.6%）でやや減少しています。

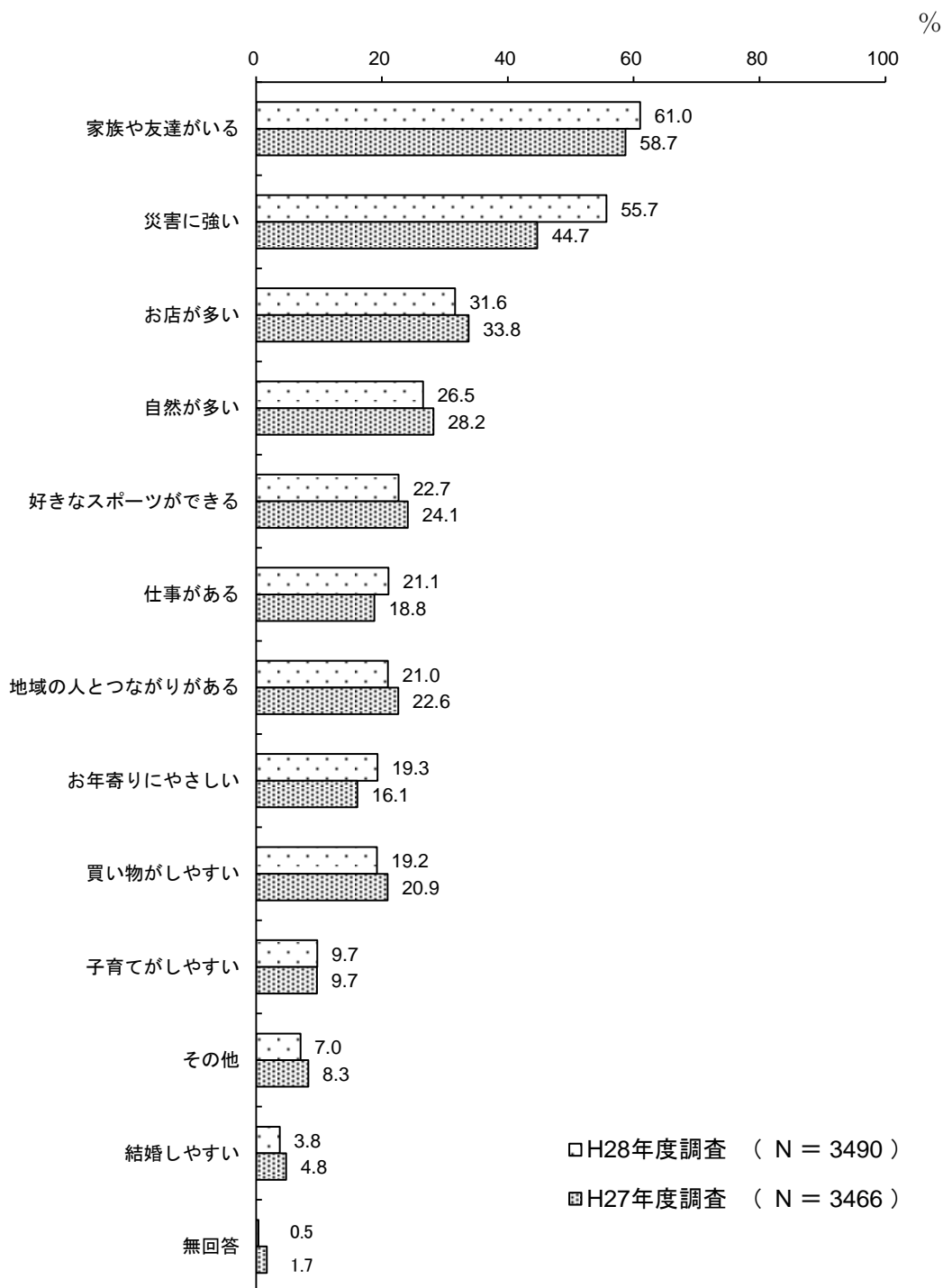
学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学4年生（77.4%⇒82.5%）で、5.1ポイント増加し、小学5年生（70.9%⇒75.6%）でやや増加している一方で、中学2年生（62.2%⇒54.6%）で7.6ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》



問11 高浜市がどんなまちならずっと住んでいたいと思いますか？あてはまる番号を3つ選んで「○」をしてください。＜3つに○印＞

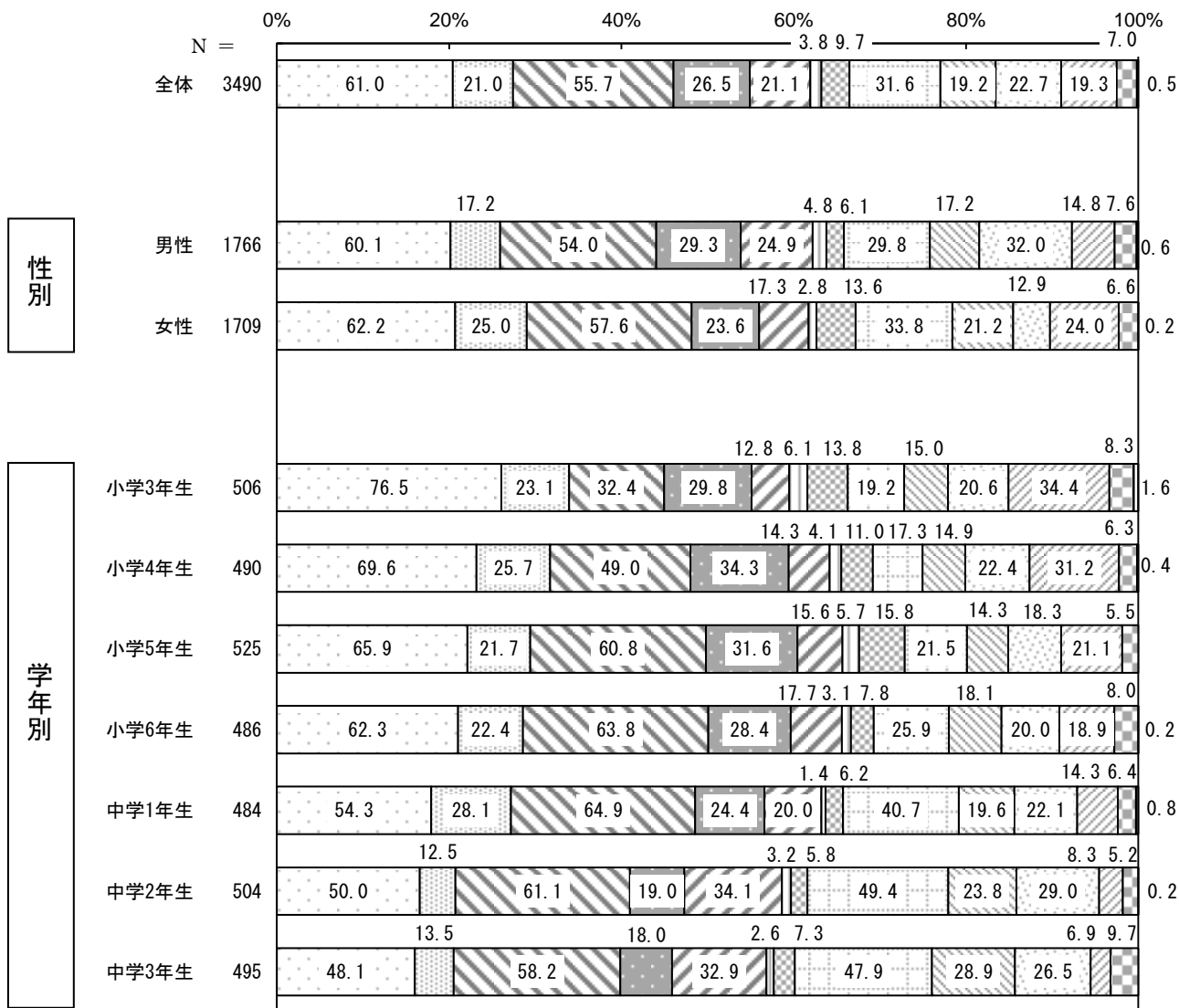
「高浜市がどんなまちならずっと住んでいたいのか」については、「家族や友達がいる」の割合が61.0%と最も高く、次いで「災害に強い」の割合が55.7%、「お店が多い」の割合が31.6%となっています。



性別では、男女ともに「家族や友達がいる」の割合が最も高くなっています。また、「好きなスポーツができる」の割合は、男性（32.0%）で全体より9.3ポイント高く、女性（12.9%）で全体より9.8ポイント低くなっています。

学年別では、「家族や友達がいる」の割合が、小学3年生（76.5%）、小学4年生（69.6%）、小学5年生（65.9%）で高くなっています。また、「仕事がある」の割合が、中学2年生（34.1%）で高くなっています。学年が上がるにつれ、「仕事がある」、「お店が多い」、「買い物がしやすい」の割合が高くなる一方で、「自然が多い」「お年寄りにやさしい」の割合が低くなる傾向が見られます。

- 家族や友達がいる
- 自然が多い
- 子育てがしやすい
- 好きなスポーツができる
- 無回答
- 地域の人とつながりがある
- 仕事がある
- お店が多い
- お年寄りにやさしい
- 災害に強い
- 結婚しやすい
- 買い物がしやすい
- その他



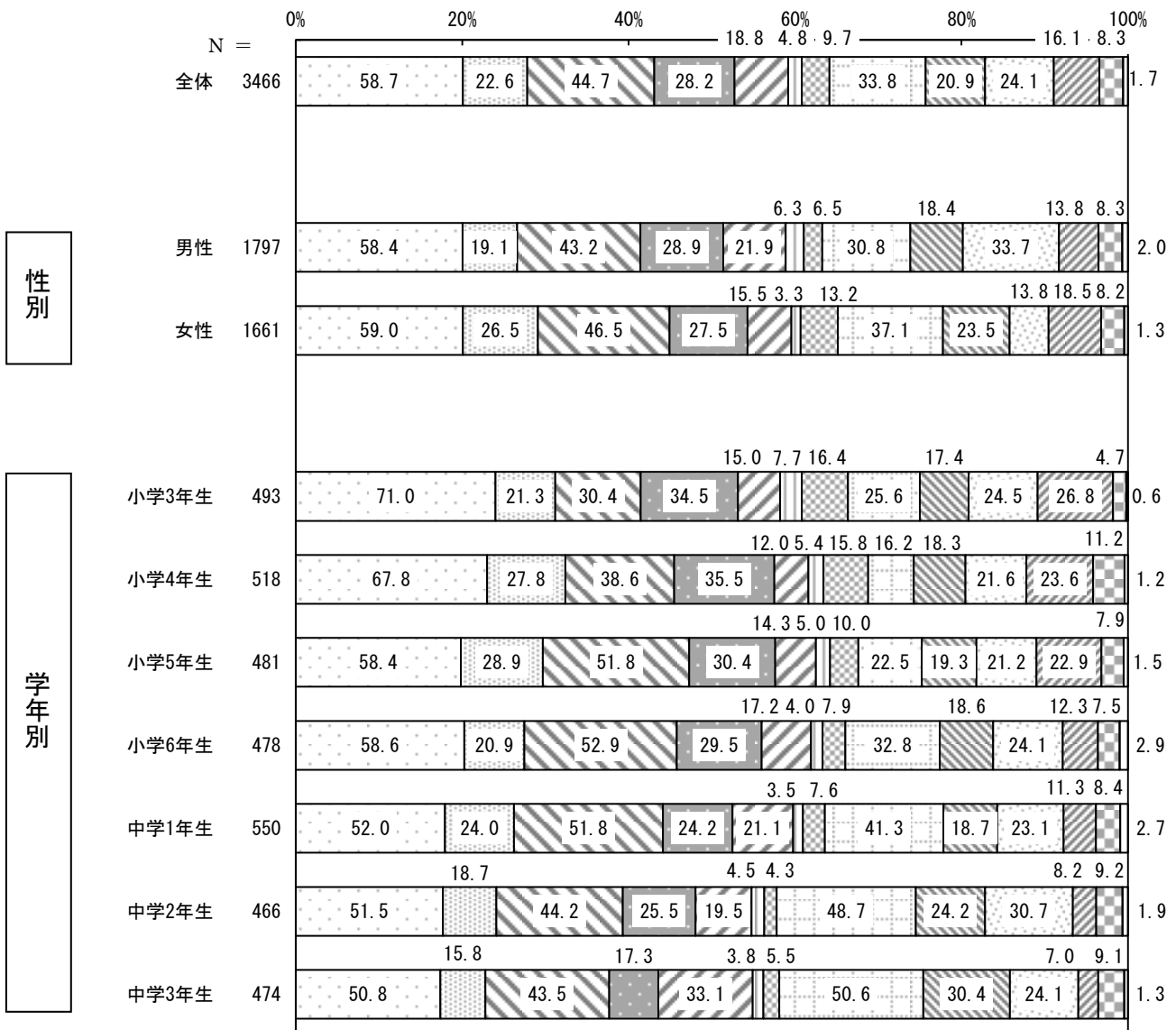
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「災害に強い」の割合が全体（44.7%⇒55.7%）で11.0ポイント増加しています。

学年別では「災害に強い」の割合がすべての学年で増加し、小学6年生より上の学年では、10.0ポイント以上増加しています。

《参考：前回調査の結果（H27年度）》

- 家族や友達がいる
- 自然が多い
- 子育てがしやすい
- 好きなスポーツができる
- 無回答
- 地域の人とつながりがある
- 仕事がある
- お店が多い
- お年寄りにやさしい
- 災害に強い
- 結婚しやすい
- 買い物がしやすい
- その他



高浜市まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
アンケート報告書
【概要版】

発行：平成 28 年 6 月

編集：高浜市企画部総合政策グループ

〒444-1398 高浜市青木町四丁目 1 番地 2

TEL：0566-52-1111

FAX：0566-52-1110

Email：seisaku@city.takahama.lg.jp